

平成 23 年度我が国情報経済社会における基盤整備

(インターネット上の違法・有害情報対策及び

フィルタリングの動向と普及促進に関する調査研究

(機器ごとのインターネット利用状況調査))

《報告書》

2012 年 2 月

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

## ◇◇ 目次 ◇◇

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の背景と目的.....	1
2. アンケート調査の概要.....	3
2.1 青少年対象アンケート調査.....	3
2.2 保護者対象アンケート調査.....	5
第2章 青少年対象アンケート調査結果.....	6
1. 回答者属性.....	6
1.1 青少年の属性.....	6
2. 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況.....	8
2.1 機器の所有状況.....	8
2.2 機器ごとのインターネット利用状況.....	13
2.3 機器の所有状況とインターネットの利用状況.....	18
2.4 無線LANを利用したインターネットの利用状況.....	23
3. オープンサイトの利用状況.....	24
4. インターネットの利用時間.....	26
5. 青少年単独での利用状況.....	27
5.1 青少年単独でのインターネットの利用状況.....	27
5.2 青少年の利用状況に関する保護者の把握状況.....	30
6. コミュニティサイトの利用状況.....	32
6.1 コミュニティサイトの利用率.....	32
6.2 コミュニティサイト利用時のアプリの使用状況.....	34
6.3 コミュニティサイトでのトラブル経験等.....	34
7. 違法・有害情報への遭遇状況.....	36
8. インターネットを利用する際のルール.....	38
9. フィルタリングソフト.....	40
9.1 フィルタリングソフトの認知状況.....	40
9.2 フィルタリングソフトの必要性.....	41
9.3 フィルタリングソフトの利用状況.....	42
第3章 保護者対象アンケート調査結果.....	44
1. 回答者属性.....	44
1.1 保護者の属性.....	44
2. 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況の認識状況.....	48
2.1 機器の所有状況.....	48
2.2 機器ごとのインターネット利用状況.....	51

2.3 青少年による無線 LAN の利用に関する把握状況.....	54
3. 青少年のインターネット利用に関する確認状況 .....	56
3.1 青少年のインターネット利用に関する確認状況 .....	56
3.2 青少年のインターネット利用状況の把握状況 .....	61
4. 青少年のコミュニティサイトの利用状況 .....	68
4.1 コミュニティサイトの利用状況.....	68
4.2 コミュニティサイトでのトラブル経験等 .....	69
5. 青少年の違法・有害情報への遭遇状況 .....	73
6. インターネットを利用する際のルール .....	77
7. フィルタリングソフト.....	81
7.1 フィルタリングソフトの認知状況 .....	81
7.2 フィルタリングソフトの必要性に関する認識 .....	83
7.3 フィルタリングソフトの利用状況 .....	85
第4章 まとめ .....	89
1. 機器ごとの所有状況、インターネット利用状況 .....	89
2. 青少年の単独利用の頻度.....	92
3. インターネット上のオープンなサイトの利用状況.....	97
アンケート票.....	資 1
集計表 .....	資 22

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の背景と目的

インターネットは国民の社会活動、文化活動、経済活動等のあらゆる活動の基盤として利用され、青少年をはじめとする国民生活に不可欠な存在となっている。その反面、インターネット上を流通する膨大な情報の中には、心身が未発達な青少年が閲覧するには望ましくないと考えられる情報も含まれている。

こうした中で「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が平成21年4月に施行されている。同法に基づき、保護者、教育関係者、事業者、行政等の関係者による様々な取り組みがなされてきているところである。

青少年のインターネット利用環境整備において重要な役割を担うフィルタリングについては、携帯電話インターネット接続役務提供事業者、インターネット接続役務提供事業者、機器製造事業者が、それぞれ法に基づくフィルタリングの提供を実施してきた。他方、インターネットに接続可能なゲーム機や無線LANに接続可能な携帯電話端末（いわゆるスマートフォン）等のインターネット接続機器の利用拡大、家庭内や店舗等での無線LANに接続可能な環境の増加等、青少年のインターネットの利用環境は変化を続けている。

こうした環境変化を受けて、平成22年度レイティング／フィルタリング連絡協議会研究会では、インターネット接続機器のフィルタリング提供にあたっての判断基準として、以下の点を考慮する必要があると結論づけている。また、当該結論は内閣府の「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」報告書（平成23年8月とりまとめ）においても、青少年有害情報対策を検討する上で重要な観点として位置付けられている。

図表1-1 インターネット接続機器のフィルタリング提供にあたっての判断基準

#### ①青少年の単独での利用の頻度

青少年の単独での利用の程度の高い機器ほど、より容易に保護者がフィルタリングを利用できるような措置が講じられることが望ましい。

#### ②インターネット上のオープンなサイトの利用状況

インターネット接続機器には、インターネット上のオープンなサイトに接続する機器とクローズなサイトのみに接続する機器が存在するため、フィルタリングの提供にあたっては、接続サイトの特性に応じた対応がなされるのが望ましい。

#### ③機器の性能

フィルタリングに対応する性能（主に計算能力や記憶容量等）が備わっていない機器

については、機器側に負担の少ないフィルタリング方式が選択されるよう、インターネット接続役務提供者、機器製造事業者等が連携することが望ましい。

#### ④機器の可搬性

可搬性の高い機器については、利用者の移動等によって随時接続経路が変化しても、フィルタリングが切れ目無く提供されるように、関係事業者が連携することが望ましい。

資料：経済産業省「平成22年度レイティング／フィルタリング連絡協議会研究会 ～最終報告について～」(平成23年5月)

また、内閣府の上記報告書では、「今後は、ネットワークや機器の利用動向の変化に対応できるよう」、先述のフィルタリング提供にあたっての判断基準の観点に基づき、「継続的にネットワークや機器の利用状況等を調査し、結果に応じた検討をしていくことが重要である」としている。

以上を踏まえ、本調査では、機器ごとの青少年によるインターネット利用状況を調査し、望ましいフィルタリング提供の在り方を判断する材料を得ることで、民間の自主的な青少年有害情報対策の状況検証に資することを目的としている。

## 2. アンケート調査の概要

本調査では、青少年を対象としたアンケート調査と、青少年と同居する保護者を対象としたアンケート調査とを実施した。

### 2.1 青少年対象アンケート調査

#### 【調査期間】

2011年12月16日～2011年12月18日

#### 【調査対象】

満10歳から満17歳までの青少年

#### 【対象地域】

全国

#### 【割付条件】

文部科学省「学校基本調査（平成22年度確報）」における生徒数の分布と等しくなるよう、性別、学校種別（小学生、中学生、高校生）、地域（北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）で、2,000サンプル回収を想定して割付を行った。

図表1-2 生徒数の分布

		北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
小学生*	男	205,234	571,724	375,055	284,734	165,675	219,835	1,822,257
	女	195,766	545,086	356,615	273,590	157,588	208,885	1,737,530
中学生	男	211,973	562,717	370,972	281,487	165,900	224,224	1,817,273
	女	203,248	539,581	354,542	270,231	158,777	214,514	1,740,893
高校生	男	208,097	514,319	343,265	255,080	156,524	215,262	1,692,547
	女	203,691	503,527	333,414	250,369	152,228	209,395	1,652,624
合計		1,228,009	3,236,954	2,133,863	1,615,491	956,692	1,292,115	10,463,124

（注）\* 4年生から6年生の生徒数

資料：文部科学省「学校基本調査（平成22年度確報）」より作成

図表1-3 サンプル回収の割付数

		北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
小学生*	男	39	109	72	54	32	42	348
	女	38	104	68	52	30	40	332
中学生	男	40	108	71	54	32	43	348
	女	39	103	68	52	30	41	333
高校生	男	40	98	65	49	30	41	323
	女	39	96	64	48	29	40	316
合計		235	618	408	309	183	247	2,000

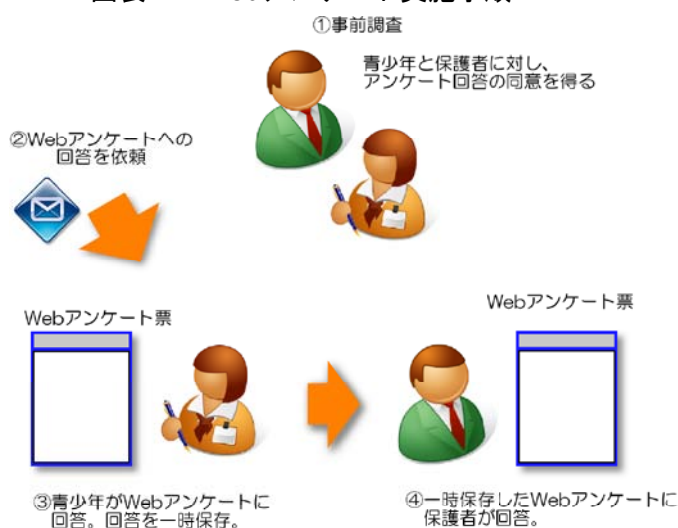
(注)\* 4年生から6年生の生徒

【調査方法】

Web アンケート調査

マクロミル社登録モニターに対し、事前調査を行い、満10歳から満17歳までの青少年と同居し、アンケート実施を想定する期間において、青少年とともにアンケートに協力可能な保護者を抽出。抽出した保護者に対し Web アンケートへの回答を依頼し、保護者を通じて青少年に Web アンケート画面を提示する。青少年が回答を終えた時点で回答を一時保存する。青少年アンケートに引き続き、保護者が保護者を対象としたアンケートに回答するが、保護者は青少年が行った回答結果を基に戻って見ることはできない。設定したサンプル数に達するまで Web アンケートの回収を実施。

図表1-4 Webアンケート実施手順



【回収結果】

有効回答数2,074件

図表1-5 サンプル回収数の内訳

		北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
小学生*	男	41	113	73	56	32	44	359(17.3%)
	女	40	108	71	54	31	41	345(16.6%)
中学生	男	42	111	74	56	33	45	361(17.4%)
	女	41	107	71	54	31	43	347(16.7%)
高校生	男	41	101	67	51	31	43	334(16.1%)
	女	41	99	66	50	30	42	328(15.8%)
男		124	325	214	163	96	132	1,054(50.8%)
女		122	314	208	158	92	126	1,020(49.2%)
合計		246 (11.9%)	639 (30.8%)	422 (20.3%)	321 (15.5%)	188 (9.1%)	258 (12.4%)	2,074 (100.0%)

## 2.2 保護者対象アンケート調査

### 【調査期間】

2011年12月16日～2011年12月18日

### 【調査対象】

満10歳から満17歳までの青少年と同居する保護者

### 【対象地域】

全国

### 【調査方法】

Webアンケート調査

調査方法は、青少年対象アンケート調査と同じ。青少年が一次保存したアンケート調査に引き続き、保護者を対象としたアンケート調査画面を提示して、回答を行う。

### 【回収結果】

有効回答数2,074件



## 第2章 青少年対象アンケート調査結果

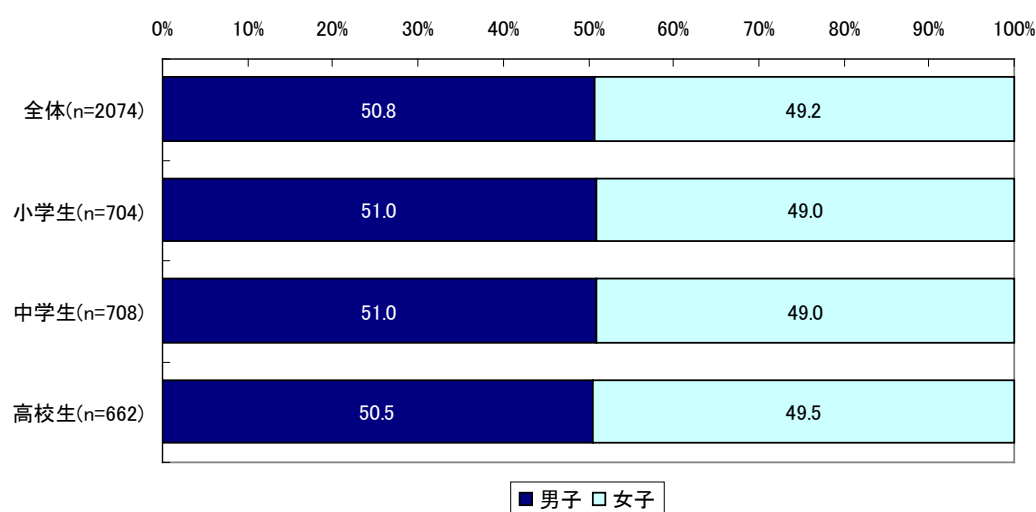
### 1. 回答者属性

#### 1.1 青少年の属性

##### (1)性別

青少年の性別は 50.8%が男子、49.2%が女子である。

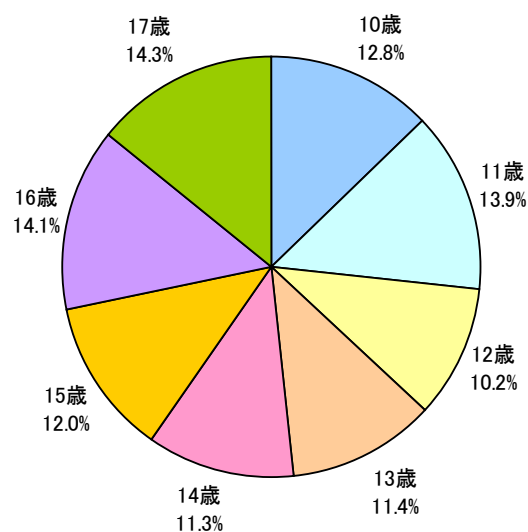
図表2-1 青少年の性別(n=2074)



##### (2)年齢

青少年の年齢は、10歳が12.8%、11歳が13.9%、12歳が10.2%、13歳が11.4%、14歳が11.3%、15歳が12.0%、16歳が14.1%、17歳が14.3%であった。

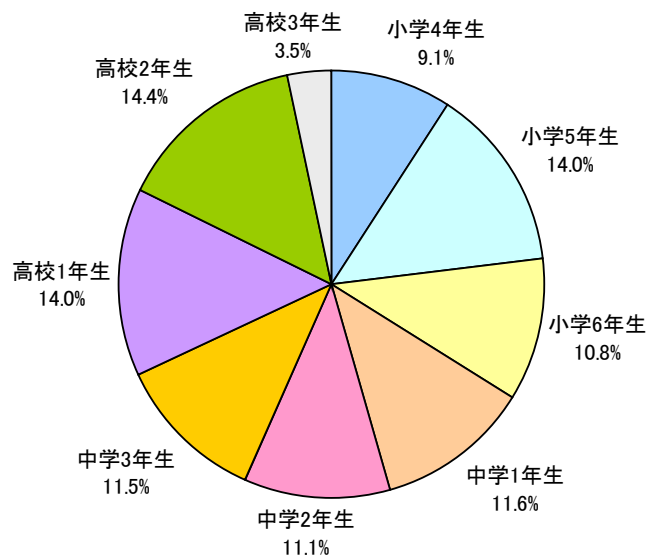
図表2-2 青少年の年齢 (n=2074)



### (3)学年

33.9%が小学生、34.1%が中学生、31.9%が高校生である。

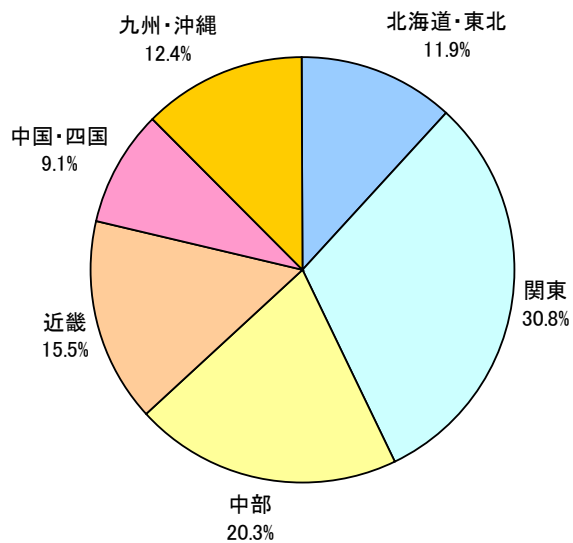
図表2-3 青少年の学年 (n=2074)



### (4)居住地

青少年の居住地は、北海道・東北が 11.9%、関東が 30.8%、中部が 20.3%、近畿が 15.5%、中国・四国が 9.1%、九州・沖縄が 12.4%である。なお、保護者の居住地も青少年と同じとなる。

図表2-4 青少年の居住地 (n=2074)



## 2. 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況

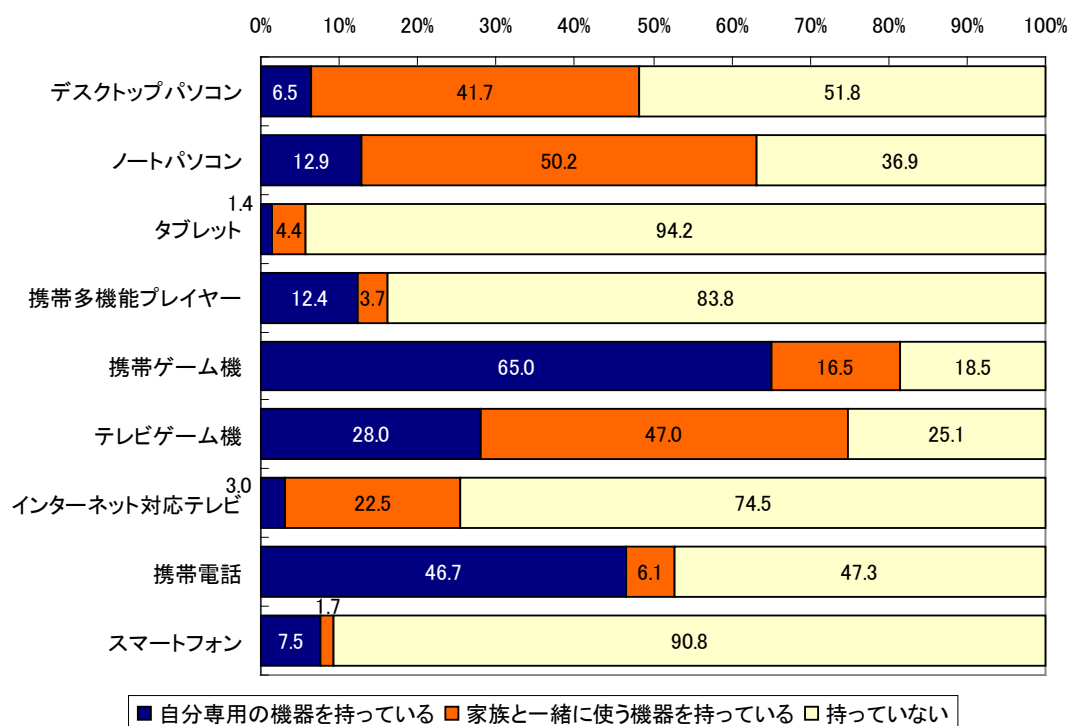
### 2.1 機器の所有状況

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、携帯ゲーム機が 81.5%、テレビゲーム機が 74.9%、ノートパソコンが 63.1%、携帯電話（スマートフォンを除く<sup>1</sup>）が 52.7%、デスクトップパソコンが 48.2%となっている。

自分専用の機器の所有率では、携帯ゲーム機が 65.0%、携帯電話が 46.7%、テレビゲーム機が 28.0%、ノートパソコンが 12.9%、携帯多機能プレイヤーが 12.4%となっている。

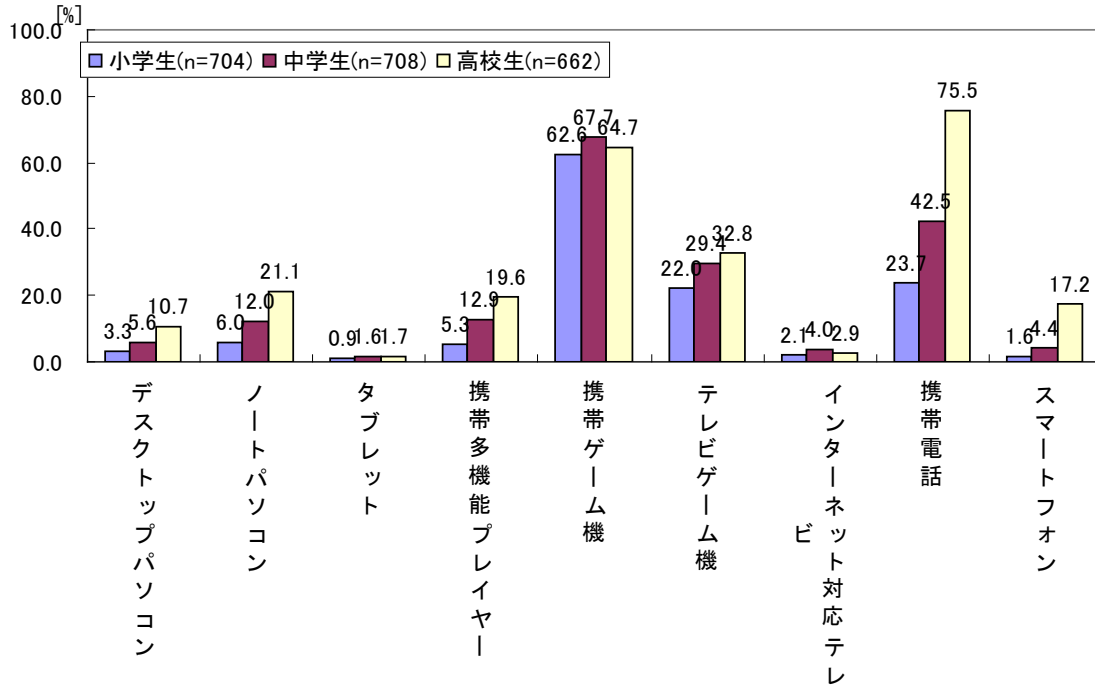
自分専用の機器は小学生、中学生、高校生となるに従い、所有率が高まるものが多い。高校生の所有率と小学生の所有率とを比較すると、スマートフォンは 11.0 倍、携帯多機能プレイヤーが 3.7 倍、ノートパソコンが 3.5 倍、デスクトップパソコンが 3.3 倍、携帯電話が 3.2 倍となっている。

図表2-5 青少年の機器の所有状況（n=2074）

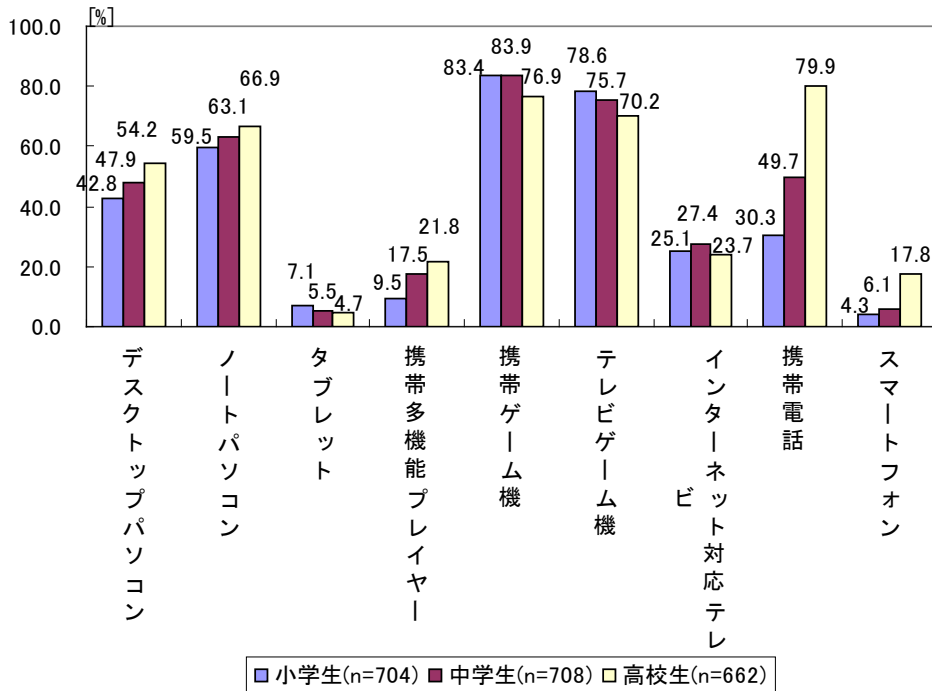


<sup>1</sup> 以下の本文では「スマートフォンを除く」という表記は省略し、単に「携帯電話」と記載する。

図表2-6 青少年の自分専用の機器の所有状況



図表2-7 青少年の家族と一緒に使う場合を含めた機器の所有状況

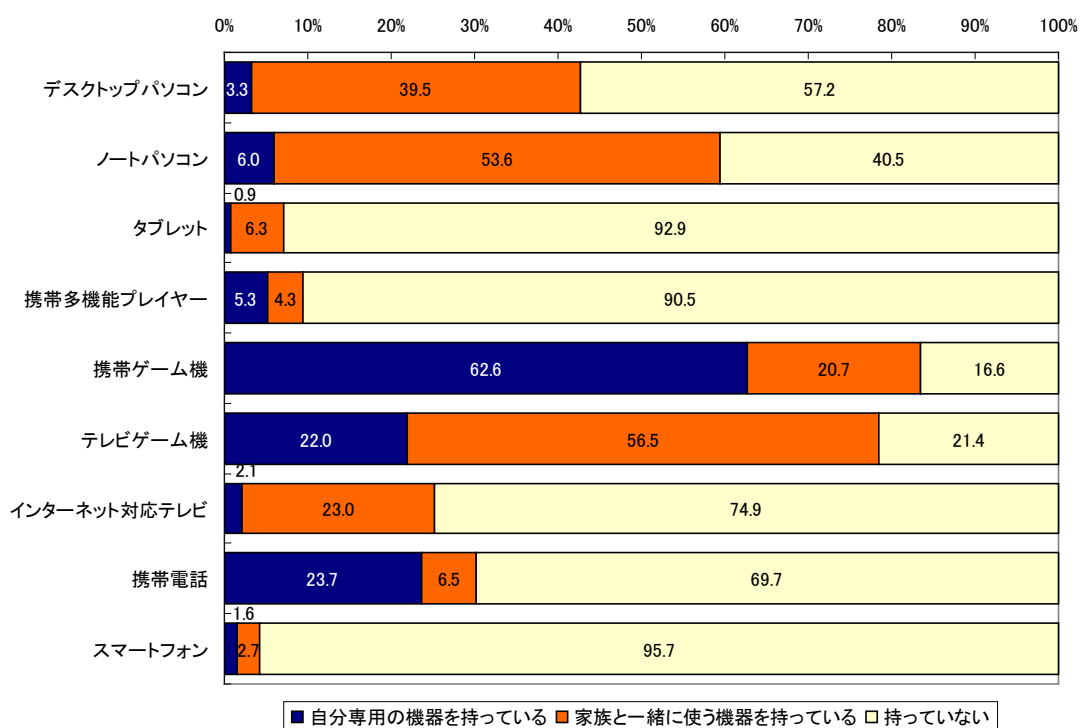


### (1)小学生の機器の所有状況

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、携帯ゲーム機が 83.4%、テレビゲーム機が 78.6%、ノートパソコンが 59.5%、デスクトップが 42.8%となっている。

自分専用の機器の所有率は、携帯ゲーム機が 62.6%、携帯電話が 23.7%、テレビゲーム機が 22.0%である。

図表2-8 小学生の機器の所有状況 (n=704)

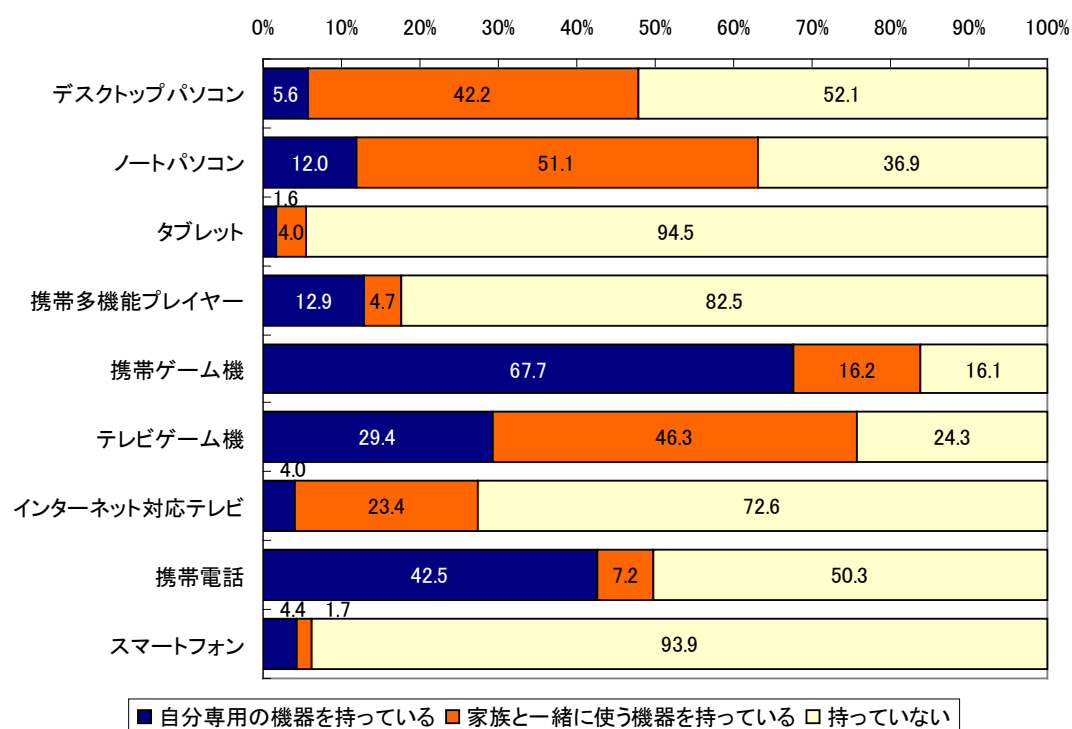


## (2)中学生の機器の所有状況

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、携帯ゲーム機が 83.9%、テレビゲーム機が 75.7%、ノートパソコンが 63.1%、携帯電話が 49.7%、デスクトップが 47.9%である。

自分専用の機器の所有率は、携帯ゲーム機が 67.7%、携帯電話が 42.5%、テレビゲーム機が 29.4%である。小学生と比較して特に増えているのは、携帯電話（18.8 ポイント増）、携帯多機能プレイヤー（7.6 ポイント増）、テレビゲーム機（7.4 ポイント増）である。

図表2-9 中学生の機器の所有状況（n=708）

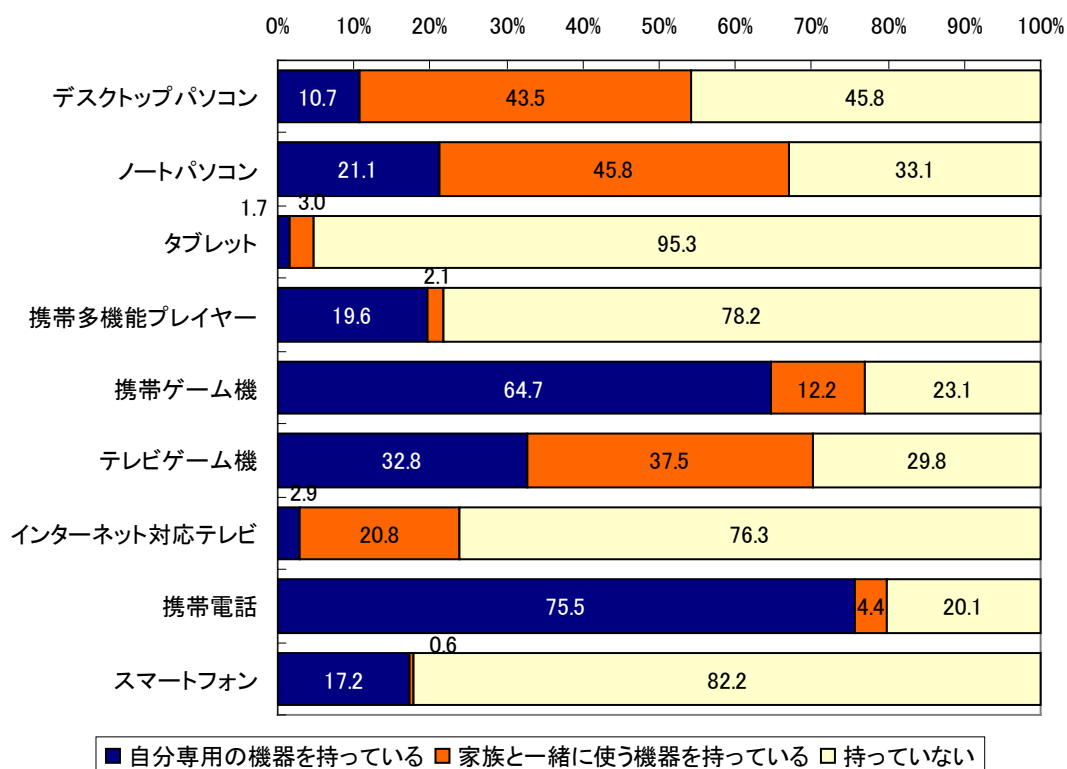


### (3) 高校生の機器の所有状況

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、携帯電話が 79.9%、携帯ゲーム機が 76.9%、テレビゲーム機が 70.2%、ノートパソコンが 66.9%、デスクトップが 54.2%である。

自分専用の機器の所有率は、携帯電話が 75.5%、携帯ゲーム機が 64.7%、テレビゲーム機が 32.8%である。中学生と比較し、特に増えているのは、携帯電話（33.0ポイント増）、スマートフォン（12.8ポイント増）、ノートパソコン（9.1ポイント増）である。

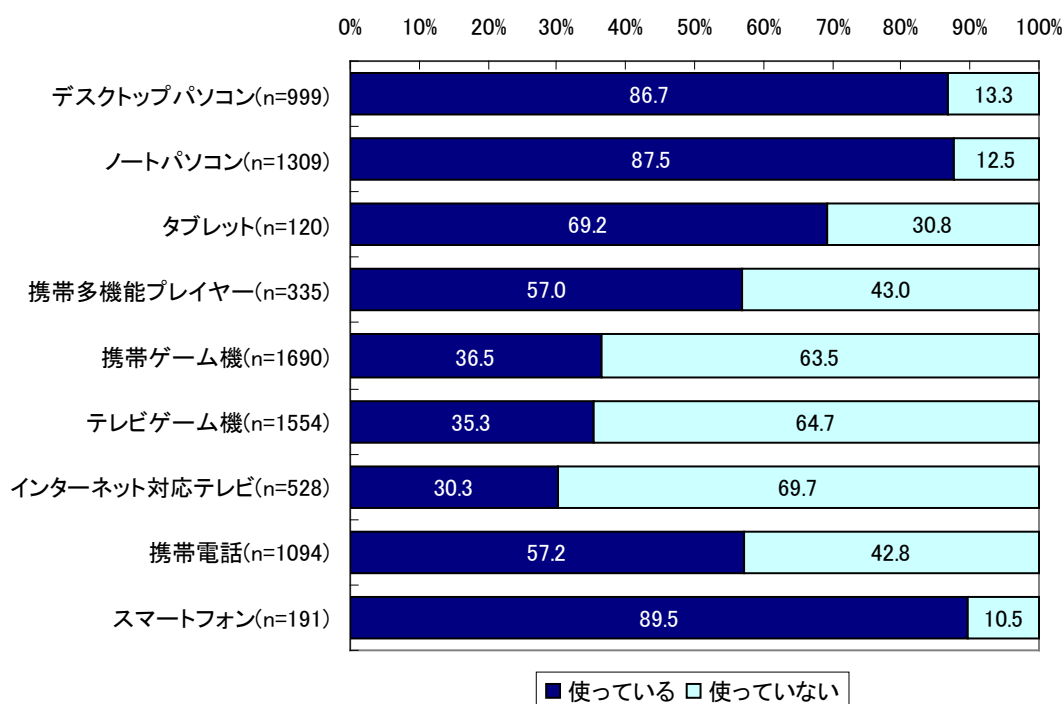
図表2-10 高校生の機器の所有状況 (n=662)



## 2.2 機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器<sup>2</sup>を使って、青少年がインターネットを利用している比率をみると、スマートフォン、デスクトップパソコン、ノートパソコンでの利用率は80%を超えている。一方、インターネット対応テレビ、テレビゲーム機、携帯ゲーム機でのインターネット利用率はそれぞれ30.3%、35.3%、36.5%と低くなっている。

図表2-11 所有している機器を使ったインターネットの利用状況



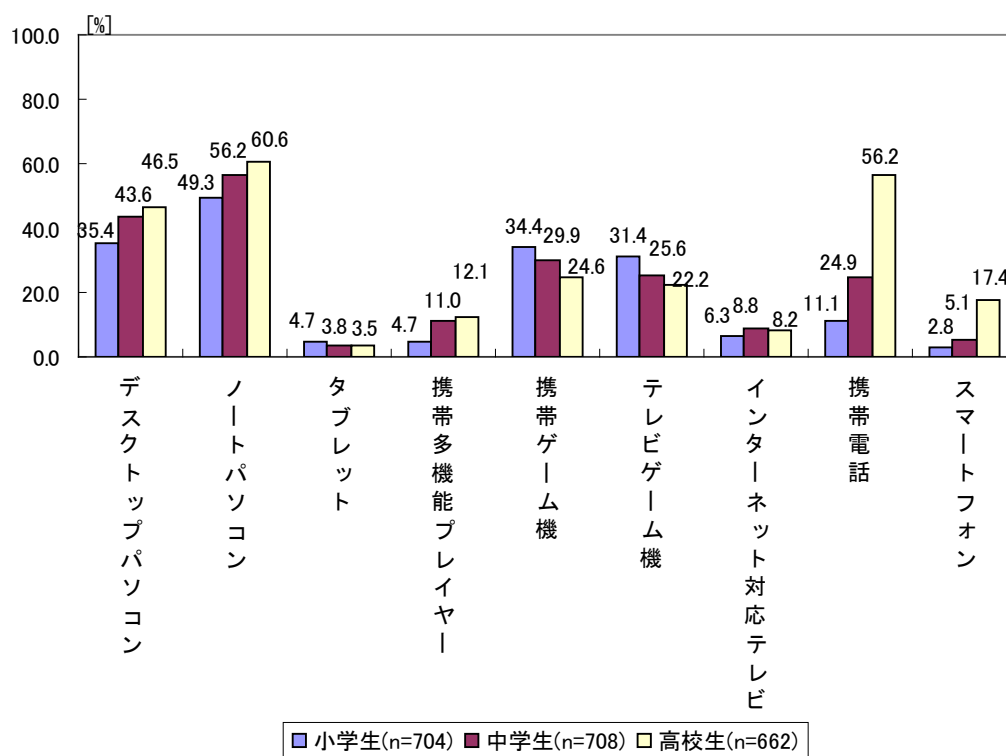
(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

小学生、中学生、高校生全体でのインターネットの利用率は、デスクトップパソコン、ノートパソコン、携帯多機能プレイヤー、携帯電話、スマートフォンでは、小学生から高校生になるに従って増加している。一方、ゲーム機は利用率が減少している。

<sup>2</sup> 所有している機器には、自分専用の機器、家族と一緒に使う機器を含む



図表2-12 所有している機器を使ったインターネットの利用状況

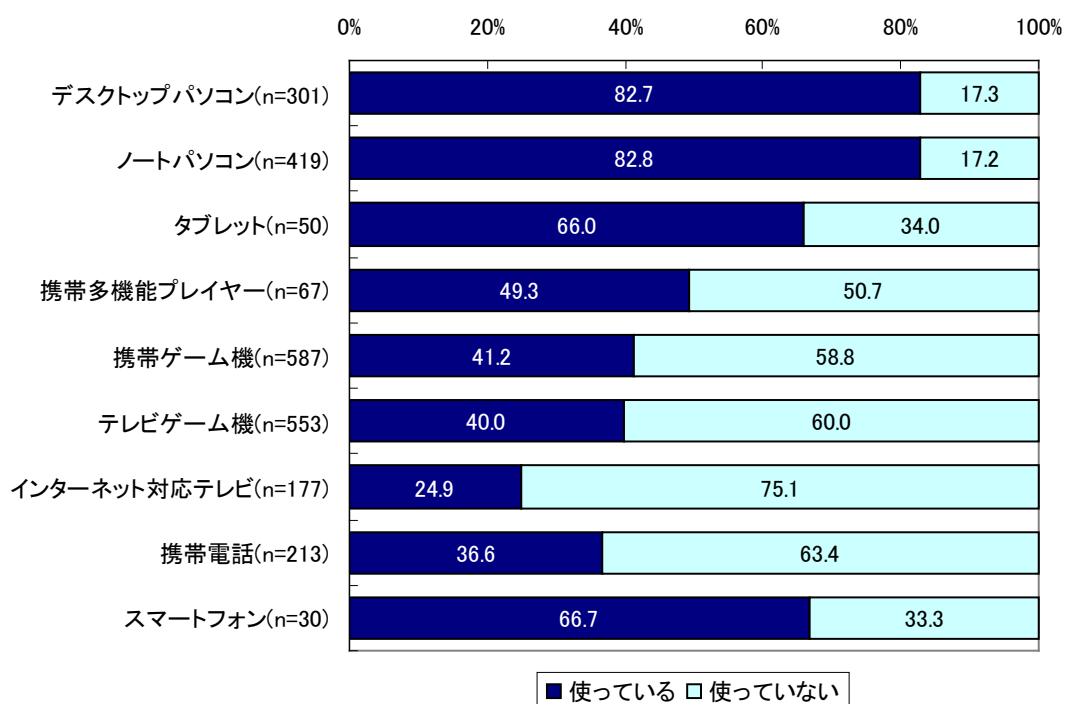


(注) 集計対象は青少年全体。各機器を所有していない青少年も含む。

### (1)小学生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って小学生がインターネットを利用している比率は、ノートパソコン、デスクトップパソコンで 80%を超えている。スマートフォン、タブレットでは所有者の約 2/3 がインターネットを利用している。インターネット対応テレビの所有者におけるインターネットの利用率は 24.9%であり、他の機器よりも低い。また、携帯電話の所有者におけるインターネットの利用率は 36.6%に留まっている。

図表2-13 小学生の所有している機器ごとのインターネット利用状況

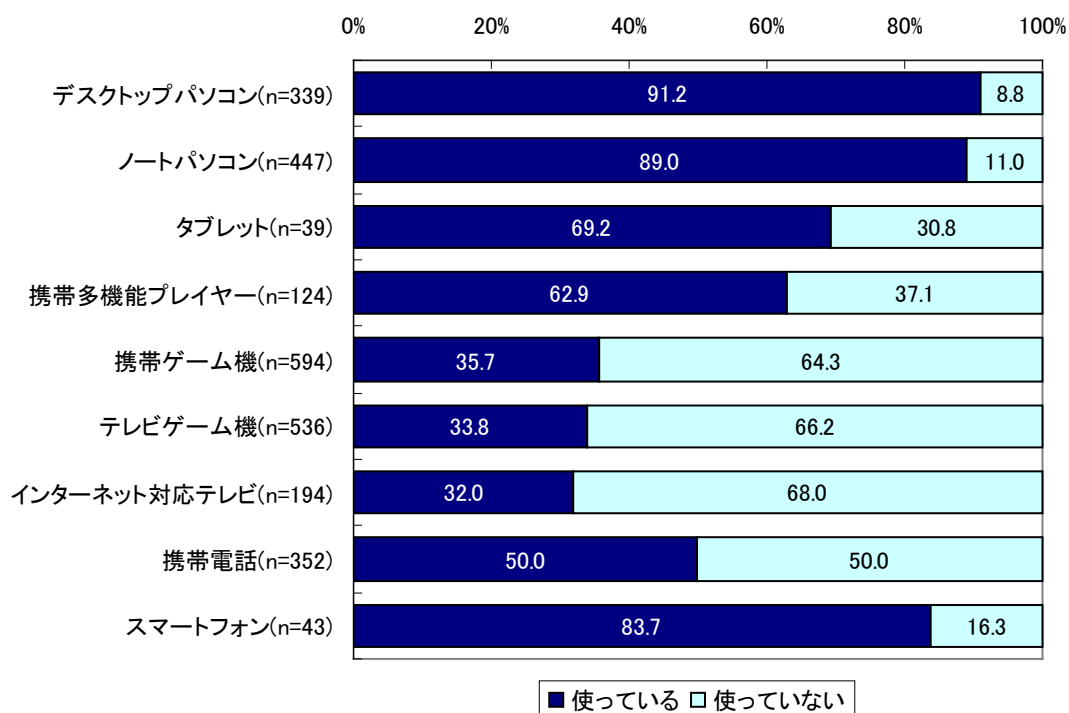


(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

## (2)中学生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って中学生がインターネットを利用している比率は、デスクトップパソコン、ノートパソコン、スマートフォンでは 80%を超えている。小学生と比較すると、スマートフォン(17.1 ポイント増)、携帯多機能プレイヤー(13.6 ポイント増)、携帯電話 (13.4 ポイント増) の利用率が高まっている。一方、テレビゲーム機 (6.2 ポイント減)、携帯ゲーム機 (5.5 ポイント減) の利用率は下がっている。

図表2-14 中学生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



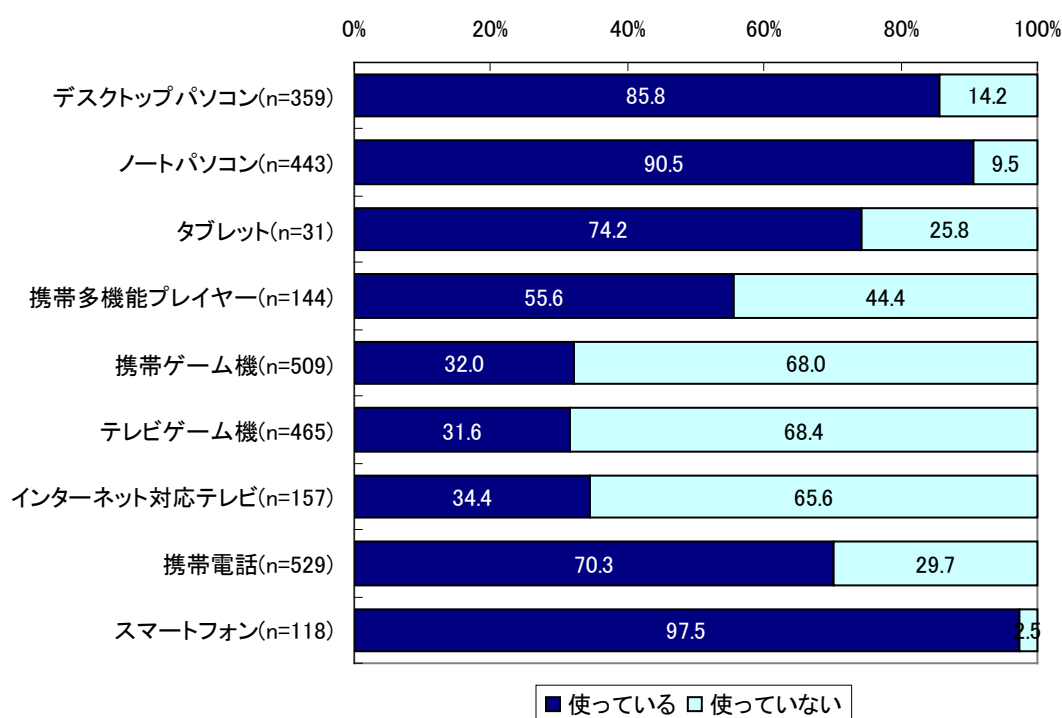
(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

### (3) 高校生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って高校生がインターネットを利用している比率は、スマートフォン、ノートパソコン、デスクトップパソコンで 80%を超えている。携帯電話及びタブレットの利用率も 7 割に達している。

中学生と比較すると、携帯電話 (20.3 ポイント増)、スマートフォン (13.7 ポイント増) の利用率が高まり、携帯多機能プレイヤー (7.3 ポイント減)、デスクトップパソコン (5.4 ポイント減)、携帯ゲーム機 (3.7 ポイント減) の利用率が下がっている。

図表2-15 高校生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



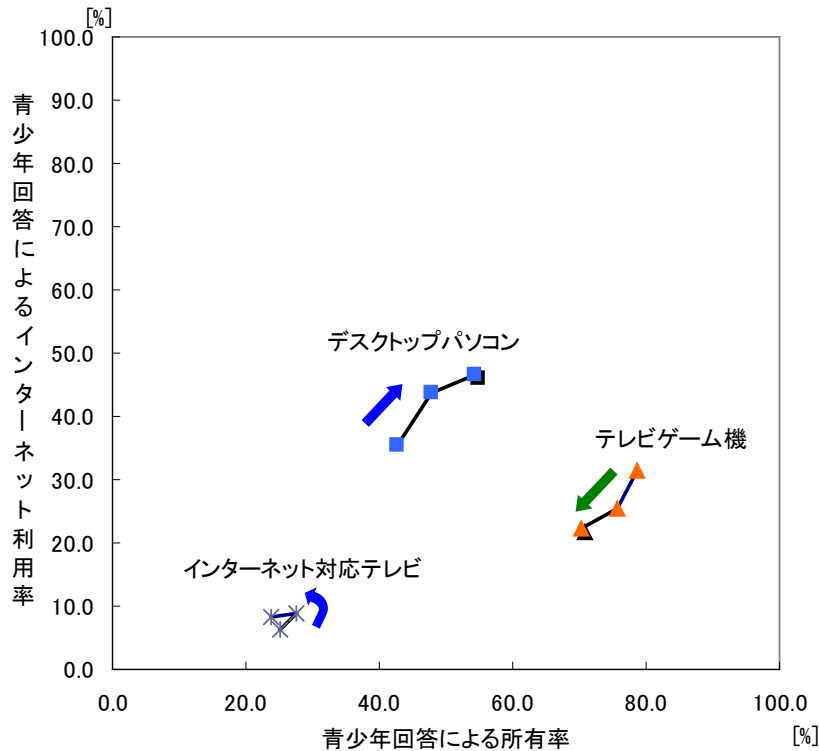
(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

### 2.3 機器の所有状況とインターネットの利用状況

機器ごとに、所有率とインターネットの利用率<sup>3</sup>をみると、小学生、中学生、高校生となるに従って、所有率・インターネット利用率ともに増加する機器（ノートパソコン、デスクトップパソコン、携帯電話、スマートフォン、携帯多機能プレイヤー）と、逆に所有率・インターネット利用率ともに減少する機器（携帯ゲーム機、テレビゲーム機）とがあることがわかる。

所有率・インターネット利用率ともに増加する機器では、小学校から中学校にかけて大きく増加するもの（デスクトップパソコン、ノートパソコン、携帯多機能プレイヤー）と、中学校から高校にかけて大きく増加するもの（携帯電話、スマートフォン）とがある。ゲーム機は、所有率、インターネット利用率ともに減少している。

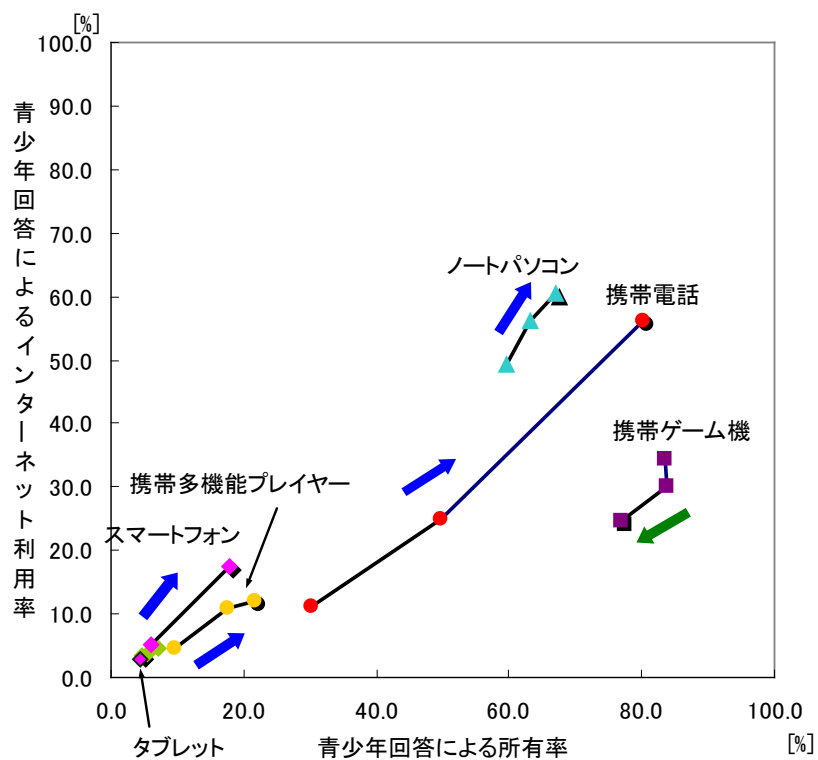
図表2-16 機器ごとの所有率・インターネット利用率の推移（据置型機器）



(注) 小学生 (n=704)、中学生 (n=708)、高校生 (n=662)  
 高校生のプロットのみ影を付している。  
 所有率は、青少年専用機器と家族と一緒に使う機器を含めた数値

<sup>3</sup> ここでのインターネット利用率は、小学生全体、中学生全体、高校生全体に対する比率として計算したもの。機器所有者における利用率ではない。

図表2-17 機器ごとの所有率・インターネット利用率の推移（ポータブル機器）



(注) 小学生 (n=704)、中学生 (n=708)、高校生 (n=662)  
 高校生のプロットのみ影を付している。  
 所有率は、青少年専用機器と家族と一緒に使う機器を含めた数値

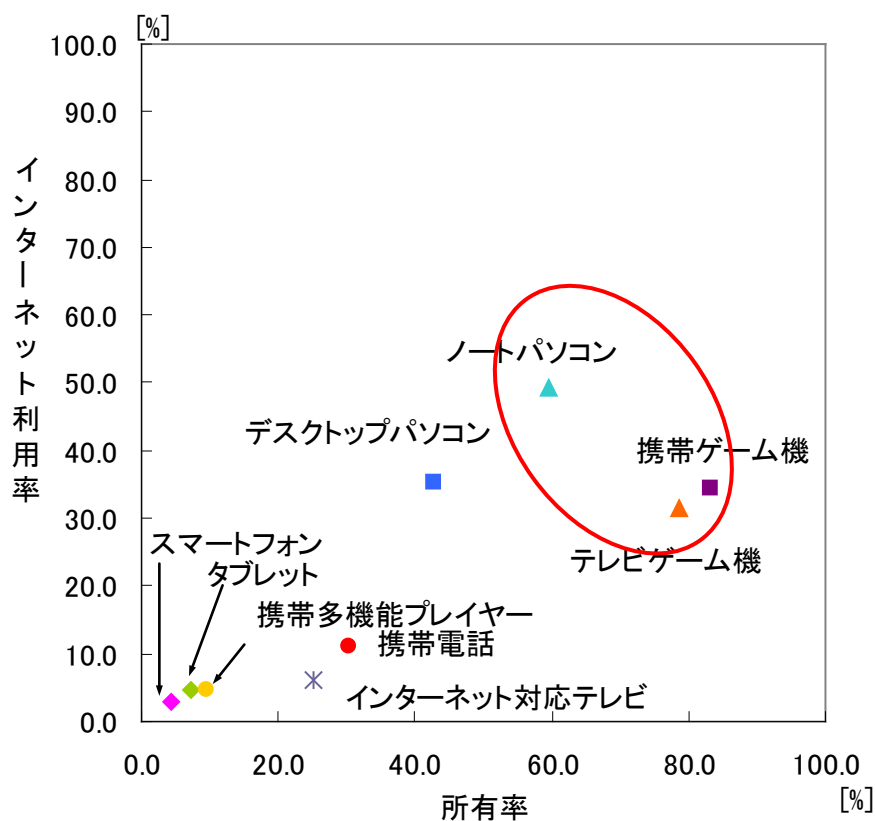
(1)小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

小学生において所有率とインターネット利用率が比較的高いのは、携帯ゲーム機、テレビゲーム機、ノートパソコンである。

図表2-18 小学生で所有率とインターネット利用率が比較的高い機器 (n=704)

	所有率	インターネット利用率
携帯ゲーム機	83.4%	34.4%
テレビゲーム機	78.6%	31.4%
ノートパソコン	59.5%	49.3%

図表2-19 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率 (n=704)



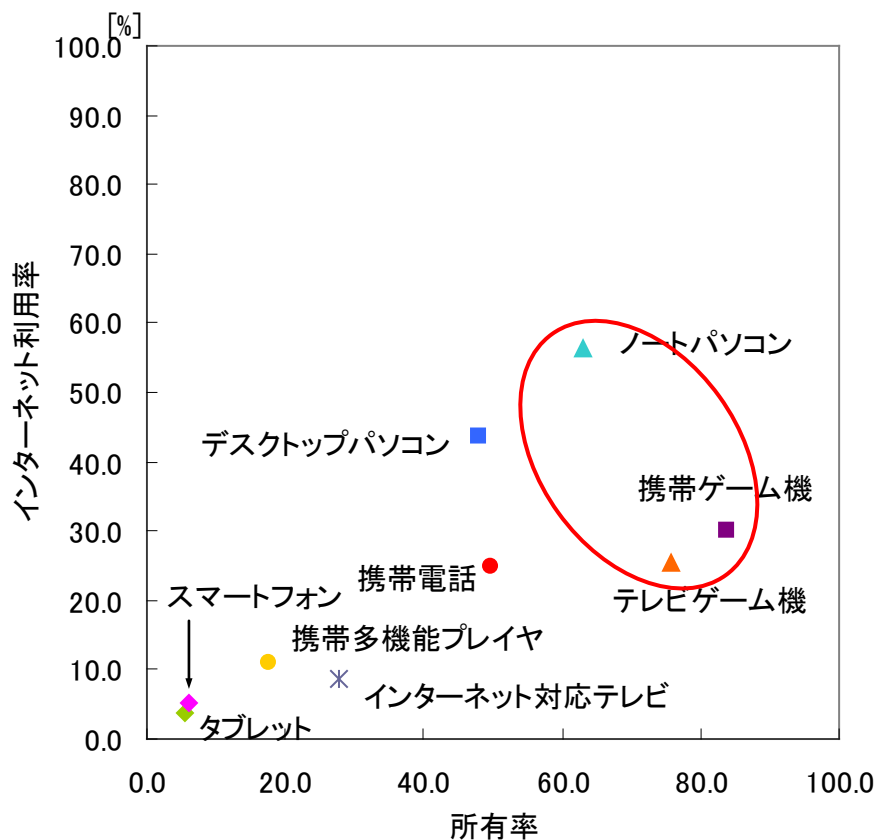
## (2)中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

中学生において所有率とインターネット利用率が比較的高いのは、小学生と同様、携帯ゲーム機、テレビゲーム機、ノートパソコンである。

図表2-20 中学生で所有率とインターネット利用率が比較的高い機器 (n=708)

	所有率	インターネット利用率
ノートパソコン	63.1%	56.2%
携帯ゲーム機	83.9%	29.9%
テレビゲーム機	75.7%	25.6%

図表2-21 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率 (n=708)





### (3) 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

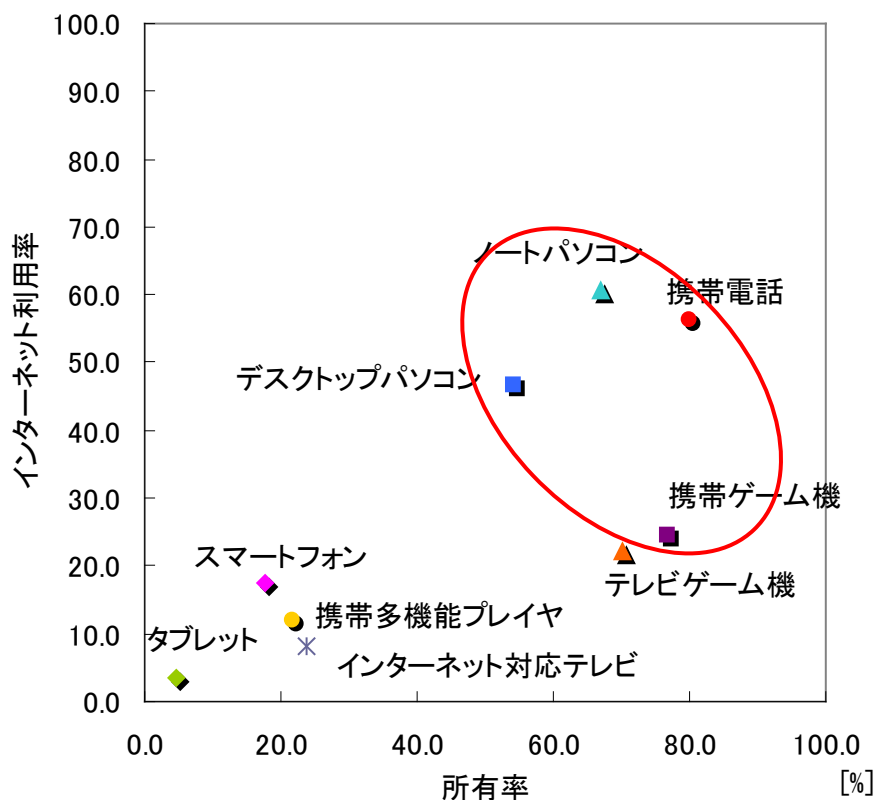
高校生において所有率とインターネット利用率が高いのは、携帯電話、ノートパソコンであり、比較的高いのは携帯ゲーム機、デスクトップパソコンである。

小中学生と比較して、携帯電話の所有率及びインターネット利用率が大きく増加している。携帯電話ほどではないが、ノートパソコン、デスクトップパソコンの所有率及びインターネット利用率も増加している。一方、小中学生において比較的所有率とインターネット利用率が高かった携帯ゲーム機、テレビゲーム機は、高校生ではいずれも若干減少している。

図表2-22 高校生で所有率とインターネット利用率が比較的高い機器 (n=662)

	所有率	インターネット利用率
携帯電話	79.9%	56.2%
ノートパソコン	66.9%	60.6%
携帯ゲーム機	76.9%	24.6%
デスクトップパソコン	54.2%	46.5%

図表2-23 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率 (n=708)

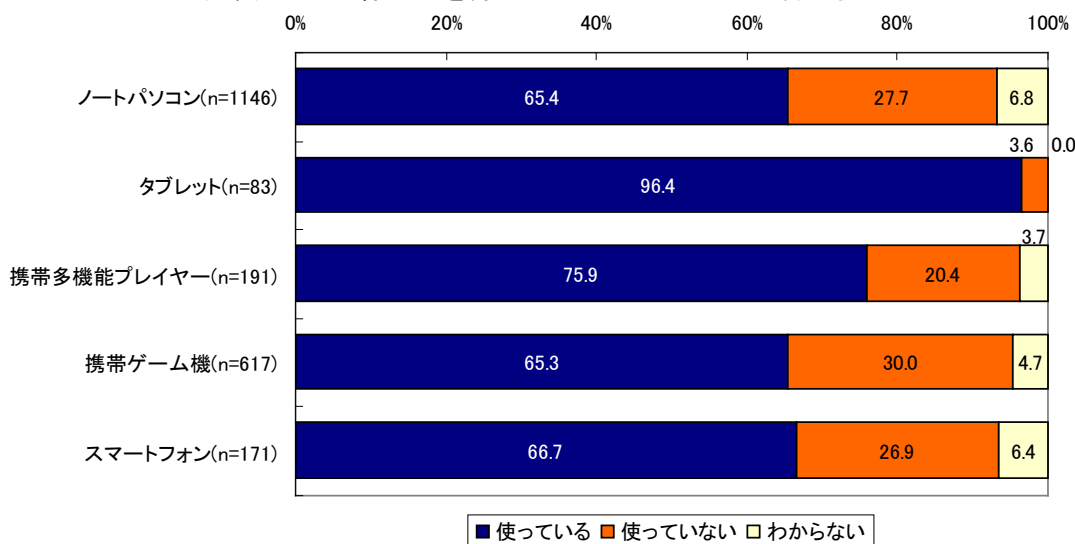


## 2.4 無線 LAN を利用したインターネットの利用状況

ノートパソコンやタブレット、携帯多機能プレイヤー、携帯ゲーム機、スマートフォン等のポータブルな機器を使ってインターネットを利用している青少年の内、無線 LAN を介してインターネットを利用している比率は、すべての機器で 6 割以上となっている。特にタブレットでの無線 LAN 使用比率は高く、96.4%となっている。

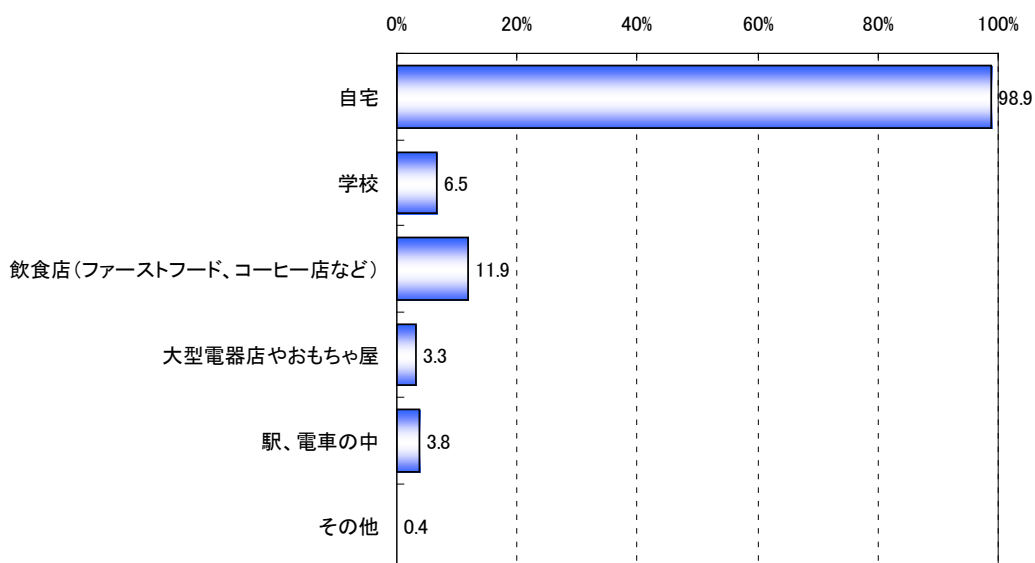
無線 LAN を使っている場所では自宅が最も多い。無線 LAN を利用している青少年の 98.9%が自宅で利用している。その他、飲食店が 11.9%、学校が 6.5%、駅・電車の中が 3.3%、大型電器店やおもちゃ屋が 3.3%となっている。

図表2-24 無線LANを介したインターネットの利用状況



(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

図表2-25 無線LANを利用している場所 (n=995)



(注) 集計対象は、無線LANを利用している青少年

### 3. オープンサイトの利用状況

ゲーム機メーカー等によるクローズなサービスが提供されている携帯ゲーム機、テレビゲーム機、インターネット対応テレビにおいて、オープンなサイト（一般的なサイト）とクローズなサービス（公式なサービス）の利用状況をみると、4～5割の青少年は公式なサービスだけを利用しており、5～6割程度の青少年は公式なサービスを利用することの方が多イとしている。

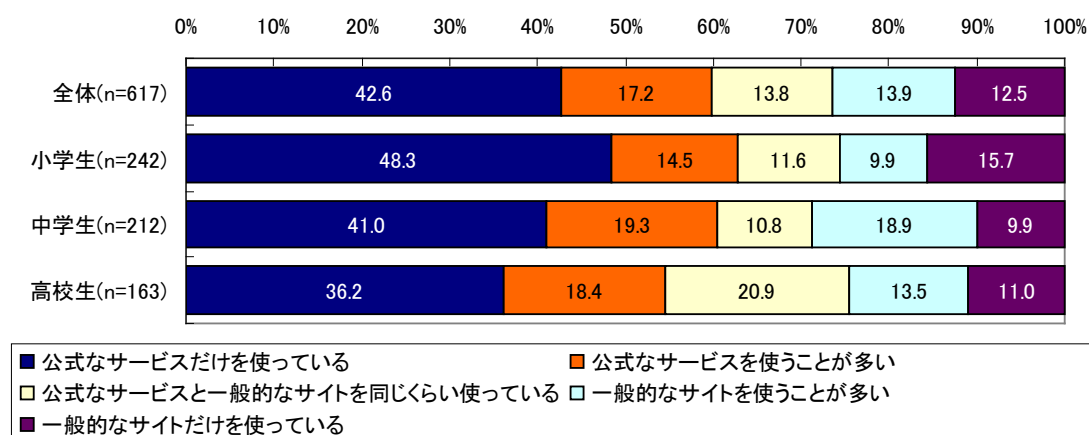
一方、約1/4程度の青少年はクローズなサービスよりも、オープンなサイトを利用することの方が多イとしており、オープンなサイトしか利用しないという青少年も10%程度存在している。

携帯ゲーム機では、年齢が高くなるに従って、公式なサービスを利用することが多イ者の比率が低下している。一方、一般的なサイトだけを使っているという比率は小学生が最も高イ。高校生では何れも使っているという比率が2割と高くなっている。

テレビゲーム機では公式なサービスだけを使っているという比率が、小中高ともに5割前後である。公式なサービスを使うことの方が多イとする比率は6～7割程度と他の機器よりも高ク、また年齢による差も比較的少ない。

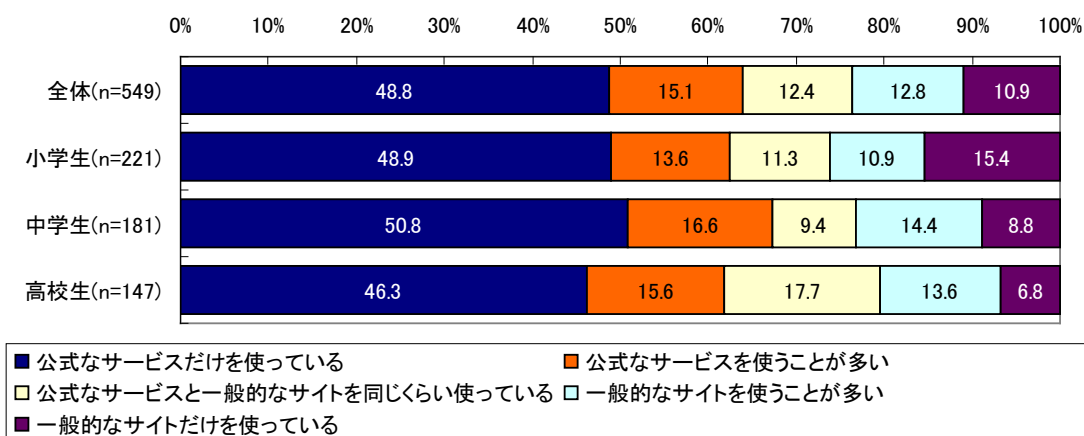
インターネット対応テレビでは公式なサービスだけを使っているという比率は4割弱であり、他の機器よりも低イ。年齢が高くなるに従って公式なサービスの利用比率が低下し、一般的なサイトだけを利用する比率が高くなっている。

図表2-26 携帯ゲーム機における公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



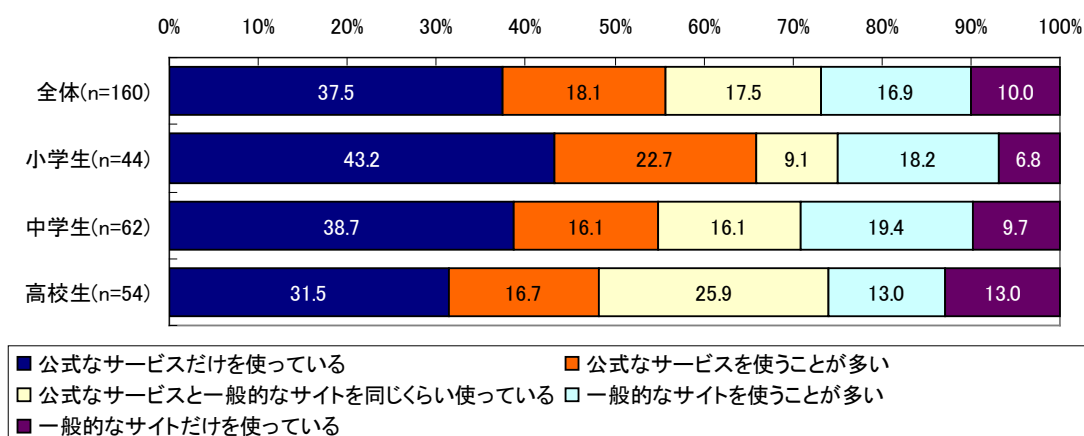
(注)集計対象は、携帯ゲーム機でインターネットを利用している青少年

図表2-27 テレビゲーム機における公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



(注)集計対象は、テレビゲーム機でインターネットを利用している青少年

図表2-28 インターネット対応テレビにおける公式なサービスと一般的なサイトの利用状況

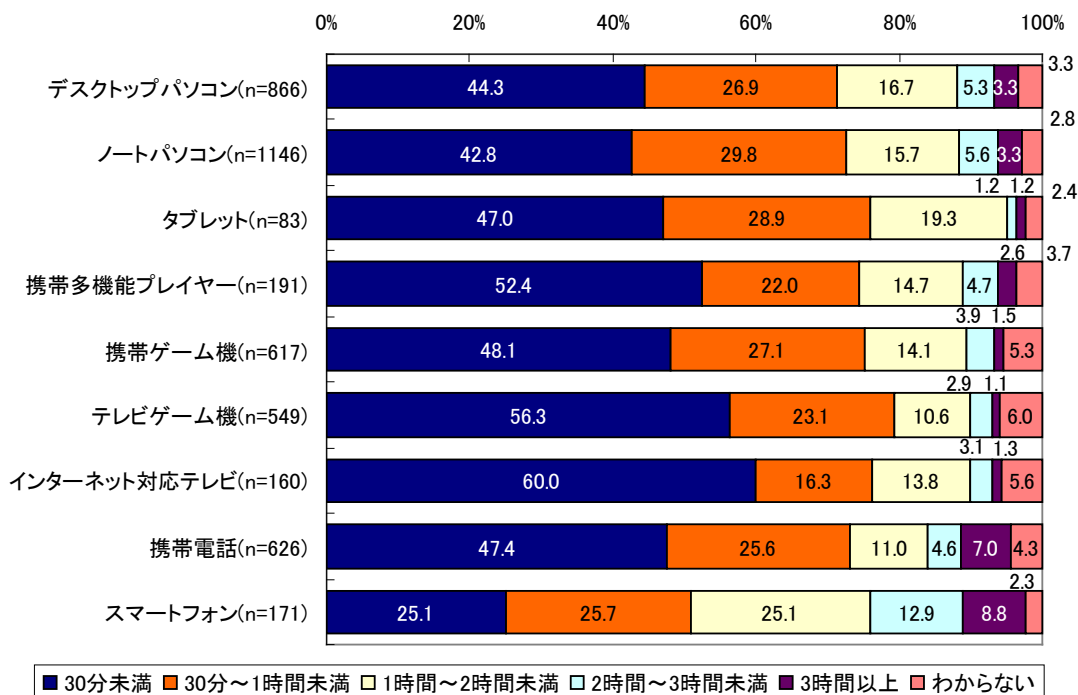


(注)集計対象は、インターネット対応テレビでインターネットを利用している青少年

#### 4. インターネットの利用時間

1日あたりのインターネット利用時間について機器ごとに調査したところ、他の機器と比べスマートフォンでは長時間利用している青少年の比率が多くなっている。一方、インターネット対応テレビ、テレビゲーム機は、他の機器よりも利用時間が短い者が多い。

図表2-29 機器ごとの1日あたりのインターネット利用時間



(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

機器ごとに1日あたりの平均インターネット利用時間を試算<sup>4</sup>した結果を下表に示す。概ね、年齢が高くなるほど利用時間は長くなる傾向が見られる。

図表2-30 機器ごとの1日あたりの平均インターネット利用時間（単位：分）

	全体	小学生	中学生	高校生
デスクトップパソコン	50.5	37.4	52.3	59.3
ノートパソコン	50.7	37.3	53.1	60.0
タブレット	42.8	43.6	37.8	47.9
携帯多機能プレイヤー	45.2	31.4	43.8	52.4
携帯ゲーム機	43.3	39.3	43.2	49.5
テレビゲーム機	37.3	35.3	36.5	41.2
インターネット対応テレビ	38.1	32.1	38.8	42.6
携帯電話	52.5	24.3	41.9	63.1
スマートフォン	77.5	31.6	59.1	90.4

<sup>4</sup> 30分未満：15分、30分～1時間未満：45分、1時間～2時間未満：90分、2時間～3時間未満：150分、3時間以上：210分として、平均を算出した。

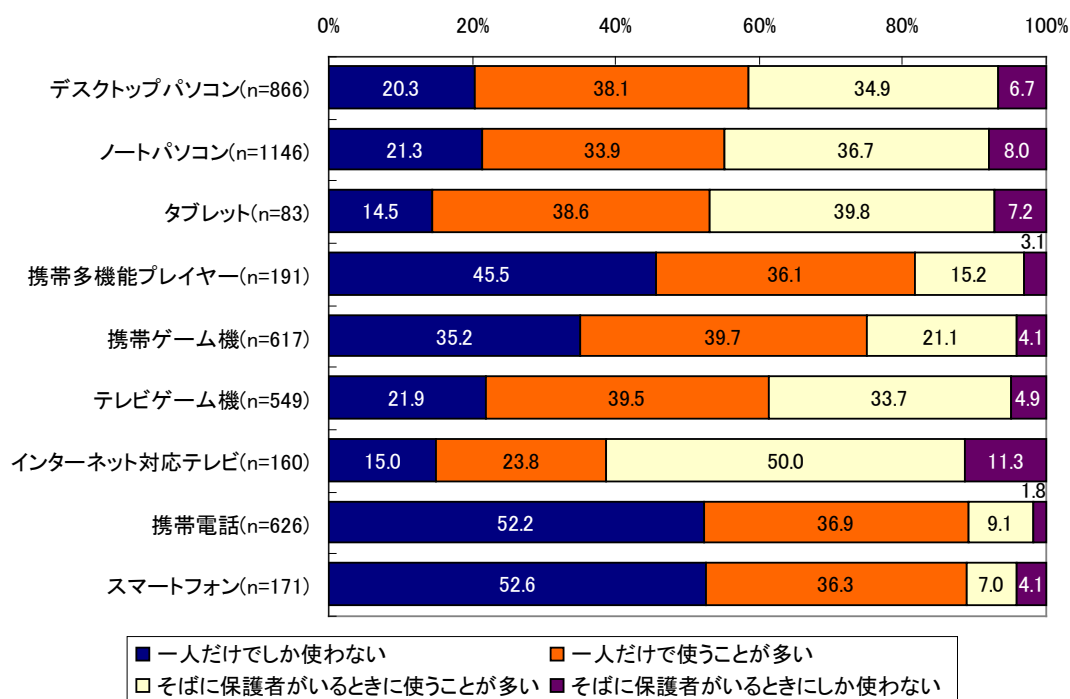
## 5. 青少年単独での利用状況

### 5.1 青少年単独でのインターネットの利用状況

インターネットを使う時に、青少年単独で利用することが多いか、そばに保護者がいる時に使う時が多いかを調査したところ、ポータブルな機器では一人だけで使うことが多くなる傾向がみられた。携帯電話、スマートフォンでは9割弱の青少年が一人だけで使うことが多いと回答している。また、携帯多機能プレイヤーや携帯ゲーム機でも一人だけで使うことが多いとする比率が8割前後と高くなっている。

テレビゲーム機、デスクトップパソコン、ノートパソコンで、一人だけで使うことが多いとする比率は5~6割程度である。

図表2-31 機器ごとのインターネットの単独利用状況

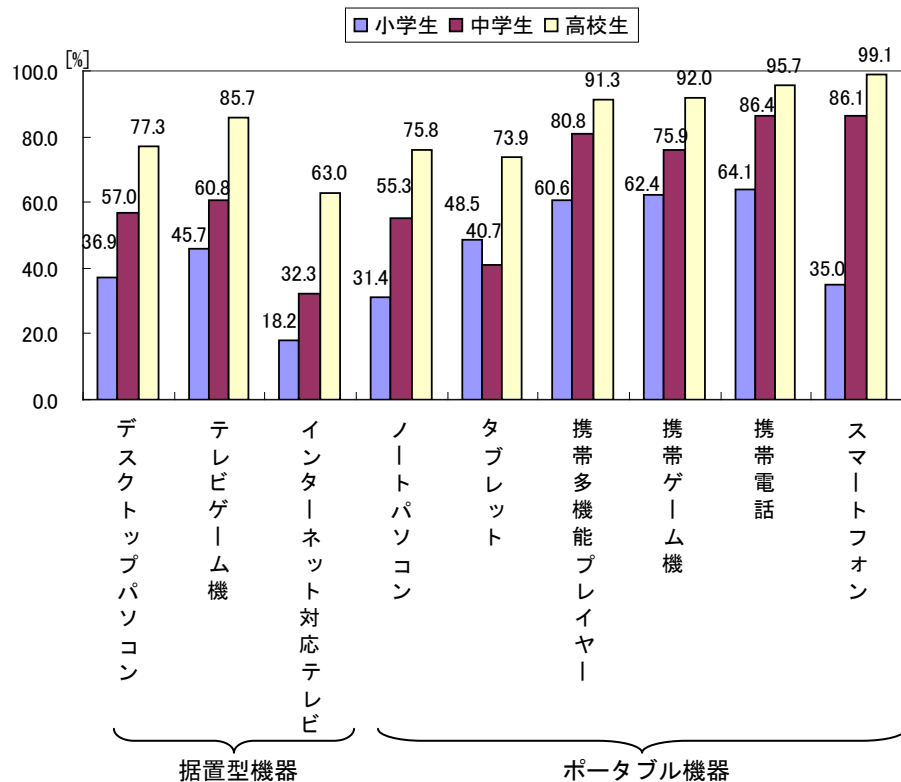


(注)集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年

小学生、中学生、高校生と年齢が高まるに従い、単独利用の比率が高まる傾向は、ほぼすべての機器でみられた。高校生では、携帯電話、スマートフォン、携帯多機能プレイヤー、携帯ゲーム機を一人だけで利用している者が90%以上となっている。パソコンでも7割以上が一人だけで利用することが多いと回答している。小学生では、携帯電話、携帯ゲーム機、携帯多機能プレイヤーを一人だけで利用することが多いと回答する者が6割となっている。パソコンでは3割程度である。小学生では、保護者がそばにいるときだけしか使わないという比率が、全ての機器において1~2割程度と中高生よりも高くなっている。特にスマートフォンでは3割が保護者がそばにいるときだけしか使わない

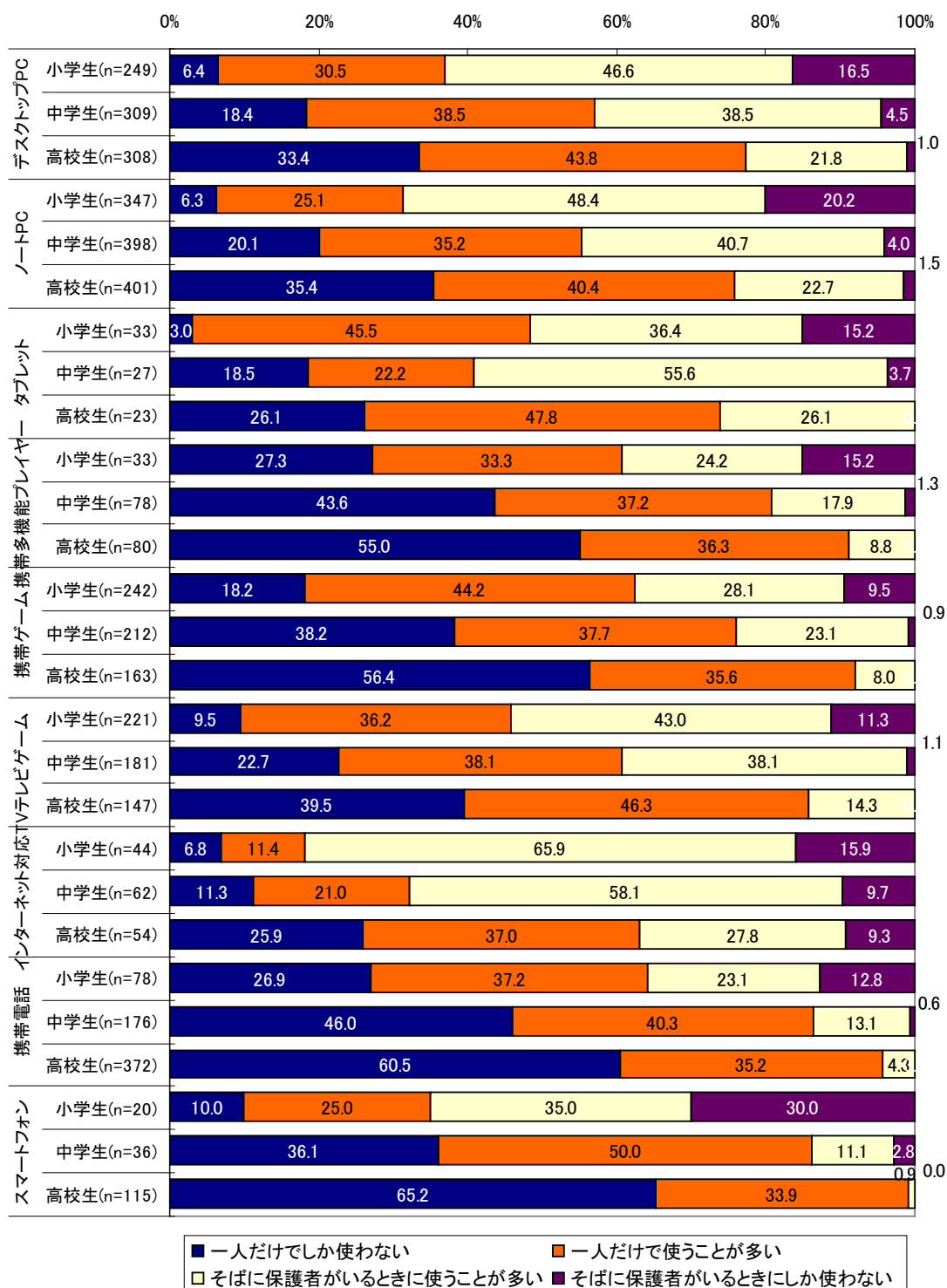
と回答している。

図表2-32 機器ごとのインターネットの単独利用状況（学校種別）



(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年  
 単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した比率

図表2-33 機器ごとのインターネットの単独利用状況（学校種別）



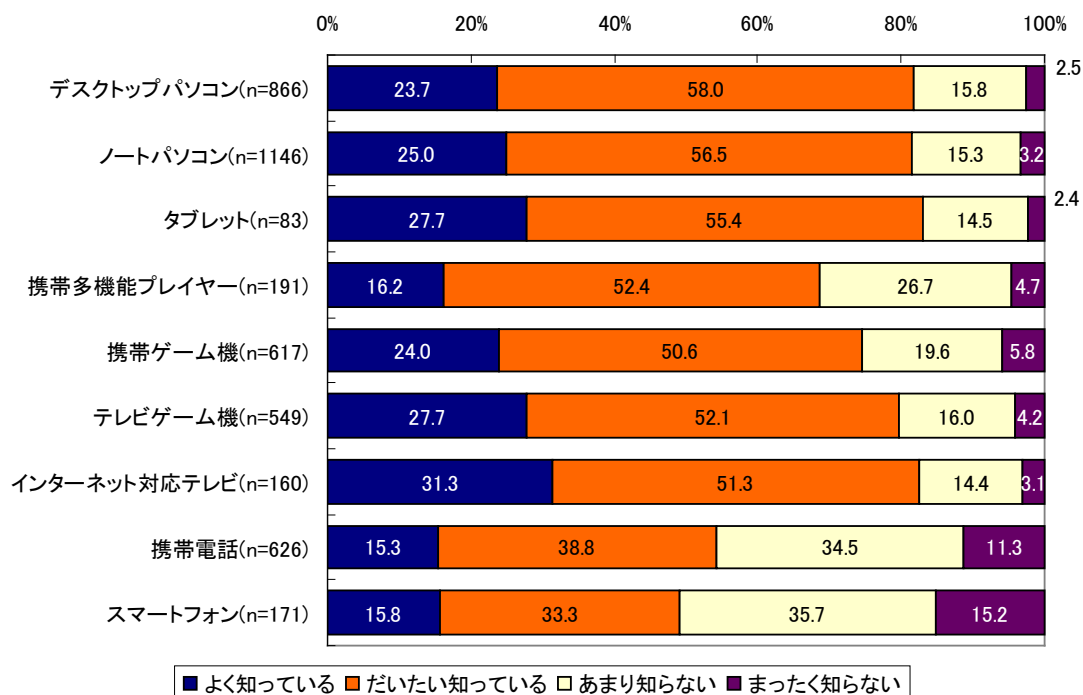
(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年



## 5.2 青少年の利用状況に関する保護者の把握状況

青少年のインターネットの利用状況について、保護者がどの程度把握していると考えているか調査したところ、パソコン、タブレット、インターネット対応テレビ、テレビゲーム機に関しては約8割が「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している。一方、携帯電話、スマートフォンで「よく知っている」「だいたい知っている」との回答は5割程度に留まっている。

図表2-34 青少年のインターネット利用状況に関する保護者の把握状況に対する  
青少年の認識



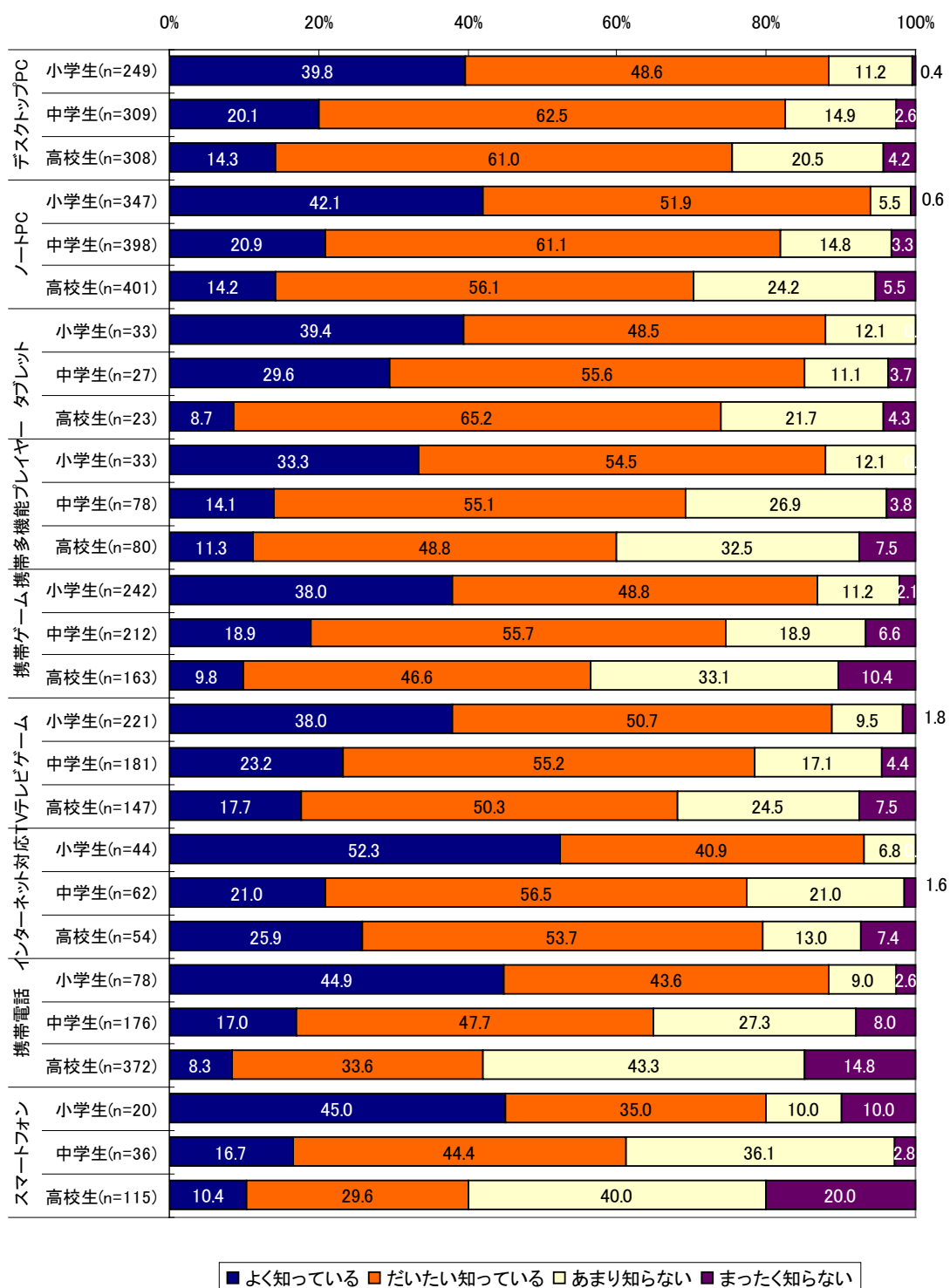
(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年

保護者が利用状況について把握していると考える比率は、小学生、中学生、高校生となるに従って減少している。

高校生でも、パソコン、タブレット、インターネット対応テレビ、テレビゲーム機に関しては、利用状況について保護者が「よく知っている」「だいたい知っている」と7～8割程度が回答している。

一方、携帯電話、スマートフォンに関して、保護者が「よく知っている」「だいたい知っている」とする高校生は、4割程度に留まっている。

図表2-35 青少年のインターネット利用状況に関する保護者の把握状況に対する  
青少年の認識（学校種別）



(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年

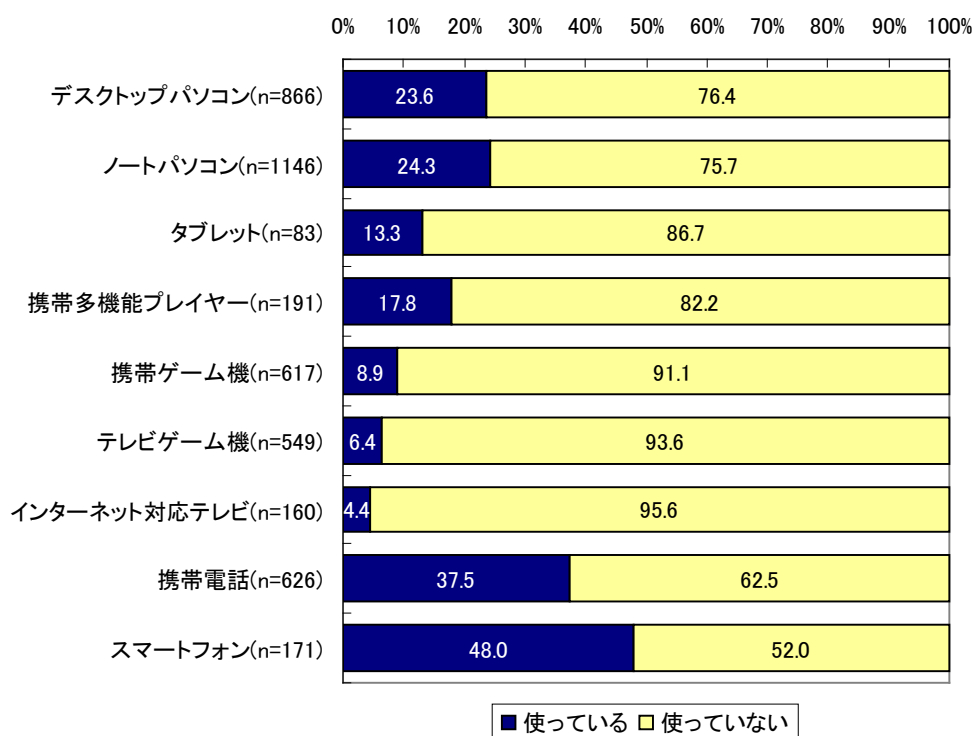
## 6. コミュニティサイトの利用状況

### 6.1 コミュニティサイトの利用率

スマートフォン、携帯電話、デスクトップパソコン、ノートパソコンでのコミュニティサイトの利用率が高い。

スマートフォンでインターネットを利用している青少年の内、約半数の48.0%がコミュニティサイトを利用している。携帯電話での利用率も高く37.5%である。デスクトップパソコン、ノートパソコンでの利用率は23.6%、24.3%である。携帯ゲーム機、テレビゲーム機、インターネット対応テレビでの利用率は10%以下であった。

図表2-36 機器ごとのコミュニティサイト利用状況



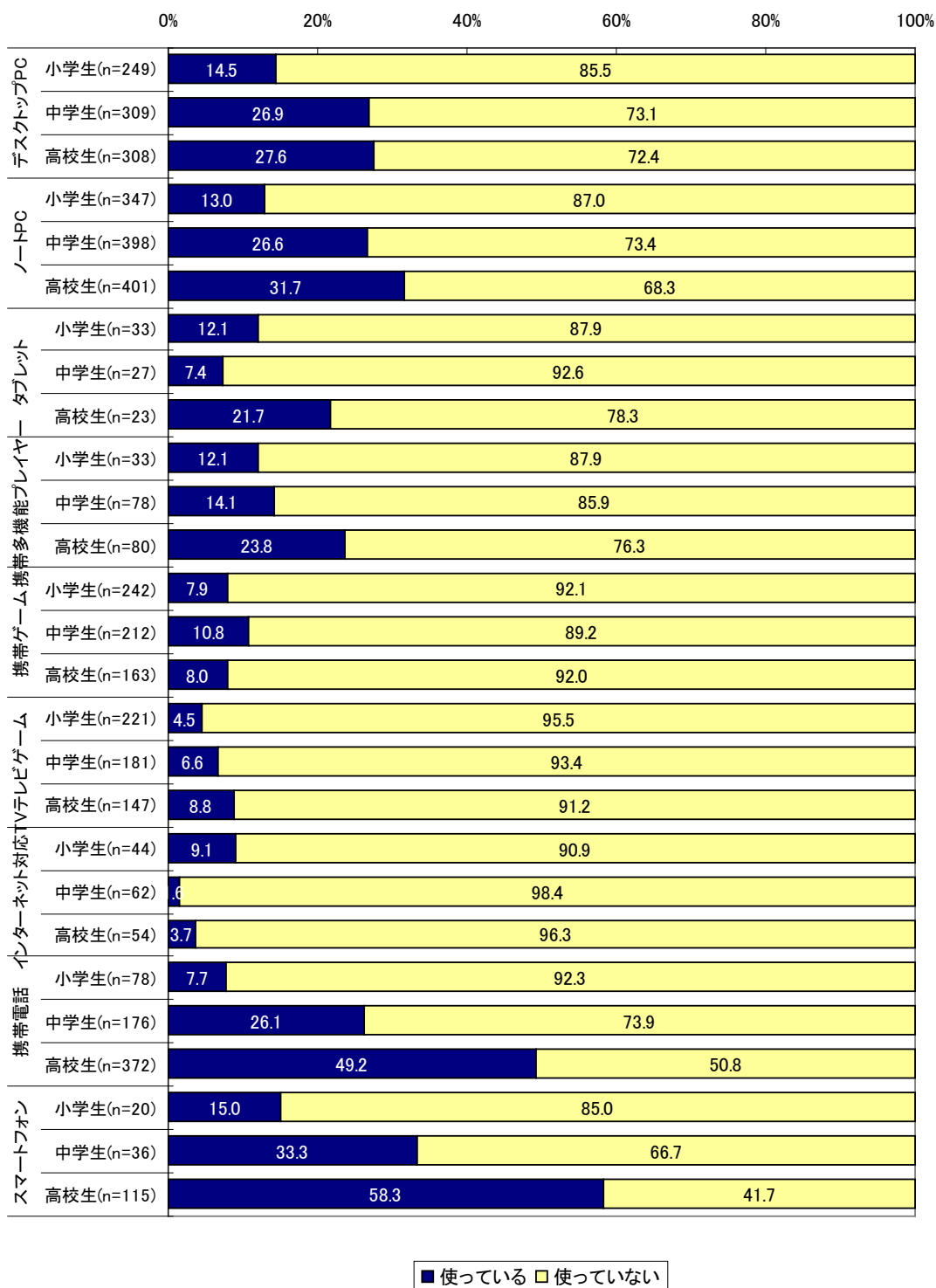
(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

小学生、中学生、高校生となるに従って、コミュニティサイトの利用率は増加する傾向にある。

デスクトップパソコン、ノートパソコンでは、小学生と中高生の間の利用率の差が大きくなっており、中学生になった時点で利用が増えている状況がうかがえる。一方、携帯電話やスマートフォンでは、中学生になった時点だけではなく、高校生になってからも利用率が大きく増えており、携帯電話では約半数、スマートフォンでは約6割の高校

生がコミュニティサイトを利用している。

図表2-37 機器ごとのコミュニティサイト利用状況（学校種別）

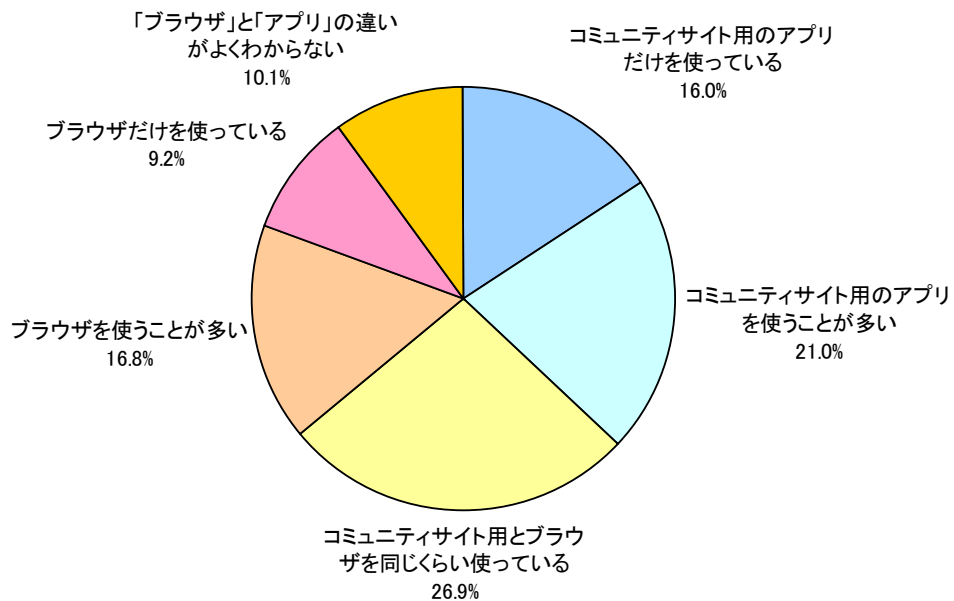


(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

## 6.2 コミュニティサイト利用時のアプリの使用状況

コミュニティサイトを利用する際に、ブラウザよりもアプリを使っている者の方が、若干、多くなっている。コミュニティサイトの利用者の 37.0%が主にアプリを使っており、26.1%が主にブラウザを使っている。両方を同じくらい使っているのは 26.9%である。

図表2-38 コミュニティサイト利用者のアプリ・ブラウザ利用状況 (n=119)



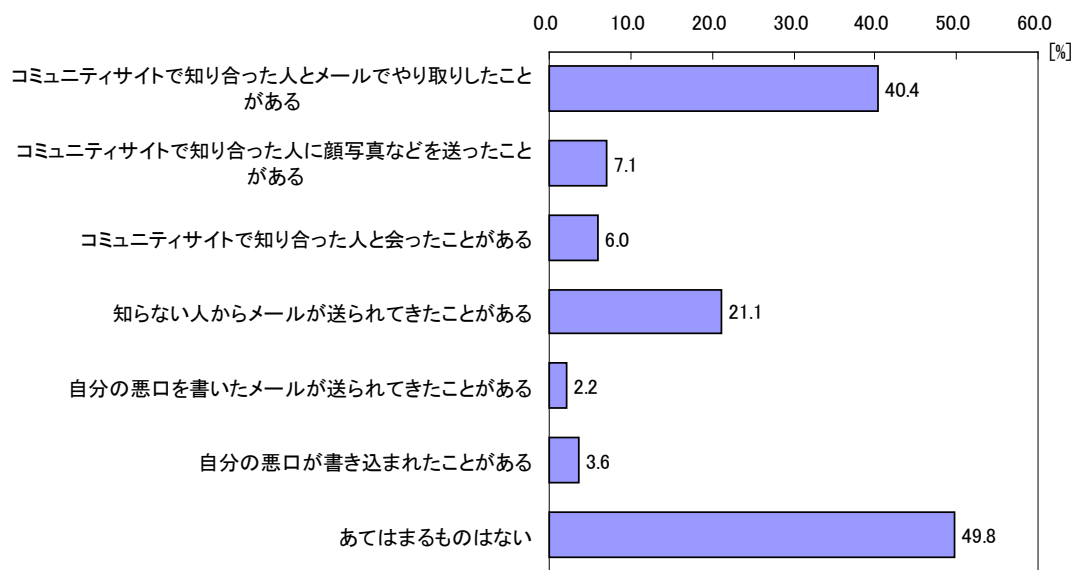
(注) 集計対象は、タブレット、携帯多機能プレイヤー、スマートフォンのいずれかでコミュニティサイトを利用している青少年

## 6.3 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等

青少年の内、コミュニティサイトで知り合った人とメールでやり取りした経験がある者は 40.4%である。コミュニティサイトで知り合った人に顔写真などを送った経験がある者は 7.1%、会った経験がある者は 3.0%である。知らない人からメールが送られてきた経験があるものは 21.1%である。

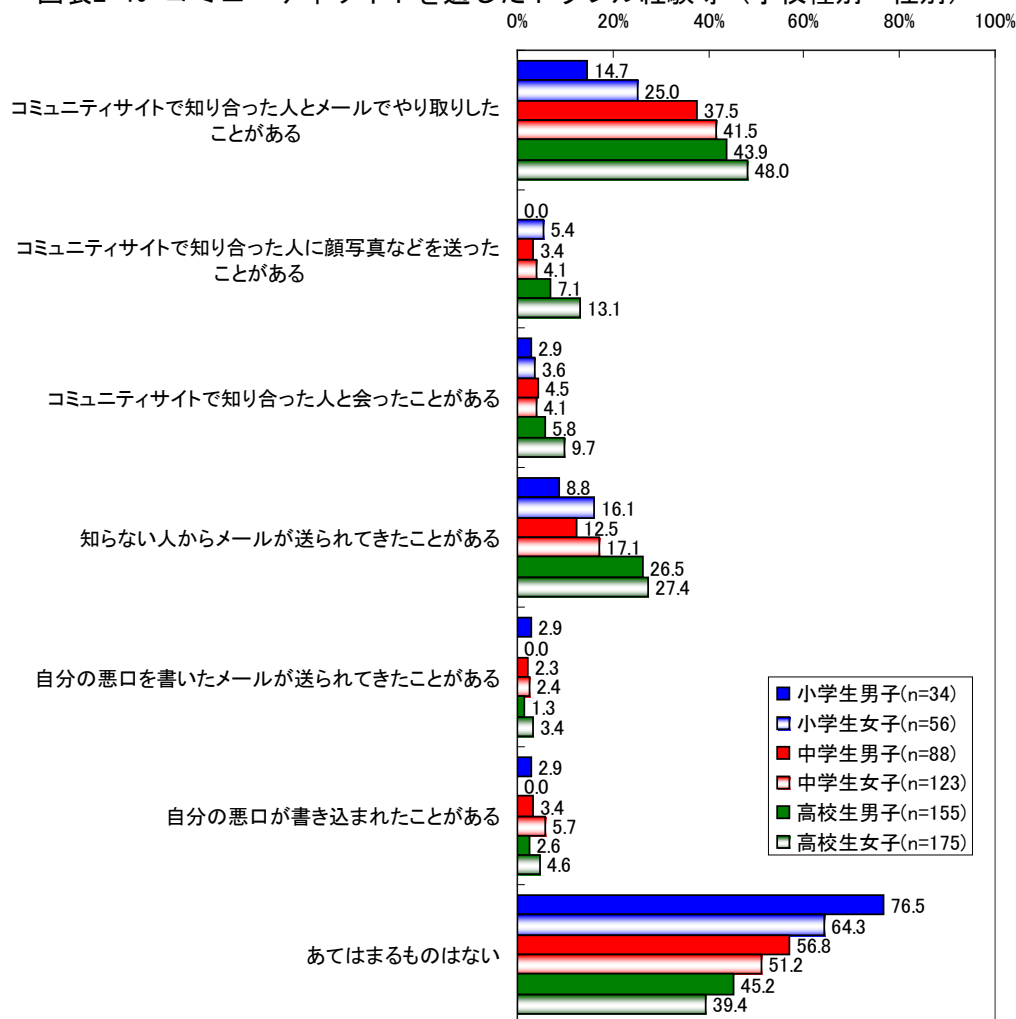
小学生、中学生、高校生となるに従って、トラブル等の経験率は増加し、また、男子よりも女子の方が、経験率が高くなる傾向にある。

図表2-39 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等 (n=631)



(注) 集計対象はコミュニティサイトを利用している青少年

図表2-40 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等 (学校種別・性別)

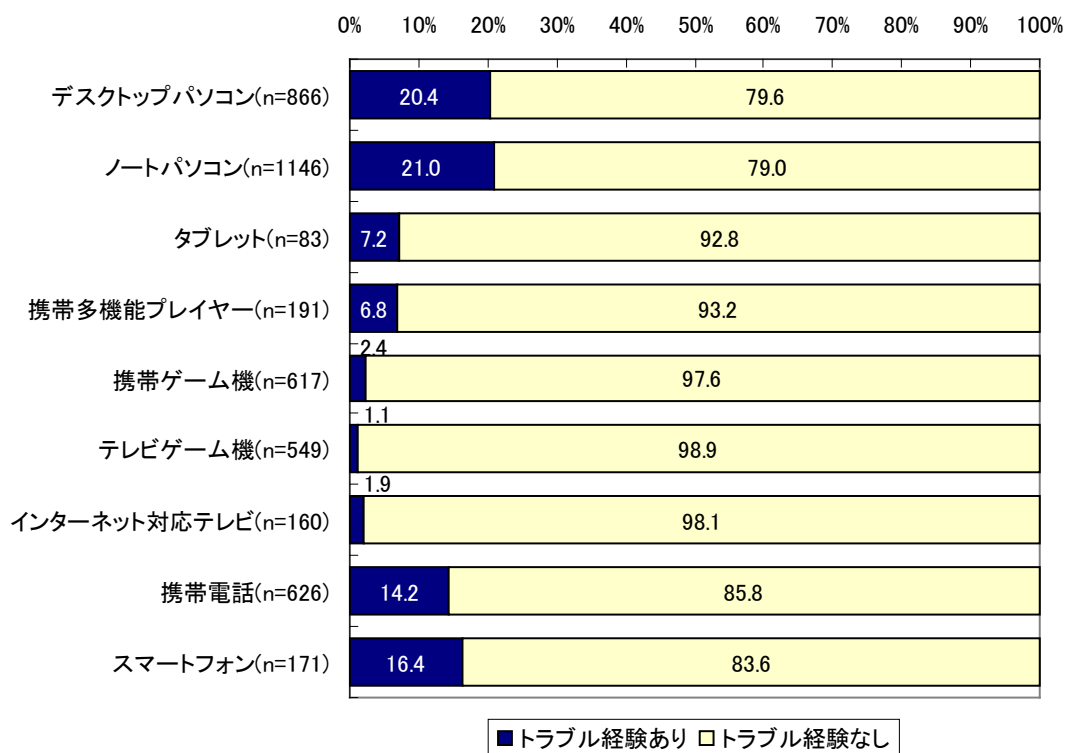


## 7. 違法・有害情報への遭遇状況

インターネットを利用している際に、わいせつな画像や気持ちの悪い画像、自殺や家出、麻薬などの情報等を、思いがけず見てしまうといったトラブルの経験は、デスクトップパソコン、ノートパソコンでは約2割が、携帯電話、スマートフォンでは15%前後が経験している。携帯ゲーム機、テレビゲーム機、インターネット対応テレビでは、こうした画像や情報等を思いがけず見てしまうという経験をした青少年は比較的少ない。

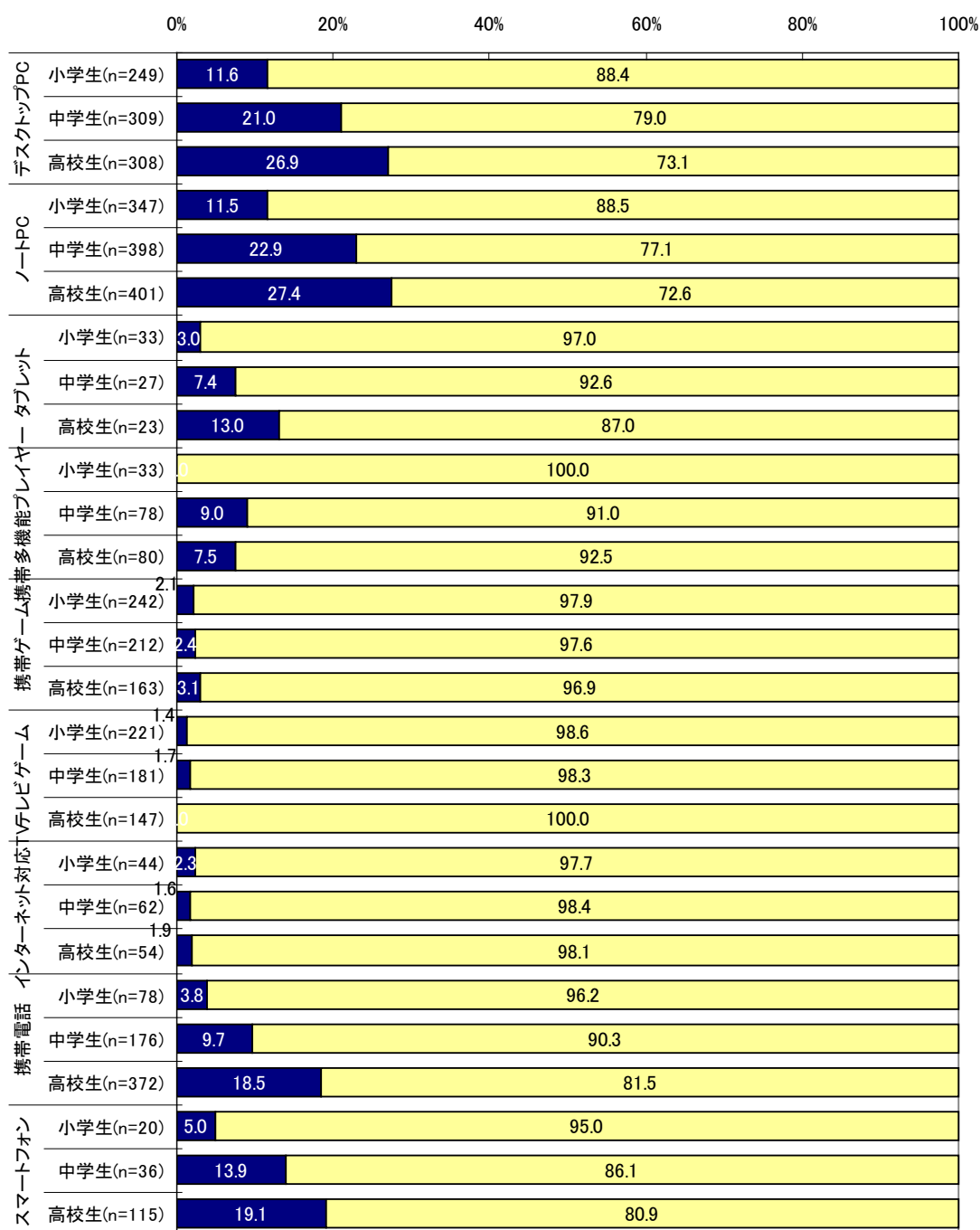
小学生、中学生、高校生となるに従って、違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブルを経験する比率は高くなる傾向がみられる。

図表2-41 違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブル経験



(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年

図表2-42 違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブル経験（学校種別）



■トラブル経験あり □トラブル経験なし

(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年

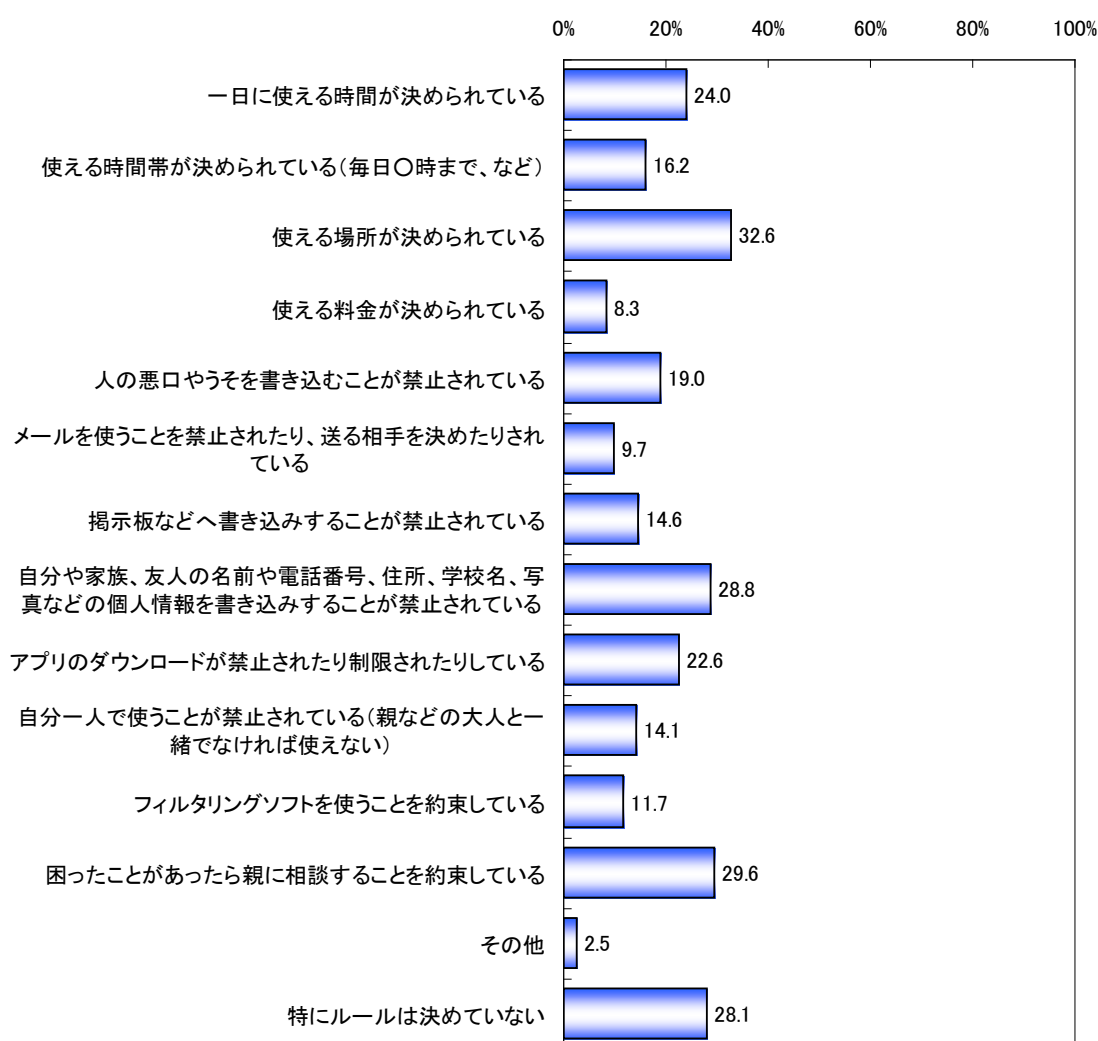


## 8. インターネットを利用する際のルール

青少年の 71.9%は、インターネットを利用するにあたり保護者と何らかのルールを決めている。

決めているルールとして多いのは、「使える場所」(32.6%)、「困った際に親に相談」(29.6%)、「個人情報の書込の禁止」(28.8%)、「一日に使える時間」(24.0%)、「アプリのダウンロードの禁止・制限」(22.6%) 等である。

図表2-43 インターネットを利用するにあたり定めているルール (n=2074)

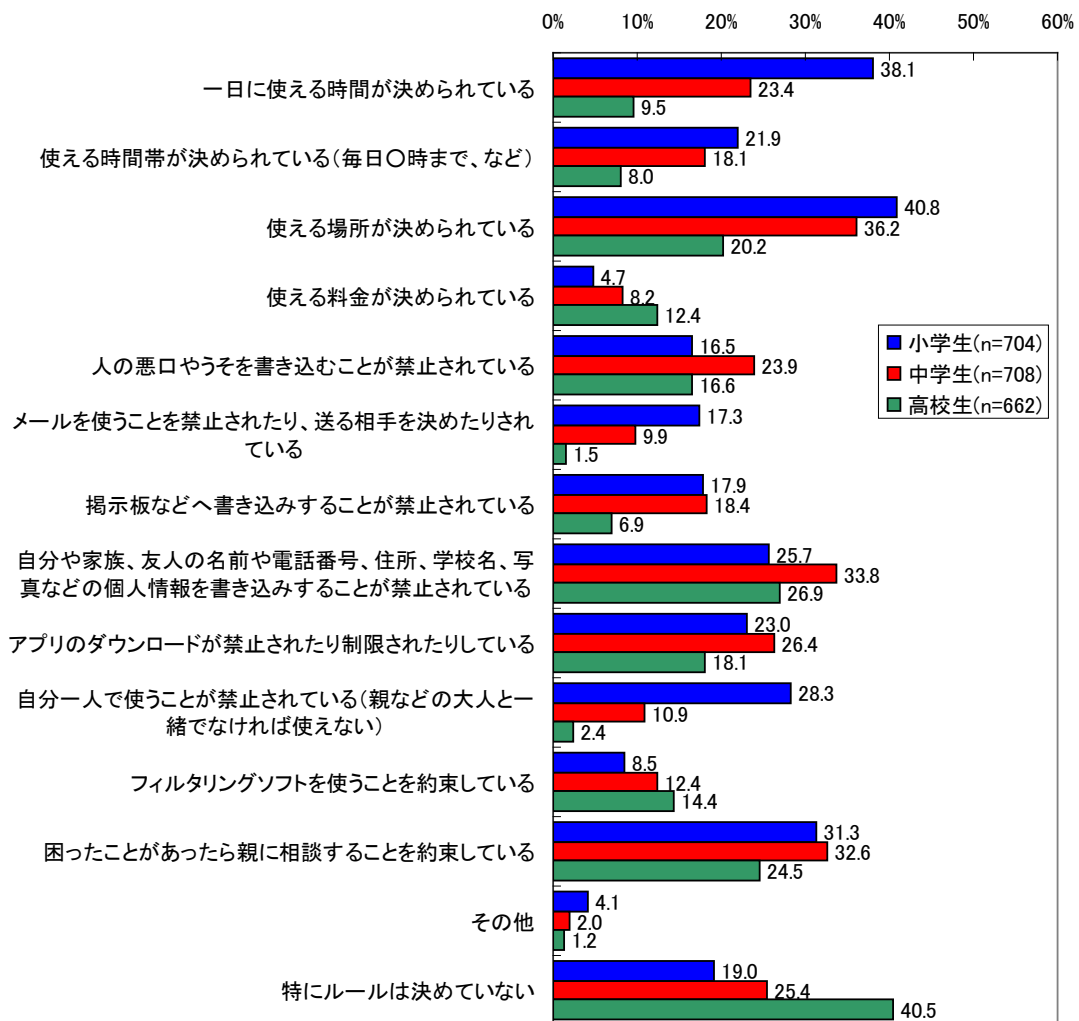


何らかのルールを設定している比率は小学生で 81.0%、中学生で 74.6%、高校生で 59.5% であり、年齢が高くなるに従い減少している。

設定しているルールの内容としては、小学生では「一日に使える時間」「使える時間帯」

「使える場所」「メールの禁止・制限」等のベーシックなものが多いのに対し、中学生では「悪口やうそ等の書込禁止」「個人情報の書込禁止」等のコミュニティサイト等に関連するルールが多くなっている。

図表2-44 インターネットを利用するにあたり定めているルール（学校種別）



## 9. フィルタリングソフト

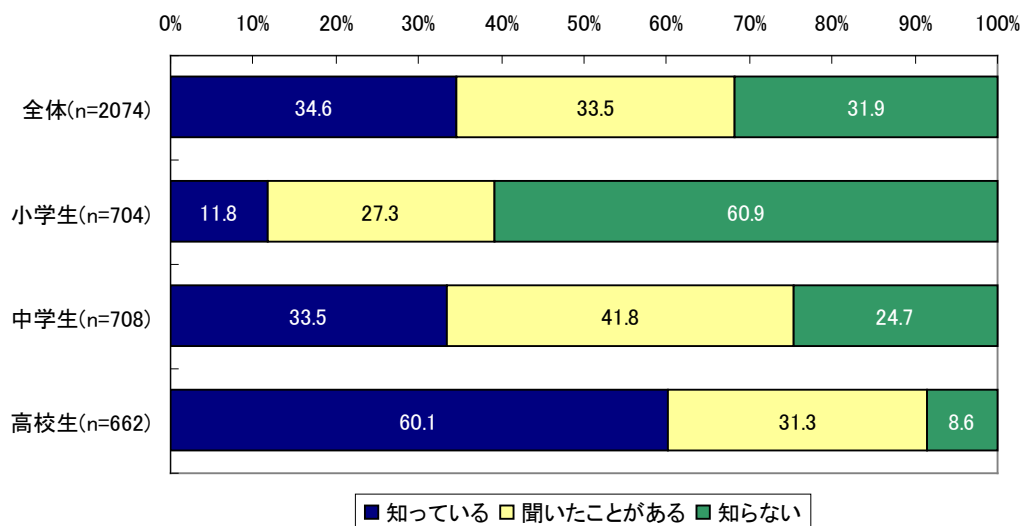
### 9.1 フィルタリングソフトの認知状況

フィルタリングソフトについて「知っている」「聞いたことがある」「知らない」とする青少年はそれぞれ 1/3 ずつになっている。

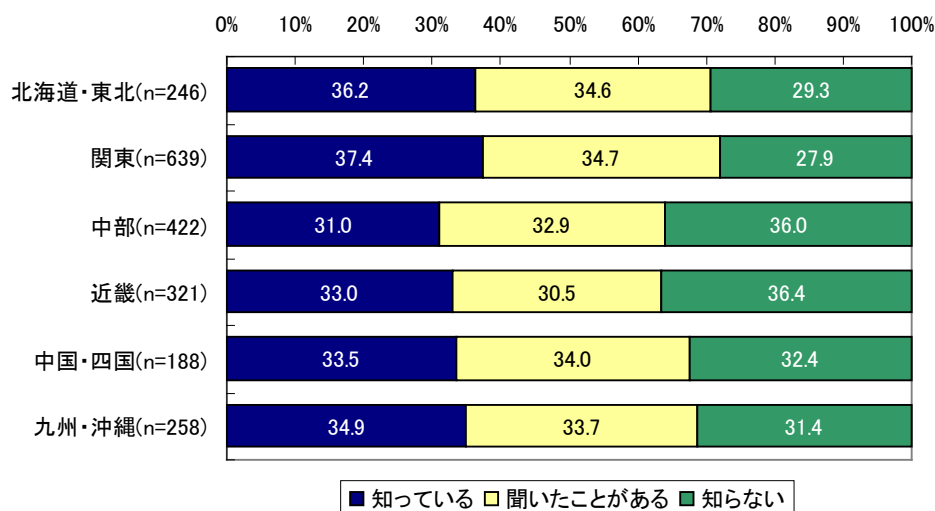
小学生から高校生になるに従い認知度は高まっている。小学生では「知っている」が 1 割であり、「知らない」が 6 割となっている。中学生では「知っている」が 3 割であり、「知らない」が 2.5 割である。高校生では 6 割が「知っている」であり、「知らない」が 1 割弱である。

地域別にはあまり大きな差はないが、関東、北海道・東北での認知度が高めとなり、中部、近畿での認知度が低めとなっていた。

図表2-45 フィルタリングソフトの認知状況



図表2-46 フィルタリングソフトの認知状況（居住地域別）



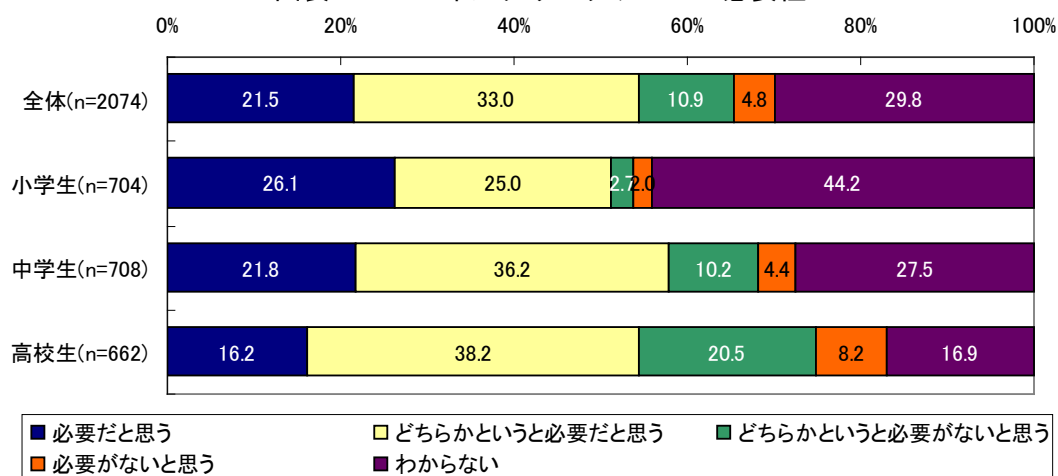
## 9.2 フィルタリングソフトの必要性

フィルタリングソフトが「必要」とする青少年は2割であり、「どちらかという必要」をあわせると約半数の青少年がフィルタリングソフトは必要であると考えている。一方、「どちらかという必要がない」「必要がない」とする青少年は15.7%であり、「わからない」とする青少年が3割となっている。

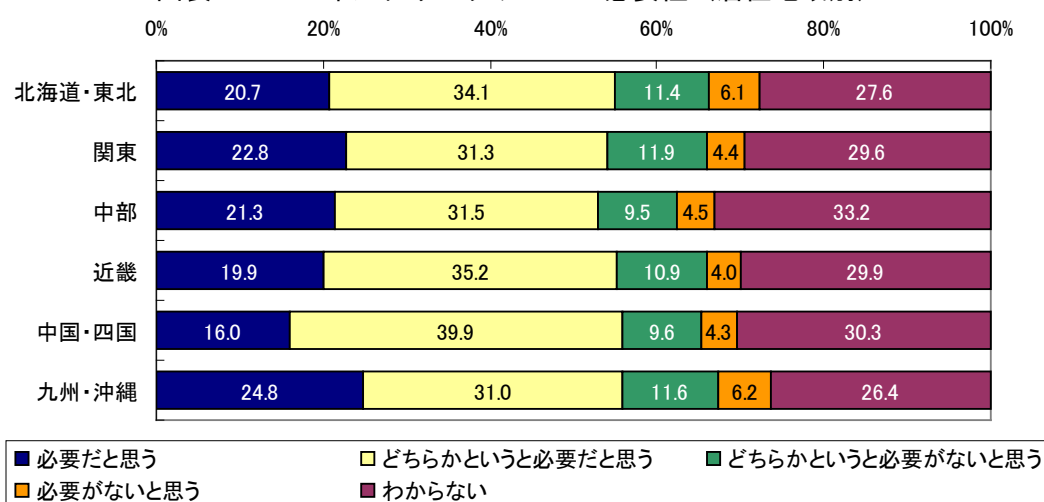
フィルタリングソフトの必要性について「わからない」とする回答は、小学生では44.2%と高いが、一方で「必要」とする回答も26.1%と中高生よりも高くなっている。中学生、高校生となるに従って、「必要がない」「どちらかという必要がない」とする比率が高くなっている。

地域別にみても大きな差はない。「必要」とする回答が九州・沖縄、関東で高く、中国・四国で少なくなっているが、「どちらかという必要」とする回答を加えてみると、どの地域も55%前後となっている。

図表2-47 フィルタリングソフトの必要性



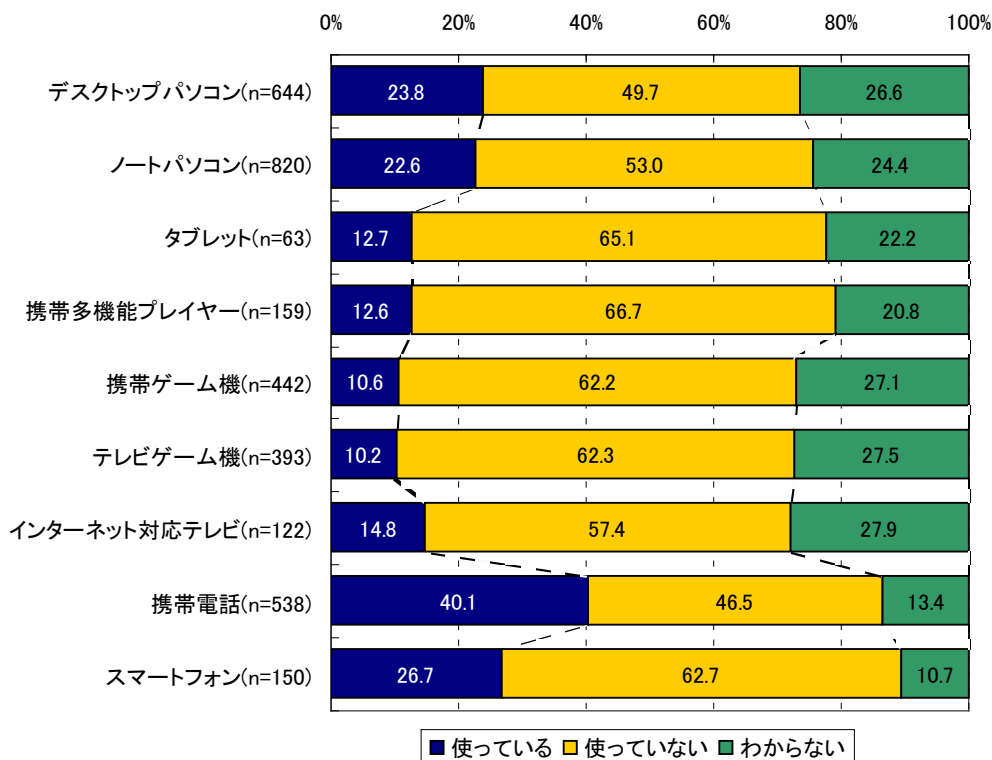
図表2-48 フィルタリングソフトの必要性（居住地域別）



### 9.3 フィルタリングソフトの利用状況

携帯電話では 40.1%、スマートフォンでは 26.7%、デスクトップパソコンでは 23.8%、ノートパソコンでは 22.6%でフィルタリングソフトが利用されている。

図表2-49 機器ごとのフィルタリングソフトの利用状況



(注) 集計対象は、当該機器でインターネットを利用し、かつ、フィルタリングソフトについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した青少年

一般的に高校生のフィルタリング利用率は、小中学生よりも低くなる傾向がみられる。デスクトップパソコン、ノートパソコンでは小学生の利用率が高く、高校生の利用率が低くなっている。携帯電話では、小中学生の利用率が高く、高校生の利用率が低い。

図表2-50 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率

	全体	小学生	中学生	高校生
デスクトップパソコン	23.8	38.2	24.1	17.9
ノートパソコン	22.6	33.8	23.9	16.9
タブレット	12.7	5.9	16.7	13.6
携帯多機能プレイヤー	12.6	23.1	14.5	9.1
携帯ゲーム機	10.6	14.8	10.9	7.2
テレビゲーム機	10.2	13.0	11.4	6.6
インターネット対応テレビ	14.8	20.8	15.2	11.5
携帯電話	40.1	51.2	49.0	35.1
スマートフォン	26.7	36.4	30.3	24.5

地域別にみると、デスクトップパソコンのフィルタリング利用率では中国・四国が他の地域よりも高めとなっている。ノートパソコンでは、九州・沖縄の利用率が他の地域よりも低い。携帯電話での利用率は、中部、近畿、中国・四国で低くなっている。

図表2-51 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率（居住地域別）<sup>5</sup>

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
デスクトップパソコン	20.5	21.3	26.8	20.4	30.0	27.5
ノートパソコン	18.1	24.7	26.7	21.9	25.0	13.4
携帯ゲーム機	9.6	9.8	6.4	13.2	17.1	12.5
テレビゲーム機	11.5	9.3	8.3	10.1	9.1	15.8
携帯電話	41.1	45.9	35.9	33.3	34.1	42.4
スマートフォン	31.3	22.0	17.4	34.6	45.5	26.7

<sup>5</sup> 回答数の少ないタブレット、携帯多機能プレイヤー、インターネット対応テレビについては表記を省略している。

### 第3章 保護者対象アンケート調査結果

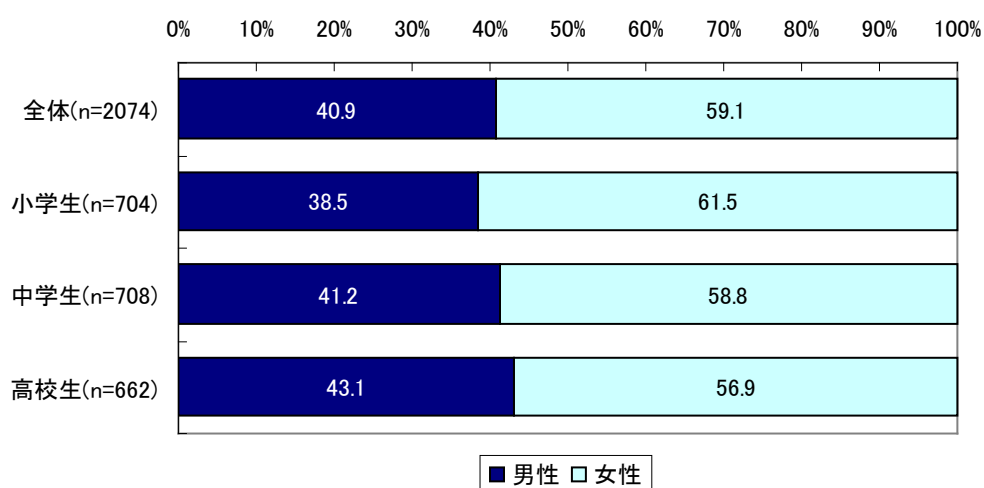
#### 1. 回答者属性

##### 1.1 保護者の属性

###### (1)性別

調査に回答した保護者の性別は 40.9%が男性、59.1%が女性である。

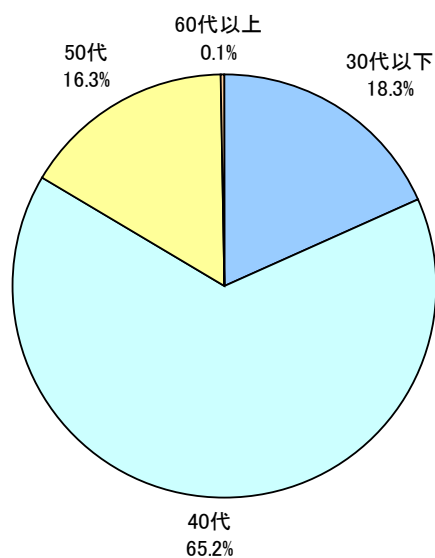
図表3-1 青少年の学校種別に応じた回答した保護者の性別(n=2074)



###### (2)年代

調査に回答した保護者の年代は 40代が 65.2%であり、過半を占めている。30代以下は 18.3%、50代が 16.3%、60代以上が 0.1%となっている。

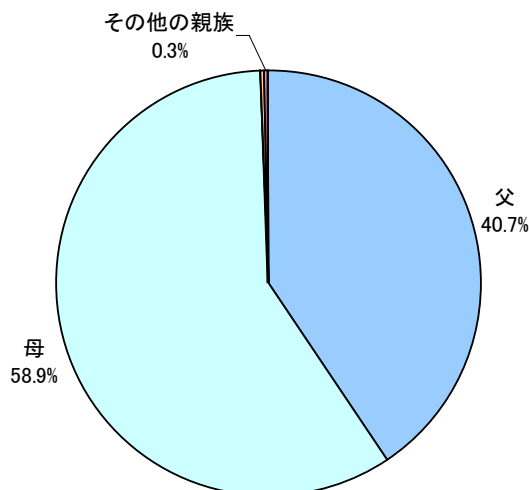
図表3-2 回答した保護者の年代 (n=2074)



### (3) 青少年と保護者との続柄

回答した保護者と青少年との続柄は、40.7%が父、58.9%が母であり、その他の親族が0.3%となっている。

図表3-3 回答した保護者と青少年との続柄 (n=2074)



### (4) 青少年と保護者とのインターネットへの詳しさ

保護者に対して、青少年と保護者のどちらがインターネットについて詳しいか聞いたところ、保護者の方が青少年よりも詳しいとする者が60.2%、逆に子供の方が詳しいとする者が5.5%であった。

但し、保護者の方が詳しいとする比率は、青少年の学校種別が小学生から中学生、高校生となるに従って下がっている。どちらかというとな保護者の方が詳しいとする者も含め、保護者の方が詳しいとする比率は、青少年が小学生の場合には94.9%であるのに対し、中学生では79.1%、高校生では56.0%となっている。

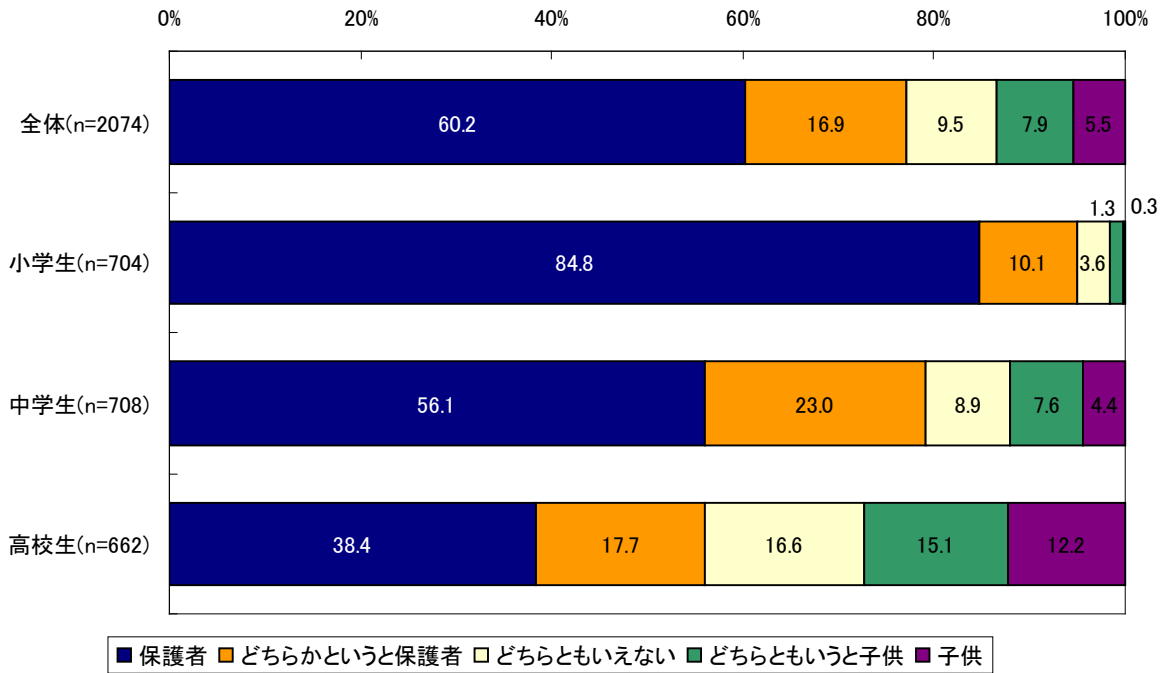
青少年の性別ごとにみると、小学生、中学生、高校生ともに、男子の方が若干女子よりも、子供の方が詳しいと回答している比率が高くなっている。

また、男性の保護者の方が、女性の保護者よりも、保護者の方が詳しいと回答している比率が高くなっている。

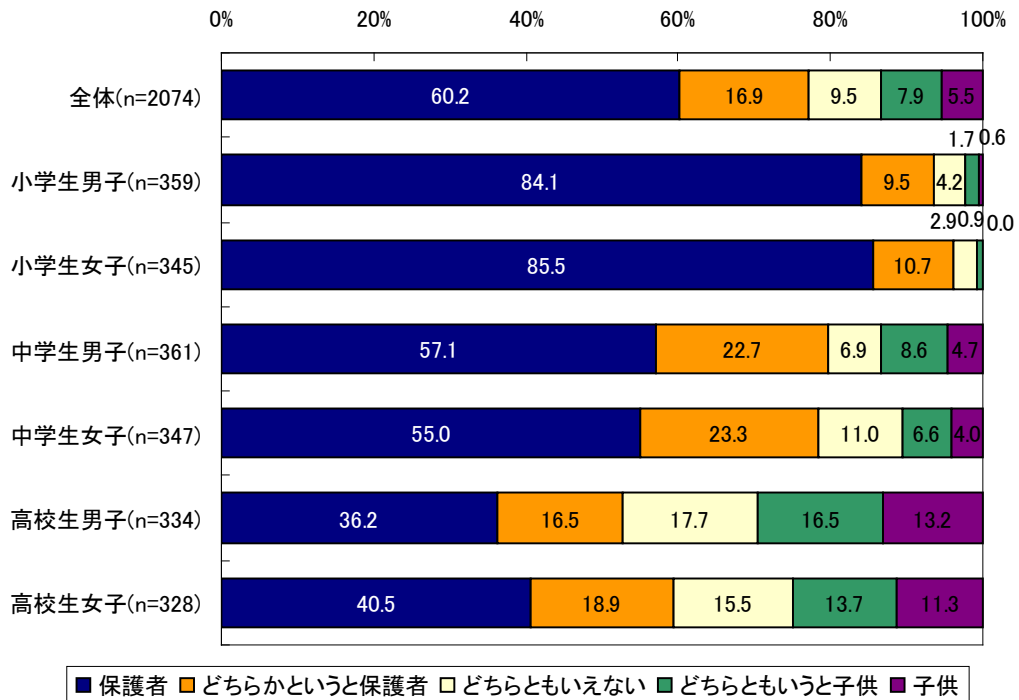
保護者の年代別にみると、30代以下の保護者では、保護者の方が詳しいとする者が、71.5%であり、40代以上の保護者よりも高くなっている。保護者の年代が高くなるほど、子供の方が詳しいとする者が増えている。但し、これは年代が高い保護者ほど、その子供の年齢も高いことが多いことが影響しているものと考えられる。



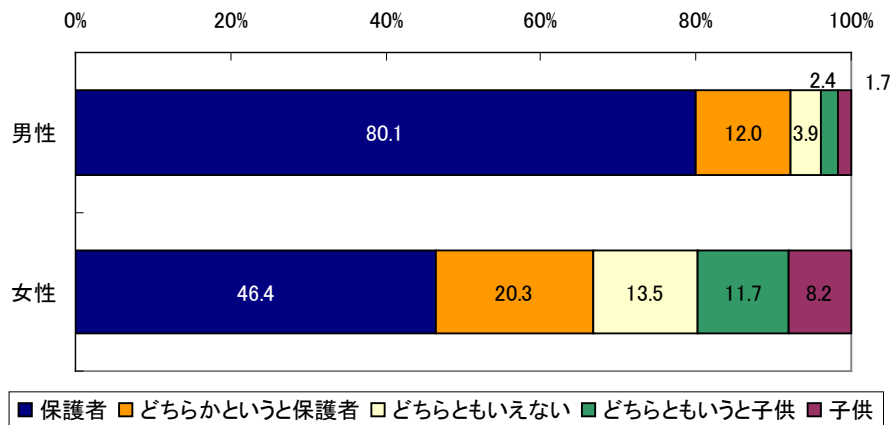
図表3-4 青少年と保護者のどちらがインターネットについて詳しいか（子供の学校種別）



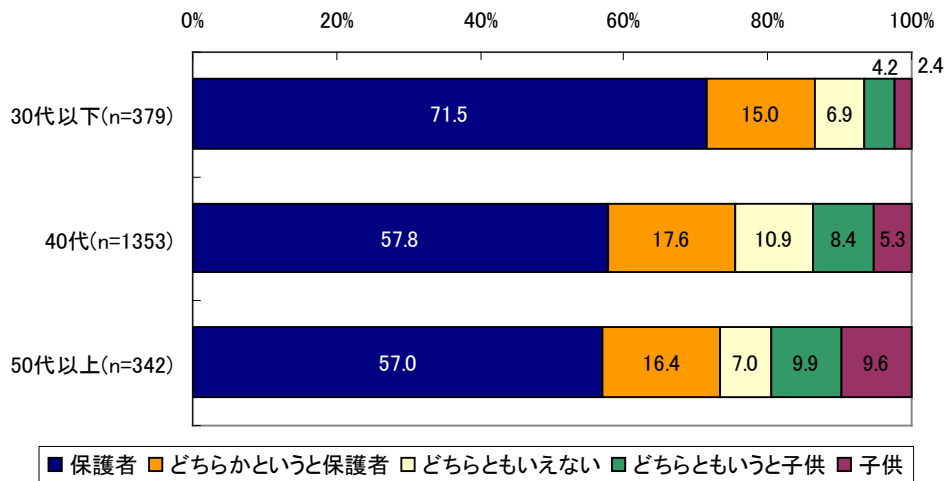
図表3-5 青少年と保護者のどちらがインターネットについて詳しいか（子供の性別・学校種別）



図表3-6 青少年と保護者のどちらがインターネットについて詳しいか（保護者の性別）



図表3-7 青少年と保護者のどちらがインターネットについて詳しいか（保護者の年代別）



## 2. 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況の認識状況

### 2.1 機器の所有状況

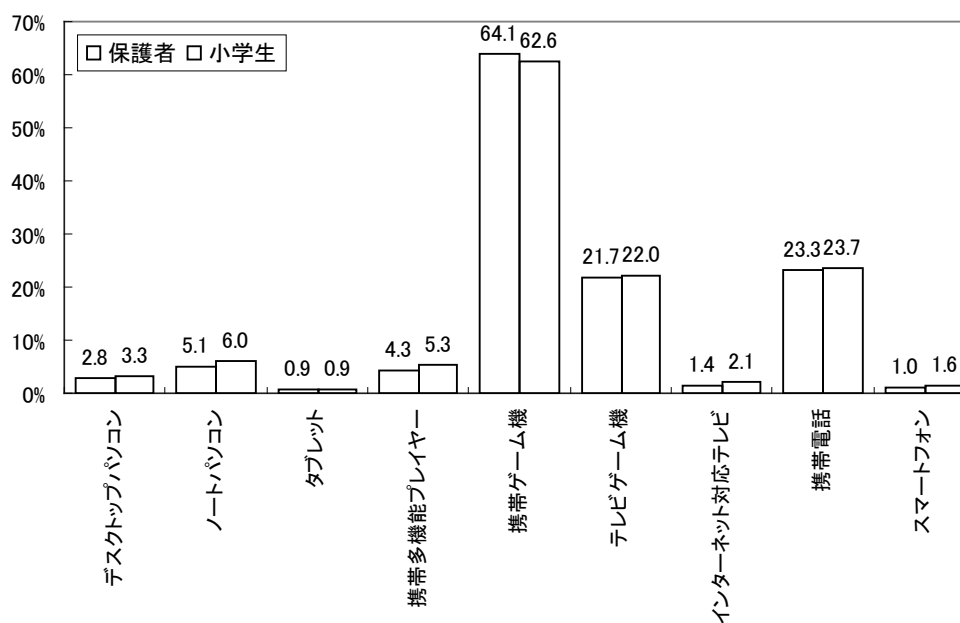
保護者に青少年の機器の所有状況について調査したところ、概ね青少年の回答と同様の回答状況であった。保護者は、青少年の機器の所有状況について、ほぼ正確に把握していることがわかった。

#### (1)小学生の機器の所有状況に関する認識

小学生が自分専用で使用する機器の所有状況について、小学生の保護者による回答と、小学生自身による回答とを比較した。

ほぼ小学生の回答と保護者の回答とは等しくなっているが、携帯多機能プレイヤーでは若干差が生じている。

図表3-8 自分専用の機器の所有状況に関する保護者と小学生による回答状況の比較(n=704)

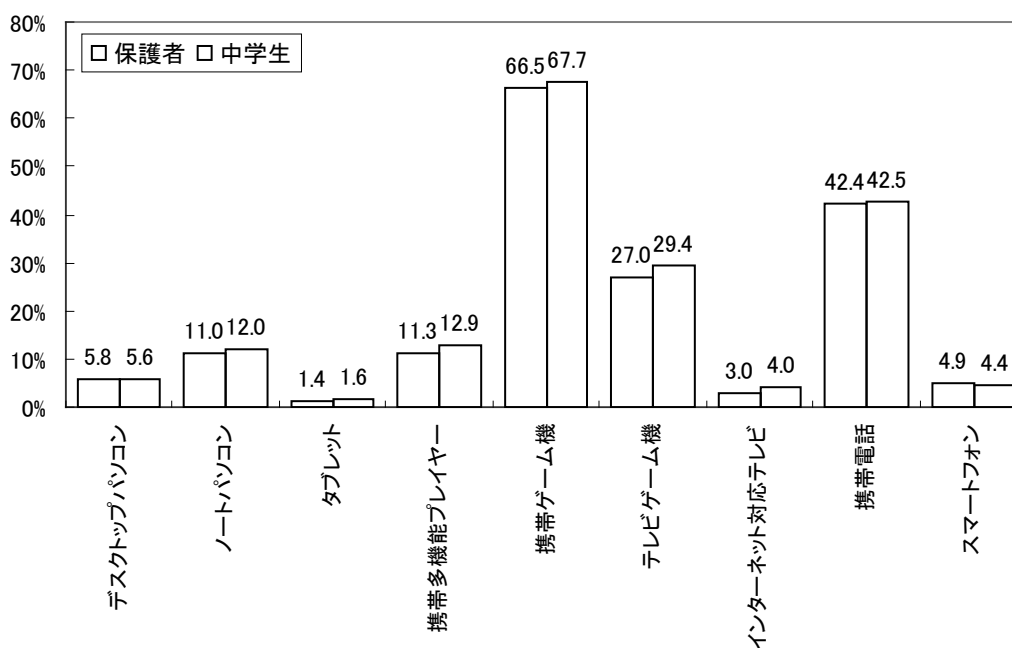


## (2)中学生の機器の所有状況に関する認識

中学生が自分専用で使用する機器の所有状況について、中学生の保護者による回答と、中学生自身による回答とを比較した。

ほぼ中学生の回答と保護者の回答とは等しくなっているが、テレビゲーム機、携帯多機能プレイヤーで若干差が生じている。

図表3-9 自分専用の機器の所有状況に関する保護者と中学生による回答状況の比較(n=708)

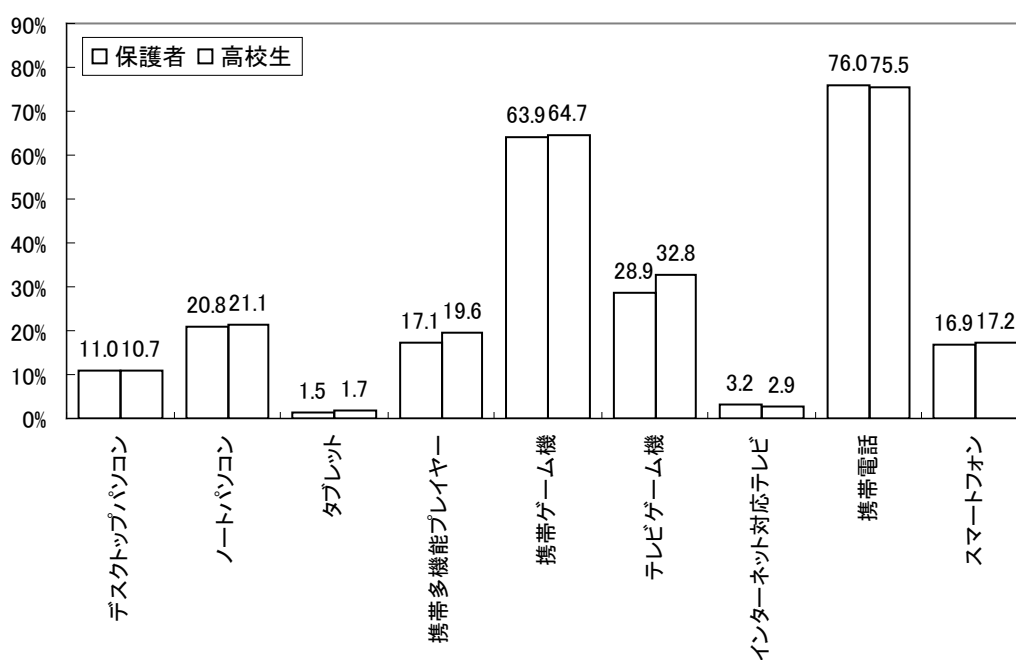


### (3) 高校生の機器の所有状況に関する認識

高校生が自分専用で使用する機器の所有状況について、高校生の保護者による回答と、高校生自身による回答とを比較した。

ほぼ高校生の回答と保護者の回答とは等しくなっているが、テレビゲーム機、携帯多機能プレイヤーで若干差が生じている。

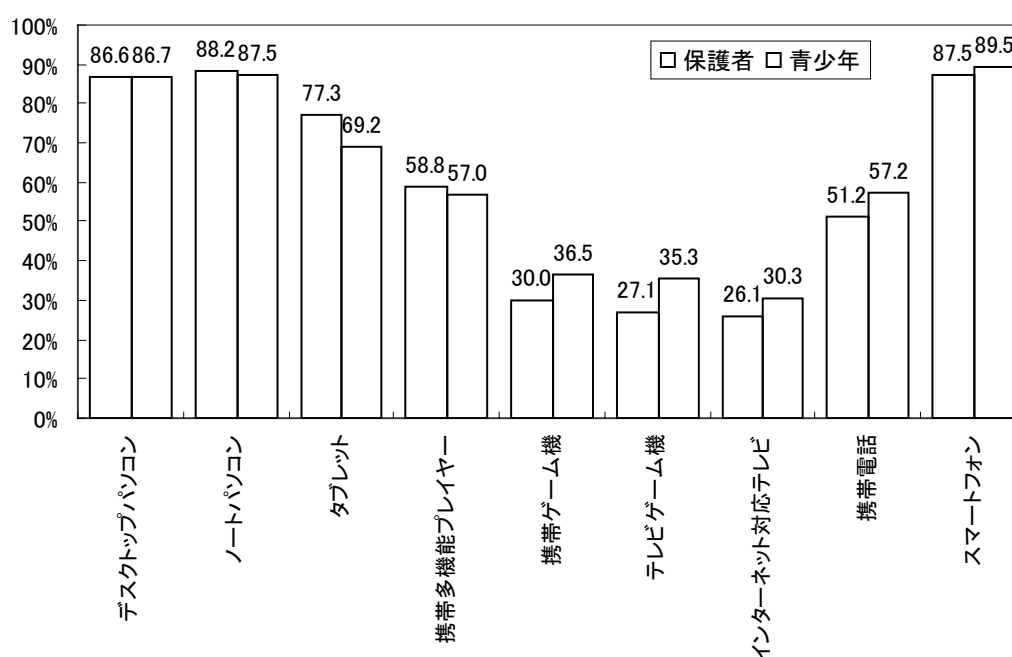
図表3-10 自分専用の機器の所有状況に関する保護者と高校生による回答状況の比較  
(n=662)



## 2.2 機器ごとのインターネット利用状況

保護者に青少年の機器ごとのインターネットの利用状況について調査したところ、概ね青少年の回答と同様の回答状況であったが、携帯ゲーム機、テレビゲーム機、携帯電話、インターネット対応テレビでは、保護者の認識よりも実際の青少年の利用率は高くなっている。これらの機器では、若干、保護者の知らないところで青少年がインターネットを利用している状況にあることがわかる。

図表3-11 機器ごとのインターネット利用状況に関する保護者と青少年による回答状況の比較



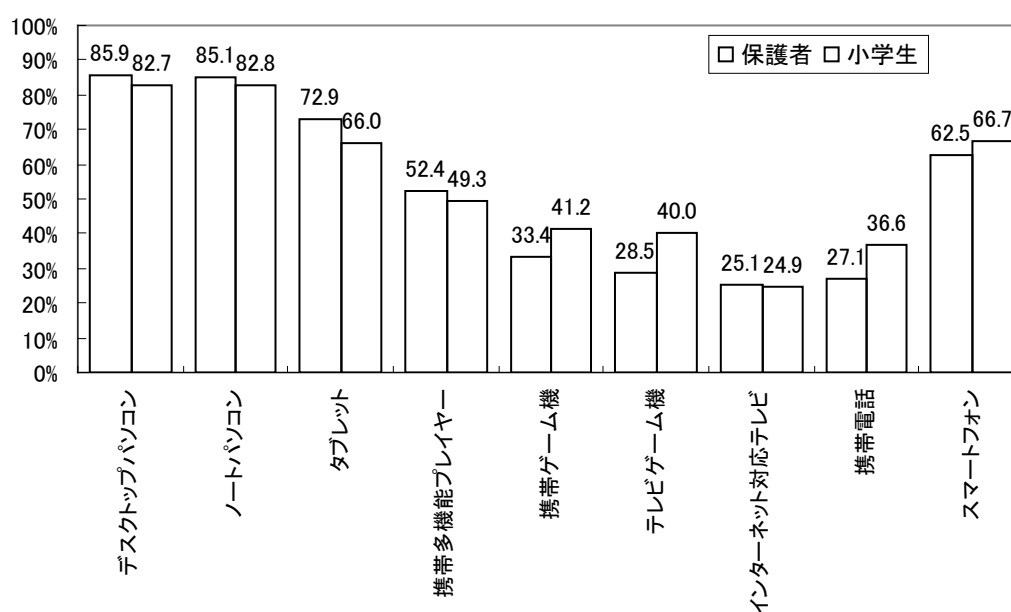
(注) それぞれの母数が異なることに注意。

保護者の集計対象は、当該機器を青少年が所有していると回答した保護者  
 青少年の集計対象は、当該機器を所有している青少年

### (1)小学生のインターネット利用状況に関する認識

小学生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、ゲーム機、携帯電話での乖離が大きくなっている。テレビゲーム機では 11.5 ポイント、携帯ゲーム機では 7.8 ポイントの差がある。また、携帯電話では 9.6 ポイントの差が生じている。一方、パソコン、タブレット、携帯多機能プレイヤーなどでは、保護者が考えているよりも、小学生によるインターネットの利用率は低くなっていた。

図表3-12 機器ごとのインターネット利用状況に関する保護者と小学生による回答状況の比較



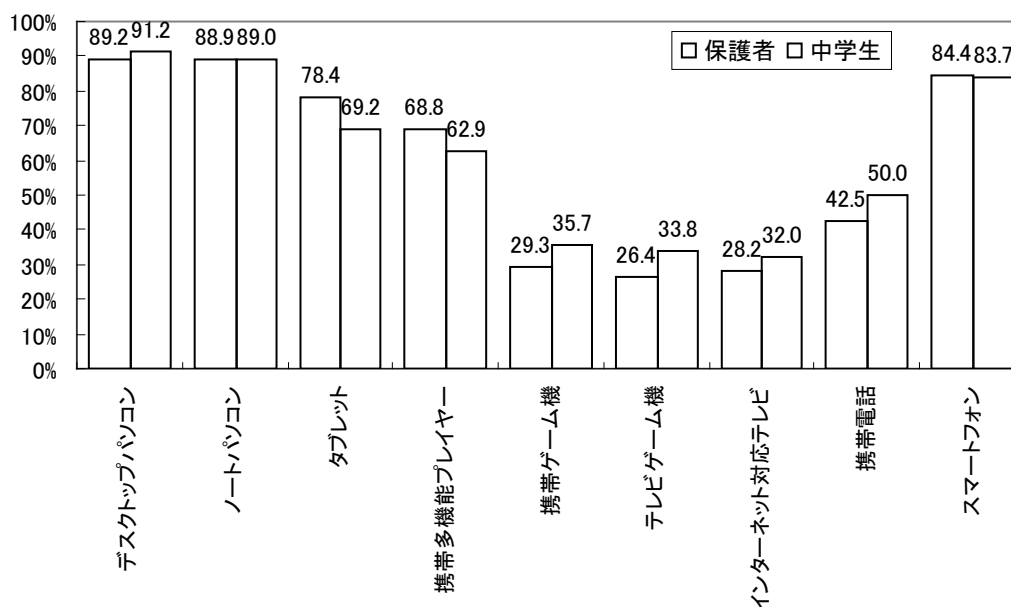
(注) それぞれの母数が異なることに注意。

保護者の集計対象は、当該機器を青少年が所有していると回答した保護者  
 青少年の集計対象は、当該機器を所有している青少年

## (2)中学生のインターネット利用状況に関する認識

中学生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、携帯電話、ゲーム機での乖離が大きい。携帯電話で7.5ポイント、テレビゲーム機で7.3ポイント、携帯ゲーム機で6.4ポイントの差がある。一方、タブレットや携帯多機能プレイヤーなどでは、保護者が考えているよりも、小学生によるインターネットの利用率は低くなっていた。

図表3-13 機器ごとのインターネット利用状況に関する保護者と中学生による回答状況の比較



(注) それぞれの母数が異なることに注意。

保護者の集計対象は、当該機器を青少年が所有していると回答した保護者

青少年の集計対象は、当該機器を所有している青少年

## (3)高校生のインターネット利用状況に関する認識

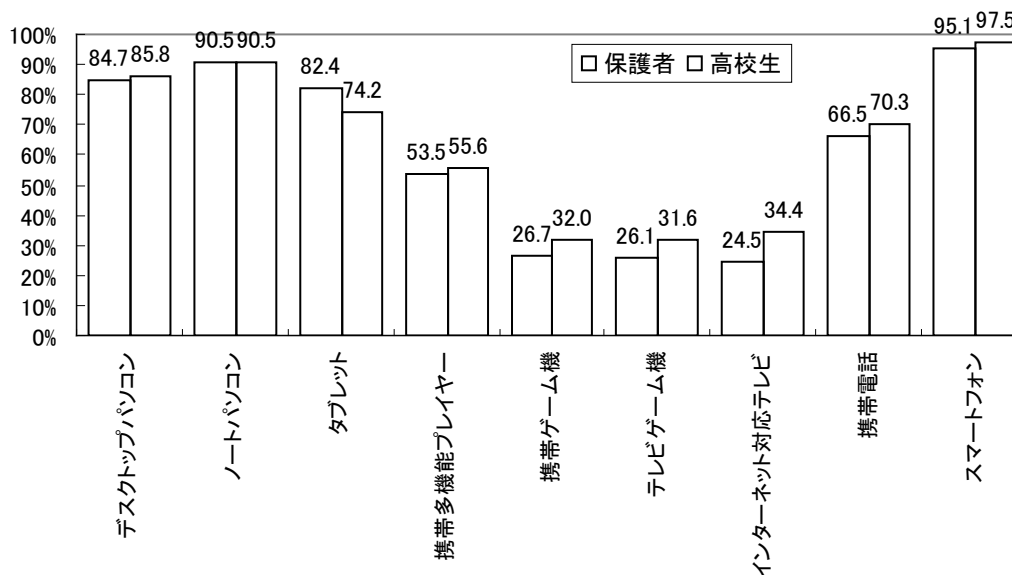
高校生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、小中学生と比較すると携帯電話の乖離度は若干少なくなっているが、インターネット対応テレビ、ゲーム機で乖離がみられる。

インターネット対応テレビでは9.9ポイント、テレビゲーム機では5.6ポイント、携帯ゲーム機で5.3ポイントの差がある。パソコンでの利用状況に関しては、ほぼ正確に把握されている。一方、タブレットは、保護者が考えているよりも、小学生によるインター



ネットの利用率は低くなっていた。

図表3-14 機器ごとのインターネット利用状況に関する保護者と高校生による回答状況の比較



(注) それぞれの母数が異なることに注意。

保護者の集計対象は、当該機器を青少年が所有していると回答した保護者

青少年の集計対象は、当該機器を所有している青少年

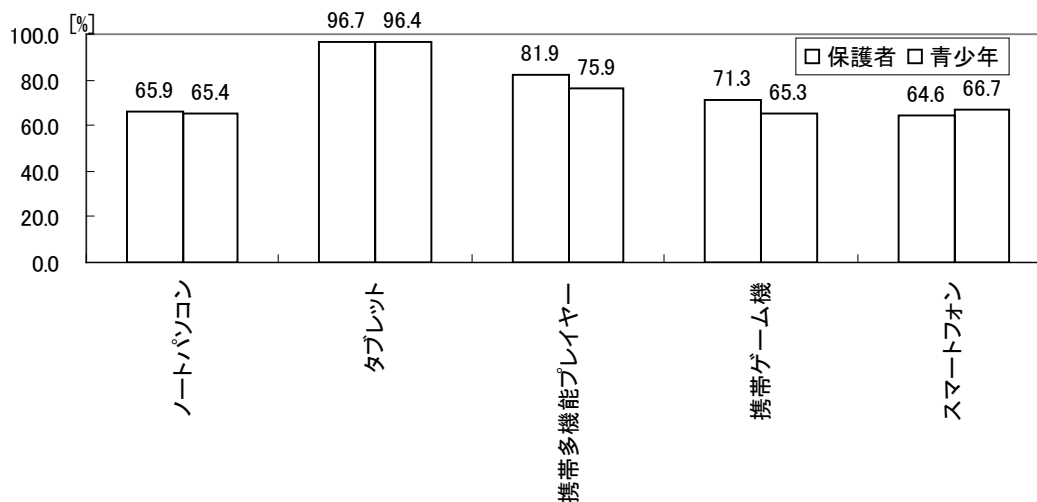
### 2.3 青少年による無線 LAN の利用に関する把握状況

青少年の無線 LAN を介したインターネットの利用状況について、保護者に調査したところ、全体の傾向は青少年とほぼ同様であった。

個別の機器についてみると、ノートパソコン、タブレットは、青少年と保護者で、ほぼ同じ数値となっており、正確に状況が把握されている。携帯多機能プレイヤー、携帯ゲーム機に関しては、保護者の方が無線 LAN を利用していると回答している比率が、青少年による回答よりも高くなっている。

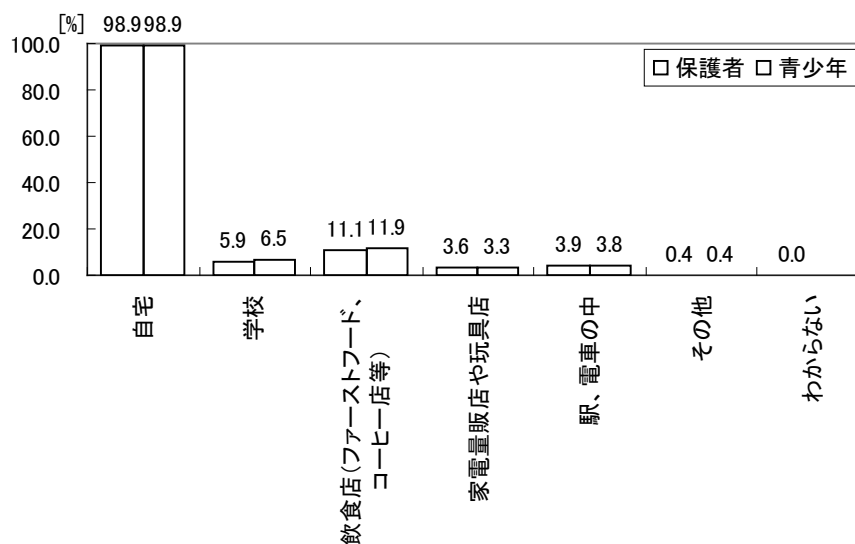
青少年の無線 LAN の利用場所に関して、保護者と青少年の回答に大きな差はなかった。

図表3-15 青少年の無線LANを介したインターネットの利用率に関する  
保護者と青少年による回答の比較



(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用している青少年

図表3-16 青少年の無線LANの利用場所に関する保護者(n=970)と  
青少年(n=995)による回答の比較



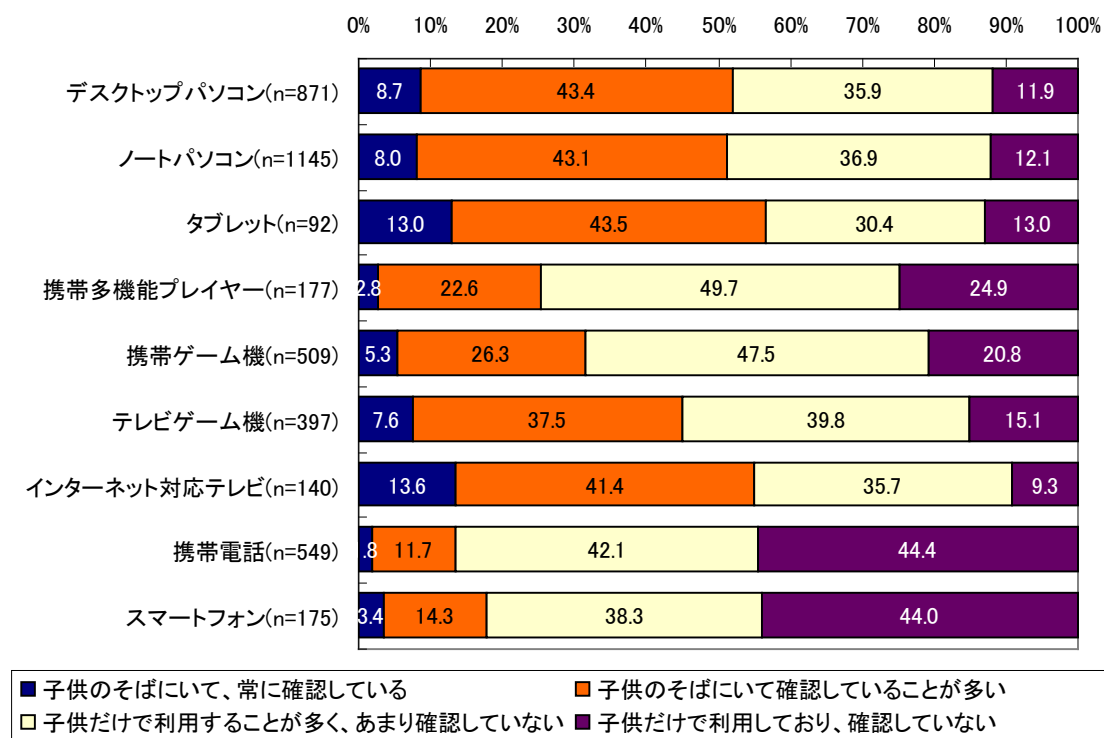
(注) 集計対象はいずれかの機器で青少年が無線LANを利用していると回答した保護者、いずれかの機器で無線LANを利用している青少年

### 3. 青少年のインターネット利用に関する確認状況

#### 3.1 青少年のインターネット利用に関する確認状況

デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット、インターネット対応テレビに関しては半数以上の保護者が子供のそばにいて確認していることが多いと回答している。一方、携帯電話、スマートフォンでは「子供だけで利用しており確認していない」が44%、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」も4割前後となっており、子供のそばで確認しているのは15%前後となっている。

図表3-17 保護者による青少年のインターネット利用に関する確認状況



(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

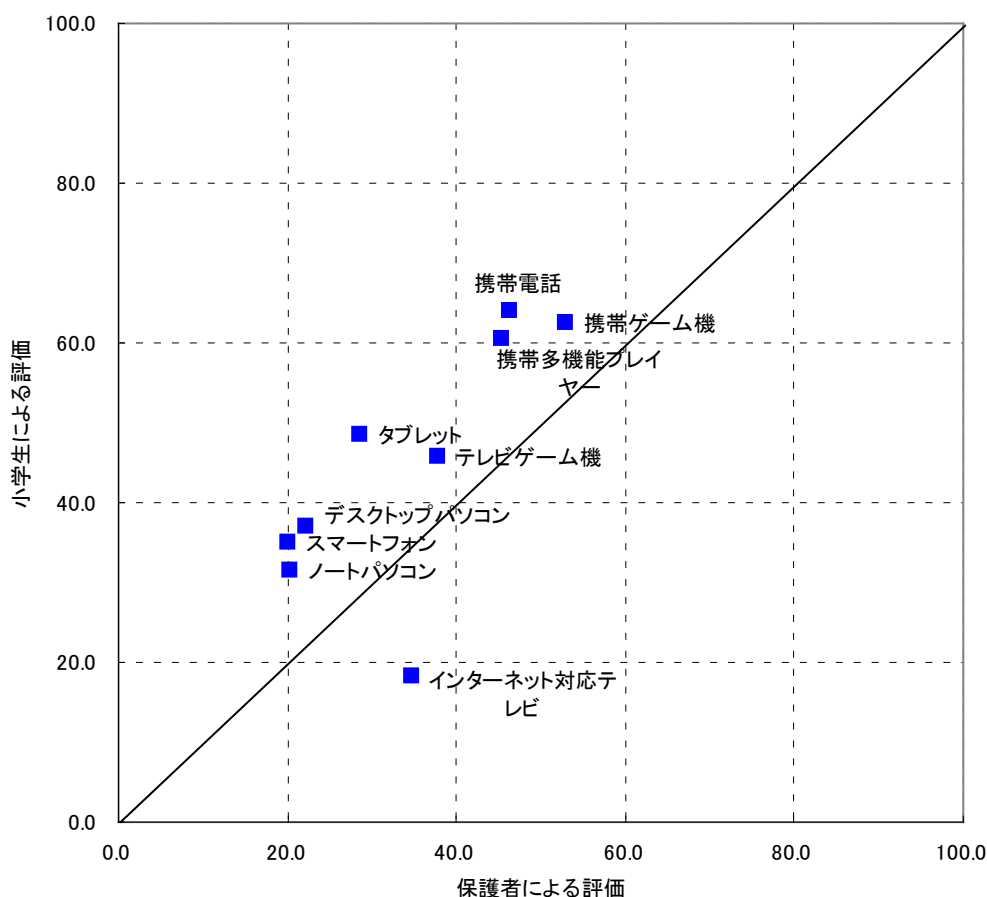
### (1)小学生のインターネット利用に関する確認状況

「小学生が子供だけで利用することが多い」との回答比率が高いのは、携帯ゲーム機、携帯電話、携帯多機能プレイヤーである。ノートパソコン、スマートフォン、デスクトップでは「子供だけで利用することが多い」という回答は 20%程度であり、他の機器よりも低くなっている。

小学生自身が「一人で利用することが多い」と回答した比率と比較すると、全般的に小学生自身による比率の方が 10 ポイント程度高くなっている。特にタブレット (19.9 ポイント高)、携帯電話 (17.7 ポイント高)、携帯多機能プレイヤー (15.2 ポイント高)、スマートフォン (15.0 ポイント高) と携帯型機器において、その差が大きくなる傾向がみられた。

インターネット対応テレビのみ、保護者による認識の方が小学生による回答よりも高くなっている。

図表3-18 小学生の単独でのインターネット利用に関する保護者と小学生の認識比較



(注) 保護者の数値は「子供だけで利用しており、確認していない」「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答の和。

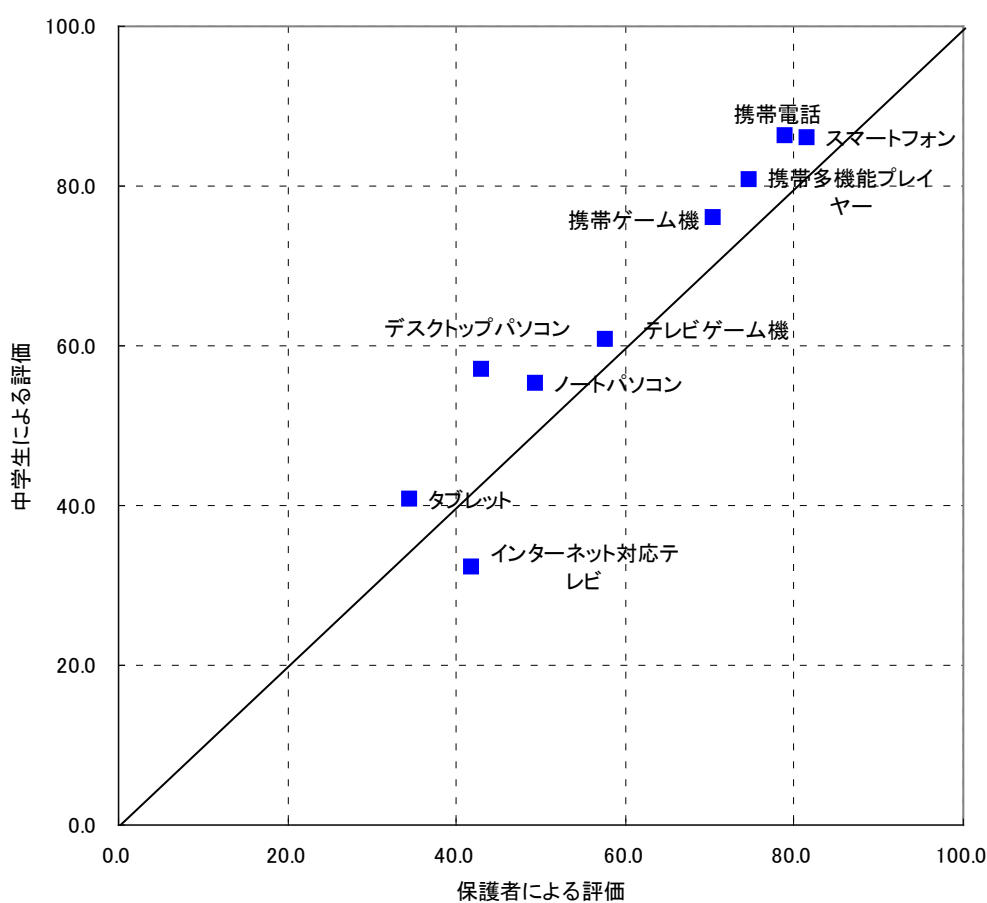
青少年の数値は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」の回答の和。

## (2)中学生のインターネット利用に関する確認状況

小学生と比較すると、保護者と中学生との回答状況の差は小さくなっている。しかしながら、一人で利用することが多いという回答に関して、デスクトップパソコンでは13.8ポイント、携帯電話で7.5ポイント、中学生による回答の方が高くなっている。

小学生と同様、インターネット対応テレビのみ、保護者による回答の方が高くなっている。

図表3-19 中学生の単独でのインターネット利用に関する保護者と中学生の認識比較



(注) 保護者の数値は「子供だけで利用しており、確認していない」「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答の和。

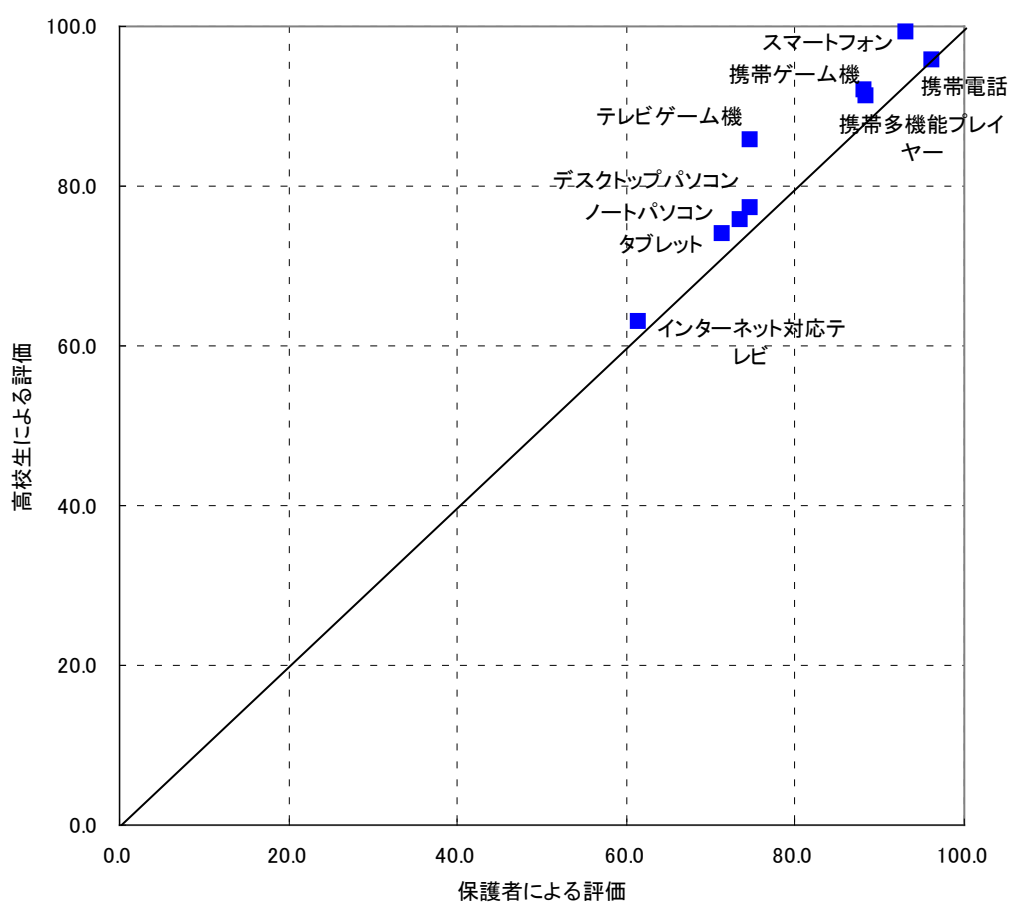
青少年の数値は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」の回答の和。

### (3) 高校生のインターネット利用に関する確認状況

小中学生と比較すると、高校生が一人で利用することが多いという回答は、すべての機器で6割以上となるなど高くなっている。保護者と高校生の回答の間の乖離は小中学生よりも少なくなっている。

高校生による回答が保護者による回答よりも特に高くなっているのは、テレビゲームであり、10.9ポイントの差がある。小学生において乖離が大きかった携帯型の機器における差は、高校生では少なくなっている。

図表3-20 高校生の単独でのインターネット利用に関する保護者と高校生の認識比較

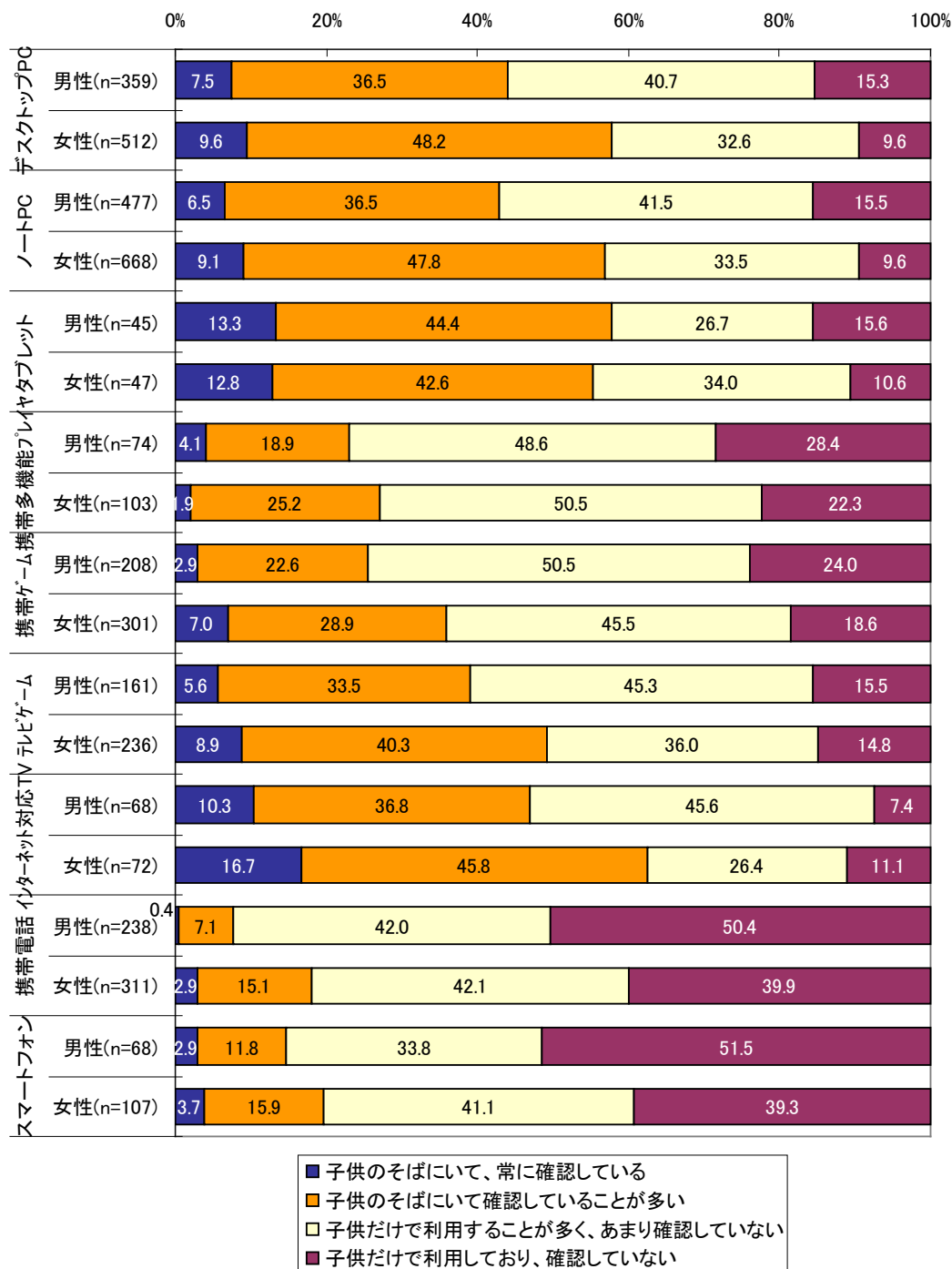


(注) 保護者の数値は「子供だけで利用しており、確認していない」「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答の和。  
 青少年の数値は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」の回答の和。

#### (4)保護者の性別による青少年のインターネット利用に関する確認状況

青少年のインターネット利用の状況に関する確認状況を、保護者の性別にみると、女性の保護者の方が、男性の保護者よりも青少年のそばにいて確認している比率が全般的に高くなっている。タブレットは、保護者の性別による確認状況の差が少ない。

図表3-21 高校生の単独でのインターネット利用に関する保護者と高校生の認識比較



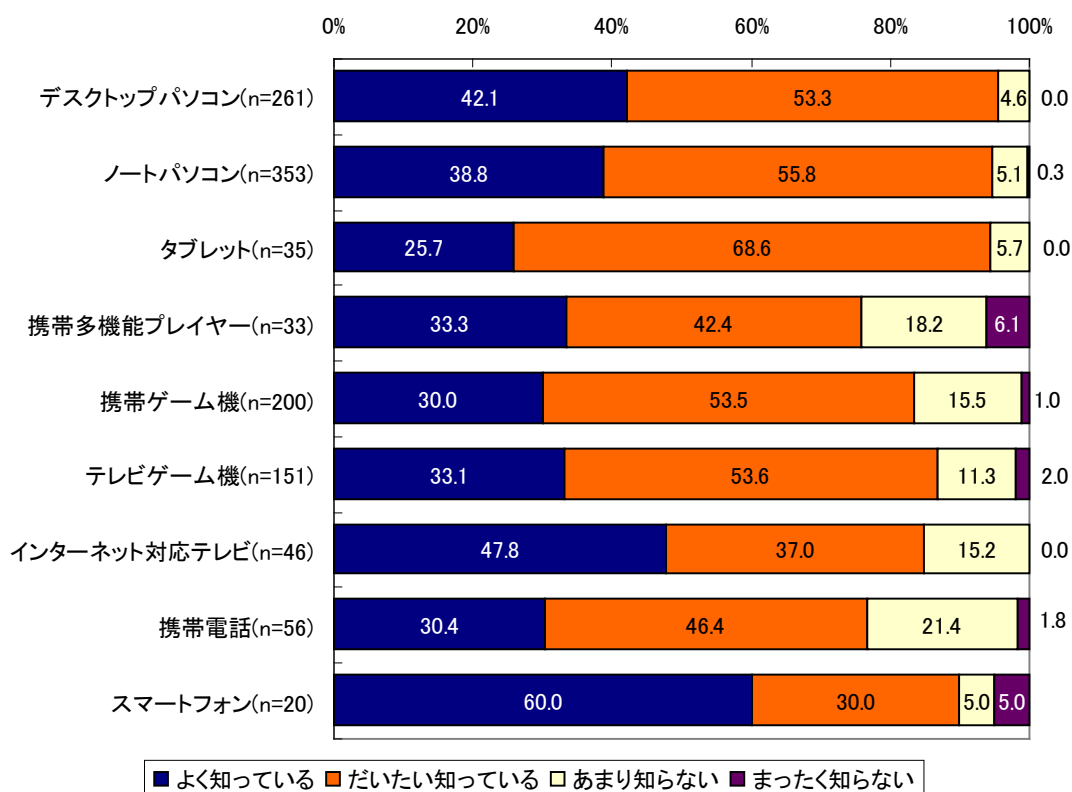
### 3.2 青少年のインターネット利用状況の把握状況

青少年がどのようなインターネットのサイトを使っているのか、どのくらいの時間インターネットを使っているのかなどについて、保護者がどの程度把握しているかどうか調査したところ、青少年が小学生であるか、中学生であるか、高校生であるのかによって違いがみられた。

#### (1)小学生のインターネット利用状況の把握状況

小学生のインターネット利用状況について「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、ほとんどの機器で8割を超えている。ただし携帯多機能プレイヤー(75.8%)、携帯電話(76.8%)では8割を切っている。

図表3-22 保護者による小学生のインターネット利用状況の把握状況



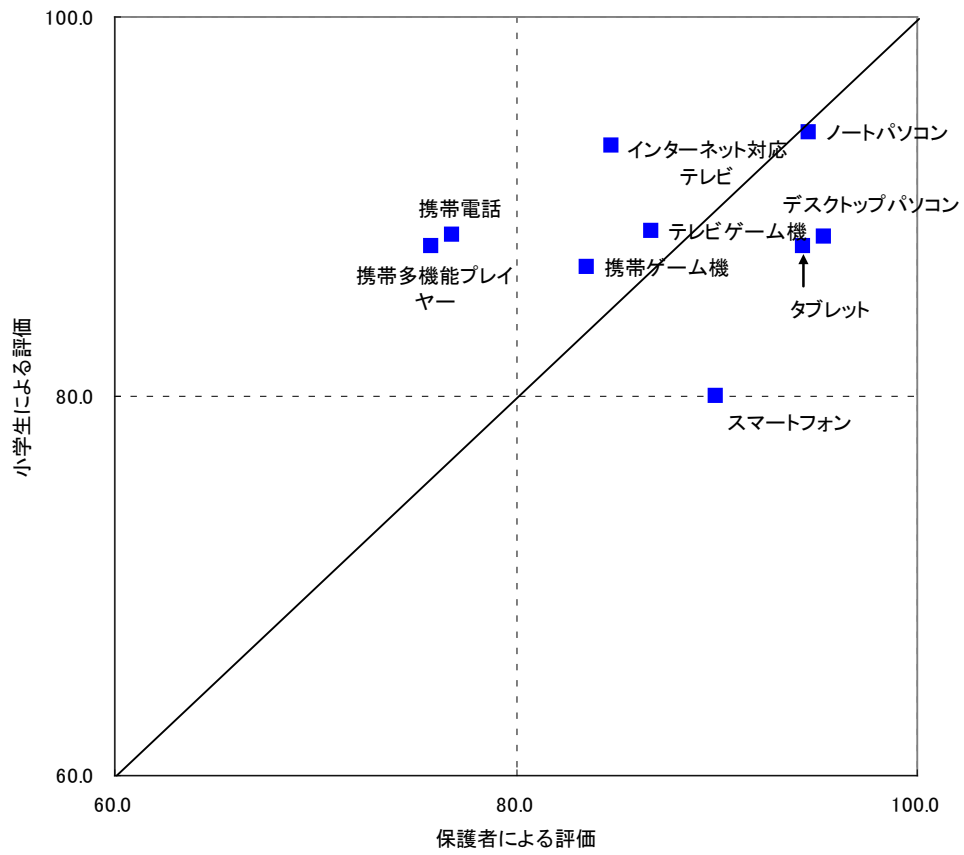
(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

保護者による回答と、小学生自身による回答とを比較すると、ほとんどの機器で、ほぼ等しい数値となっている。ただし、携帯多機能プレイヤー(12.1ポイント差)、携帯電話(11.7ポイント差)では、保護者による数値が小学生よりも比較的小さくなっており、



これらの機器では十分に把握しきれていないという自信のなさが見られる。

図表3-23 小学生のインターネット利用状況に関する保護者と小学生の認識比較

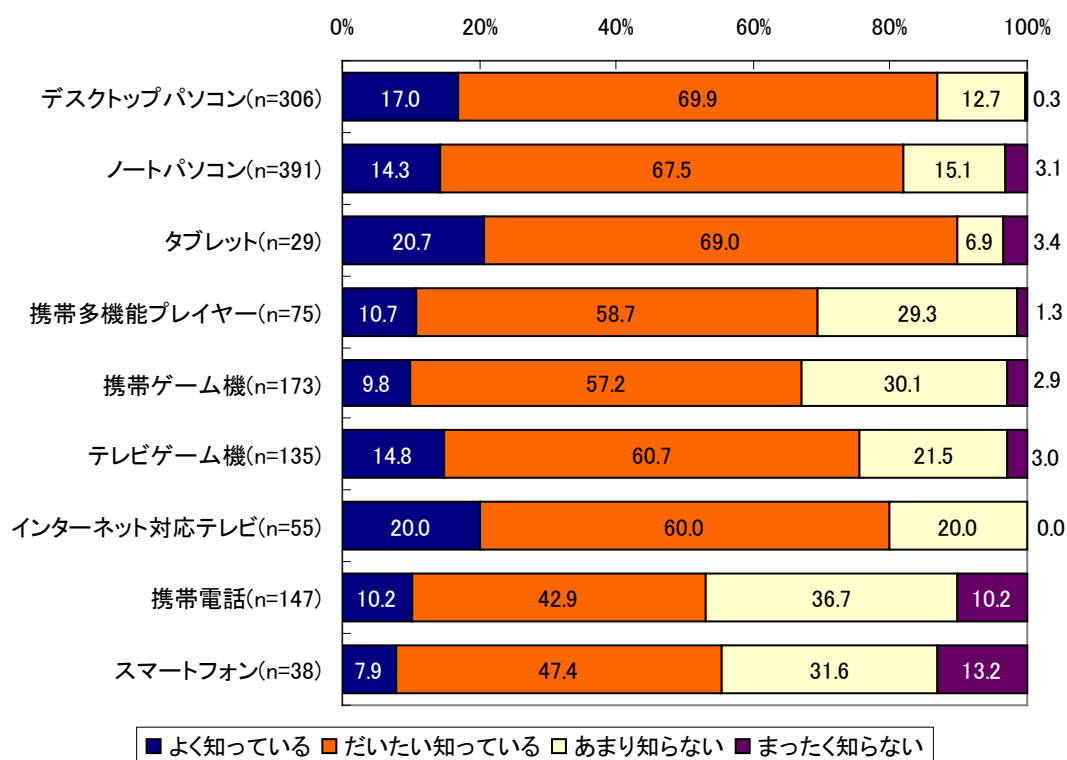


(注) 保護者、小学生ともに「よく知っている」「だいたい知っている」の回答の和。

## (2)中学生のインターネット利用状況の把握状況

中学生のインターネット利用状況について「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、小学生と比較すると少なくなっている。特に携帯型の機器での比率が低くなっており、携帯電話が 53.1%、スマートフォンが 55.3%、携帯ゲーム機が 67.1%、携帯多機能プレイヤーが 69.3%となっている。

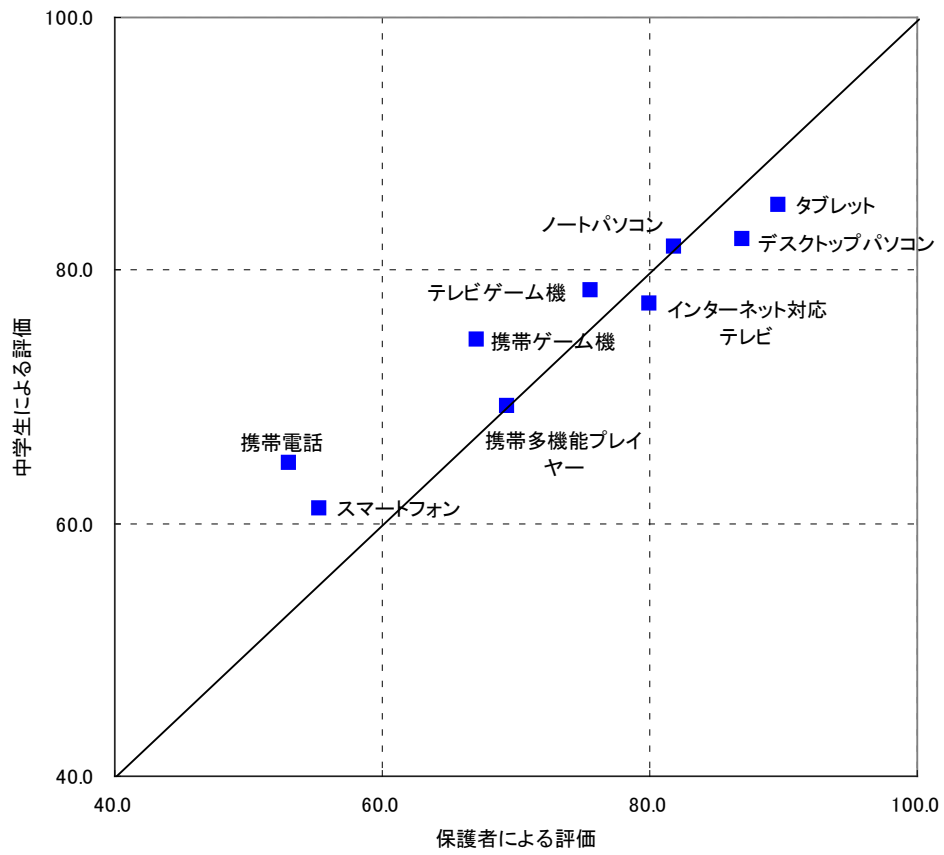
図表3-24 保護者による中学生のインターネット利用状況に関する把握状況



(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

保護者による回答と、中学生自身による回答とを比較すると、ほとんどの機器で、ほぼ等しい数値となっている。ただし、携帯電話（11.7ポイント差）では、保護者による回答と中学生による回答との差が比較的大きくなっている。

図表3-25 中学生のインターネット利用状況に関する保護者と中学生の認識比較

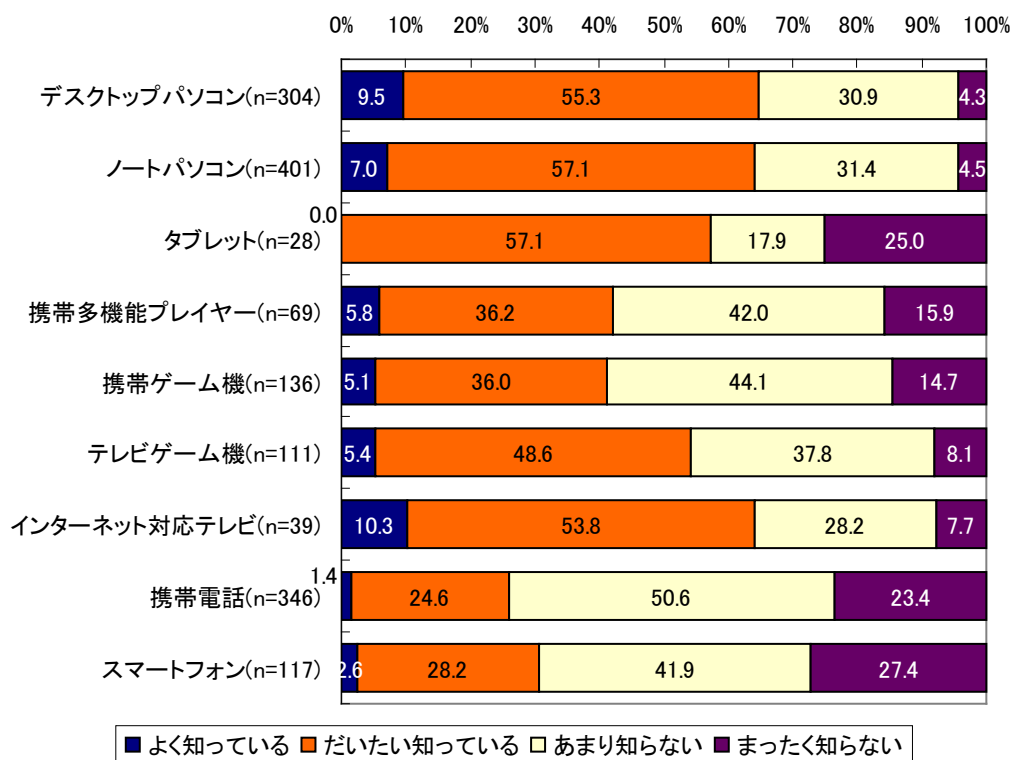


(注) 保護者、中学生ともに「よく知っている」「だいたい知っている」の回答の和。

### (3) 高校生のインターネット利用状況の把握状況

高校生のインターネット利用状況について「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、小中学生と比較すると少なくなっている。「まったく知らない」とする回答もスマートフォン、携帯電話、タブレットでは2割以上を占めている。

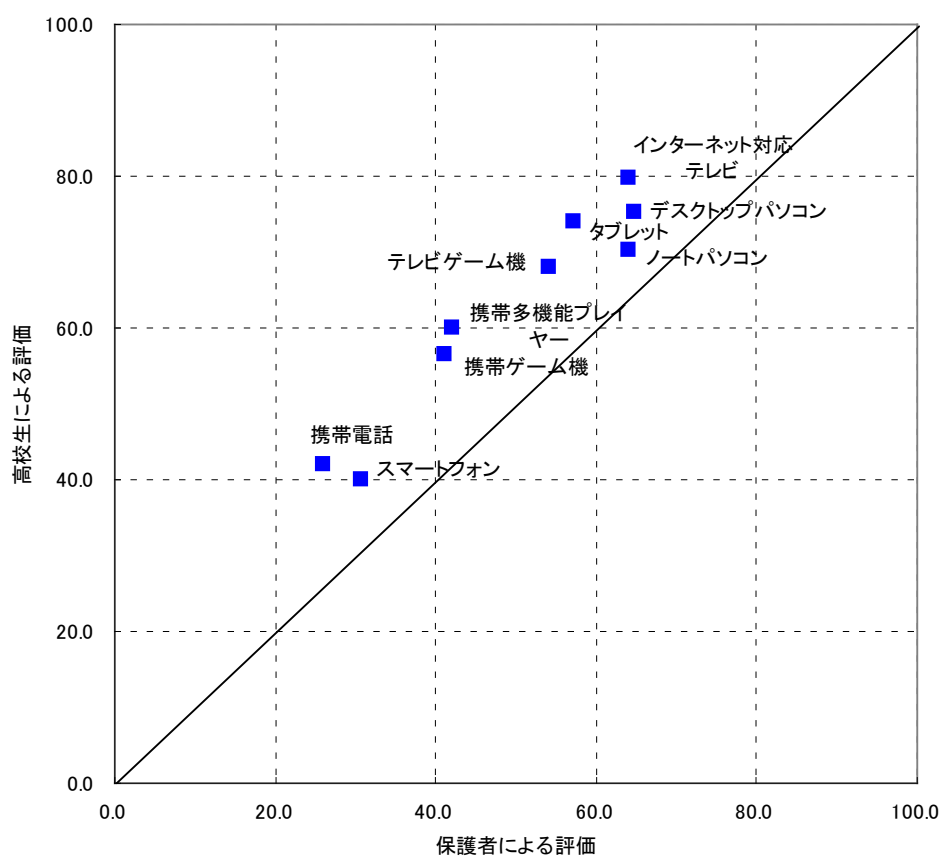
図表3-26 保護者による高校生のインターネット利用状況に関する把握状況



(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

保護者による回答と、高校生自身による回答とを比較すると、保護者と高校生による回答の差が大きくなっており、ノートパソコンとスマートフォンを除くすべての機器で10ポイント以上の差がある。高校生が感じているよりも、高校生の利用状況の把握に関して保護者は自信がない状況がうかがえる。

図表3-27 高校生のインターネット利用状況に関する保護者と高校生の認識比較

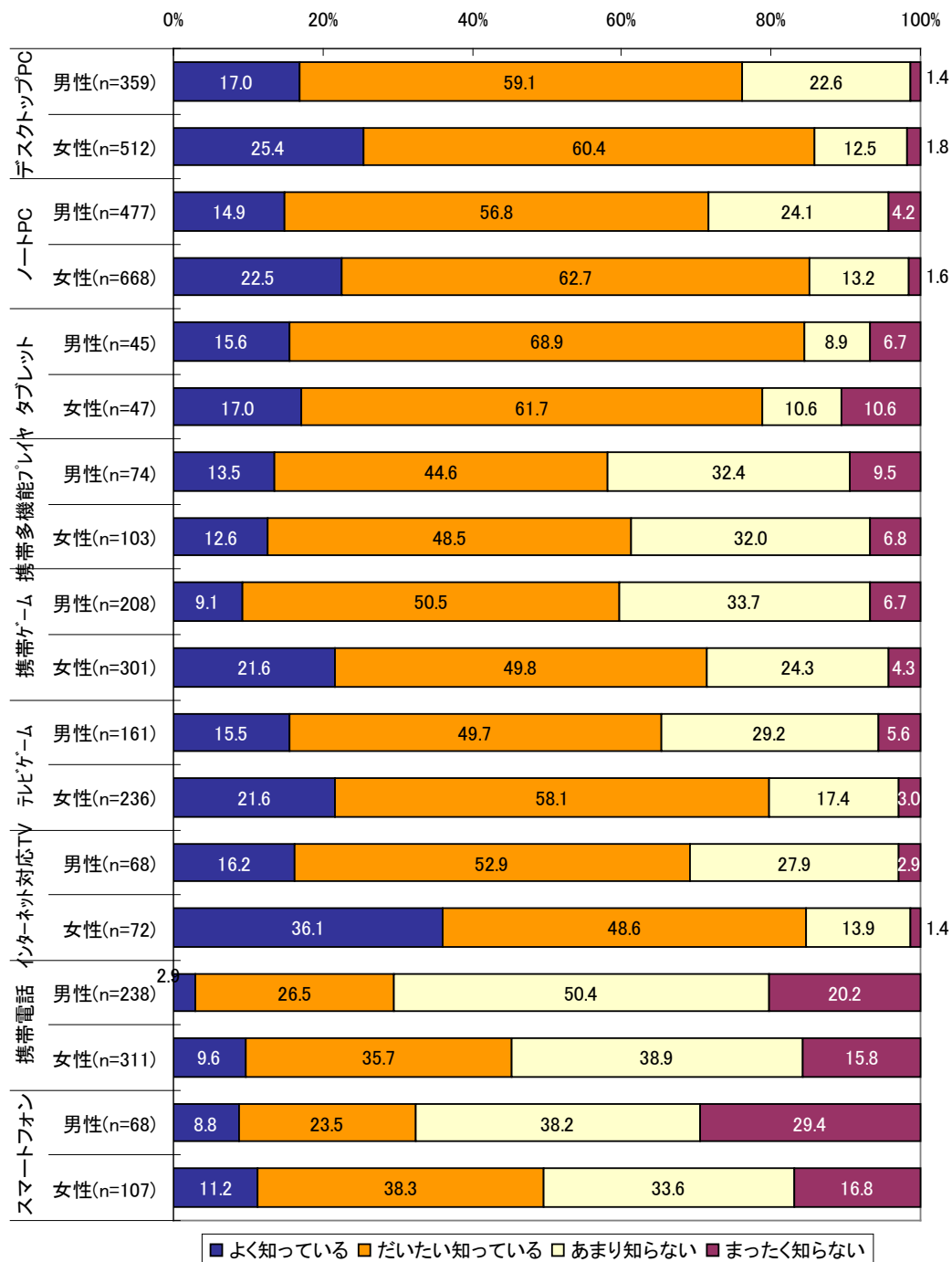


(注) 保護者、高校生ともに「よく知っている」「だいたい知っている」の回答の和。

#### (4)保護者の性別による青少年のインターネット利用状況の把握状況

青少年のインターネットの利用状況については、青少年がインターネットを利用する際にそばにいて確認していることの多い、女性の保護者の方が、男性の保護者よりも、全般的によく把握している。タブレット、携帯多機能プレイヤーは女性と男性による差が少ない。

図表3-28 保護者の性別による青少年のインターネット利用状況に関する把握状況



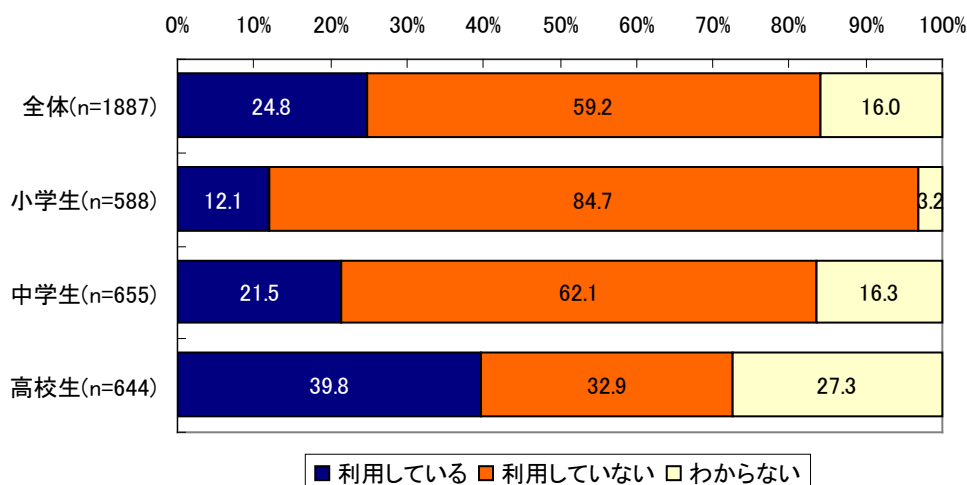
#### 4. 青少年のコミュニティサイトの利用状況

##### 4.1 コミュニティサイトの利用状況

青少年のコミュニティサイトの利用に関して、「利用している」と回答した保護者は24.8%である。青少年自身がコミュニティサイトについて「利用している」と回答した比率は33.1%であり、保護者が完全には把握していない状況がうかがえる。

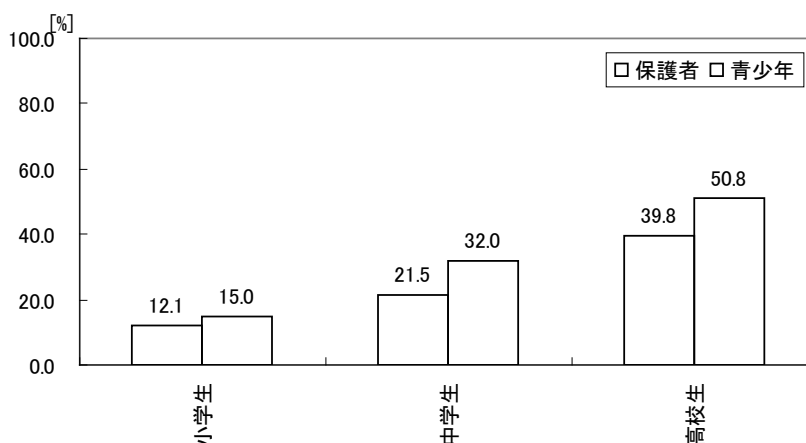
保護者と青少年による利用率の乖離は、小学生では3.0ポイントであるのに対し、中学生では10.5ポイント、高校生では11.1ポイントである。中学生ではコミュニティサイト利用者の3人に1人、高校生では5人に1人が、保護者の知らないところで、コミュニティサイトを利用していることとなる。

図表3-29 青少年のコミュニティサイトの利用に関する把握状況



(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

図表3-30 青少年のコミュニティサイト利用率に関する保護者と青少年による回答の比較

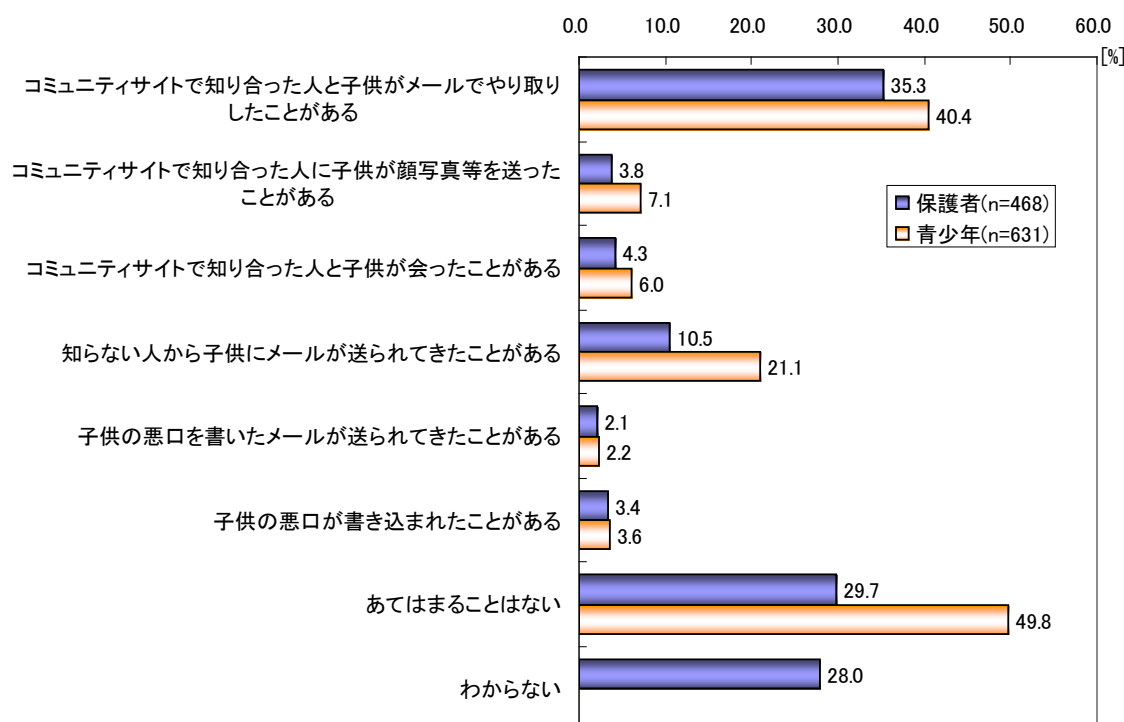


(注) 集計対象は青少年がインターネットを利用していると回答した青少年、保護者

## 4.2 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等

コミュニティサイトを通じたトラブル経験について、保護者と青少年との回答状況を比較すると、コミュニティサイトで知り合った人との、メールのやり取り、顔写真等の送付、実際に会うといったことに関して、一部把握しきれていない状況がわかる。また、知らない人からメールが送られてきたことについては、青少年の回答の約半分の数値となっている。悪口にメールや書込に関しては、ほぼ同じ数値となっている。

図表3-31 青少年のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と青少年の回答の比較



(注) 集計対象は青少年がコミュニティサイトを利用していると回答した保護者、コミュニティサイトを利用していると回答した青少年

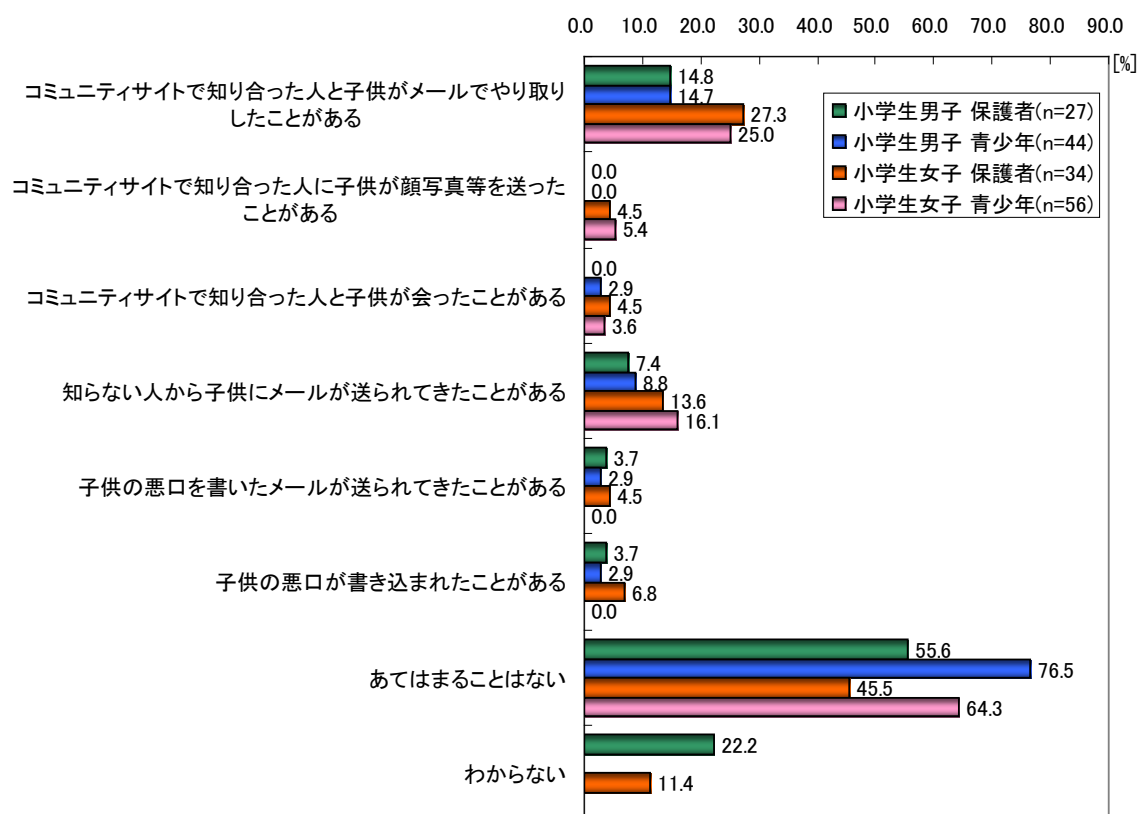


### (1)小学生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

小学生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関しては、保護者と青少年の回答が比較的一致している。コミュニティサイトで知り合った人とのメールのやり取り、顔写真等の送付、実際に会うといったことに関しても、保護者による回答の方が高くなる傾向がみられている。

また、女子の保護者では「わからない」と回答する比率が11.4%と男子の保護者の22.2%と比べて約半分のレベルとなっており、よく把握をしている状況がうかがえる。

図表3-32 小学生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と小学生の回答の比較



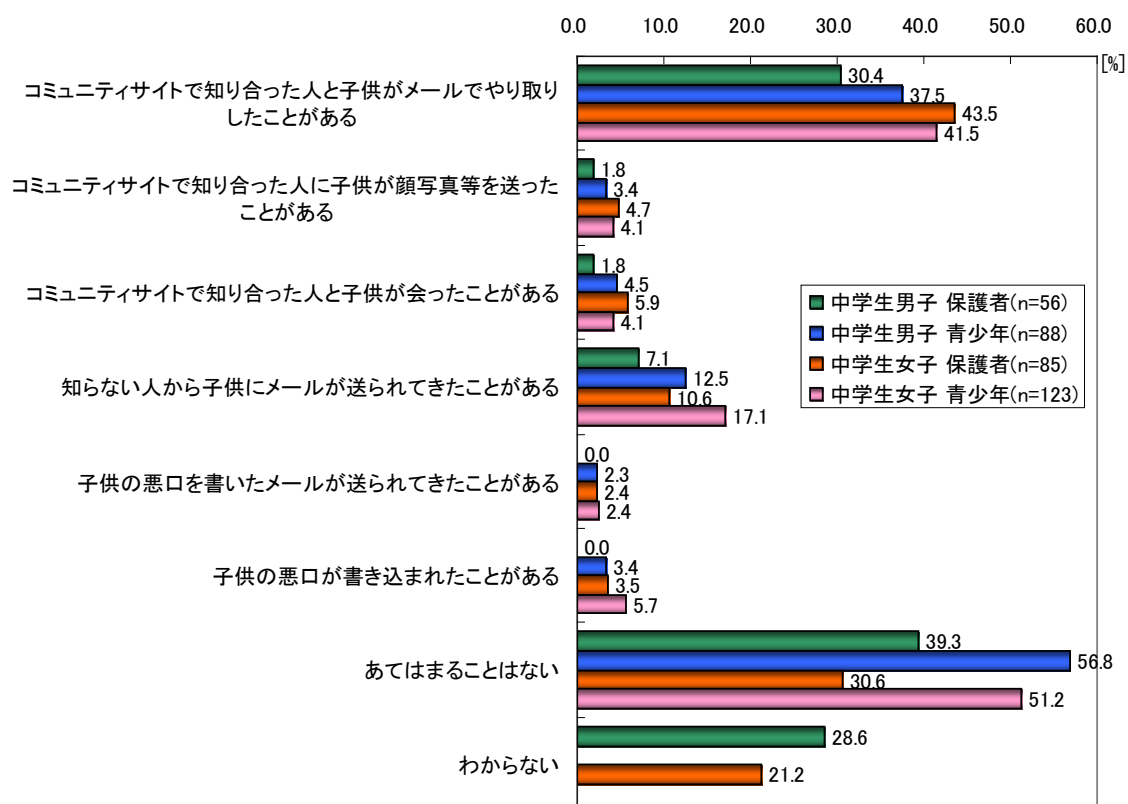
## (2)中学生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

中学生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関して、コミュニティサイトで知り合った人とのメールのやり取り、顔写真等の送付、実際に会うということに関して、女子の保護者では十分に把握されている状況がうかがえる。一方、男子の保護者に関しては、青少年の回答の方が保護者よりも高くなっており、一部、把握しきれていない状況がうかがえる。

また、知らない人からのメールが送られてくることに関しては、男子、女子ともに青少年の回答の方が保護者の回答よりも多くなっている。

またトラブル経験等の有無に関して「わからない」とする回答が、小学生よりも増えている。

図表3-33 中学生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と中学生の回答の比較

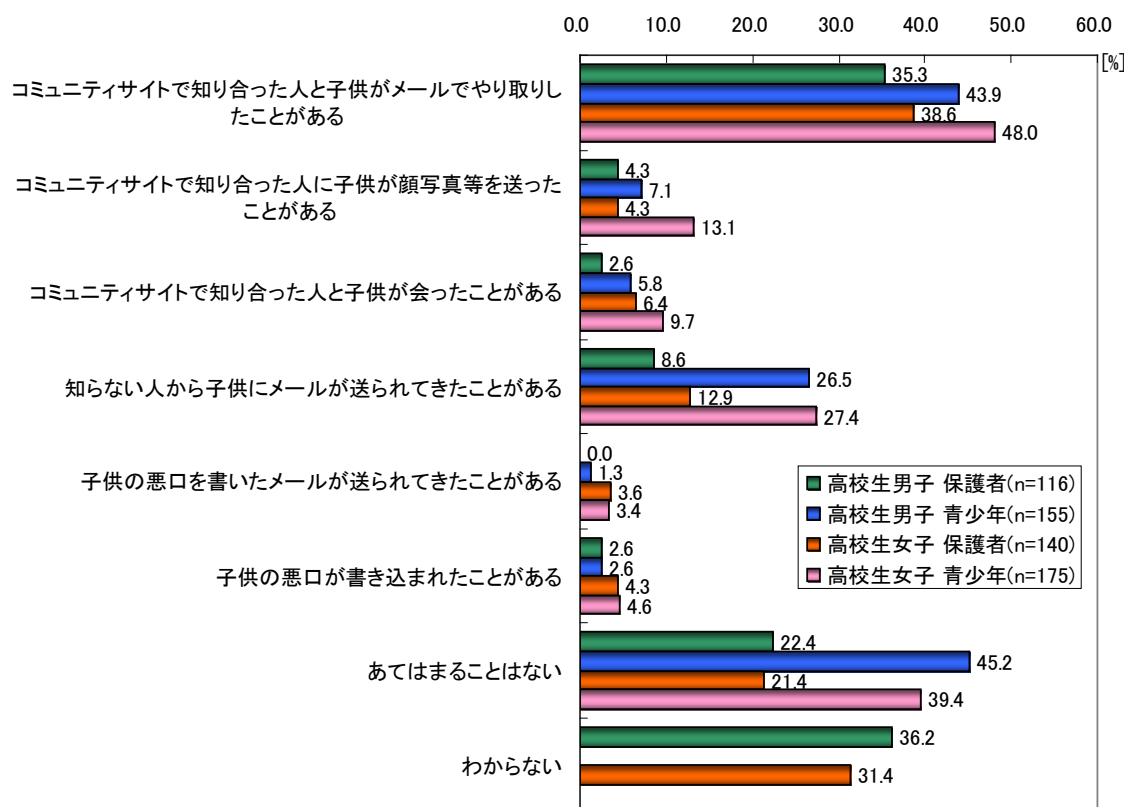


### (3) 高校生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

高校生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関して、3割以上の保護者が「わからない」と回答していることからわかるように、小中学生と比較して高校生の状況に関する保護者の把握は十分ではない。

悪口のメール、書込に関しては、保護者と青少年との間に大きな差はないが、コミュニティサイトで知り合った人とのメール、顔写真等の送付、実際に会うといったことに関しては、男女ともに保護者がすべてを把握しきれていない状況がわかる。

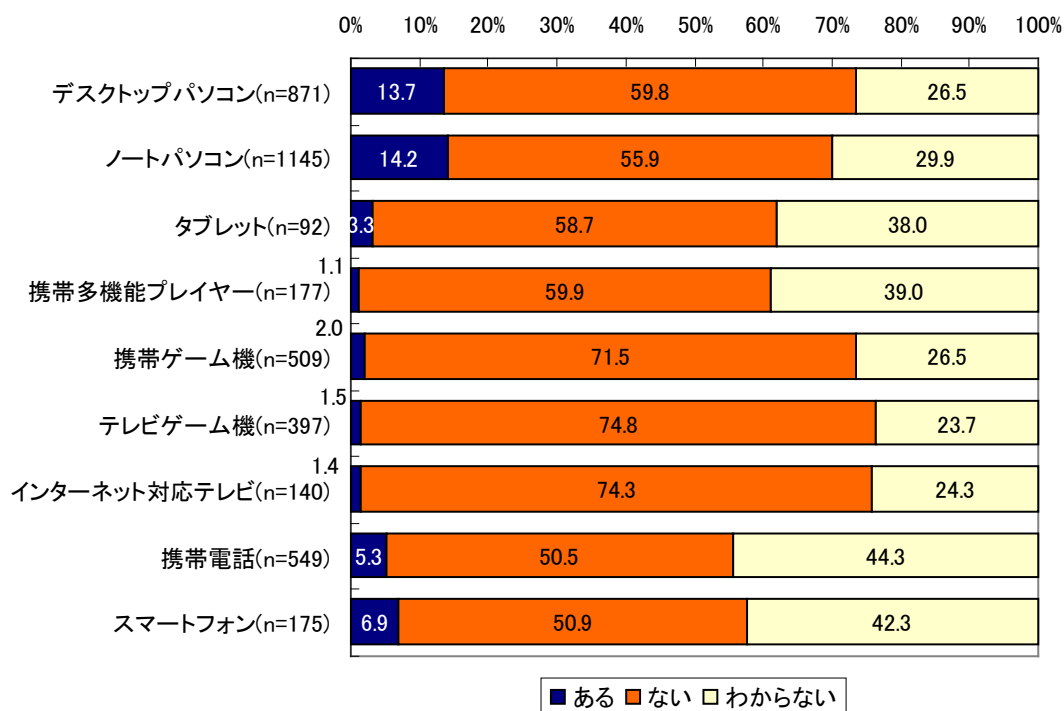
図表3-34 高校生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と高校生の回答の比較



## 5. 青少年の違法・有害情報への遭遇状況

青少年がインターネットを利用している時に、わいせつな画像や気持ちの悪い画像、自殺や家出、麻薬等の情報等を、思いがけず見てしまうといったトラブルを経験した状況について、保護者に調査したところ、「わからない」という回答が2~4割に達している。特に、携帯電話、スマートフォン、携帯多機能プレイヤー、タブレットで、「わからない」の回答が多くなっている。

図表3-35 青少年の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者の回答

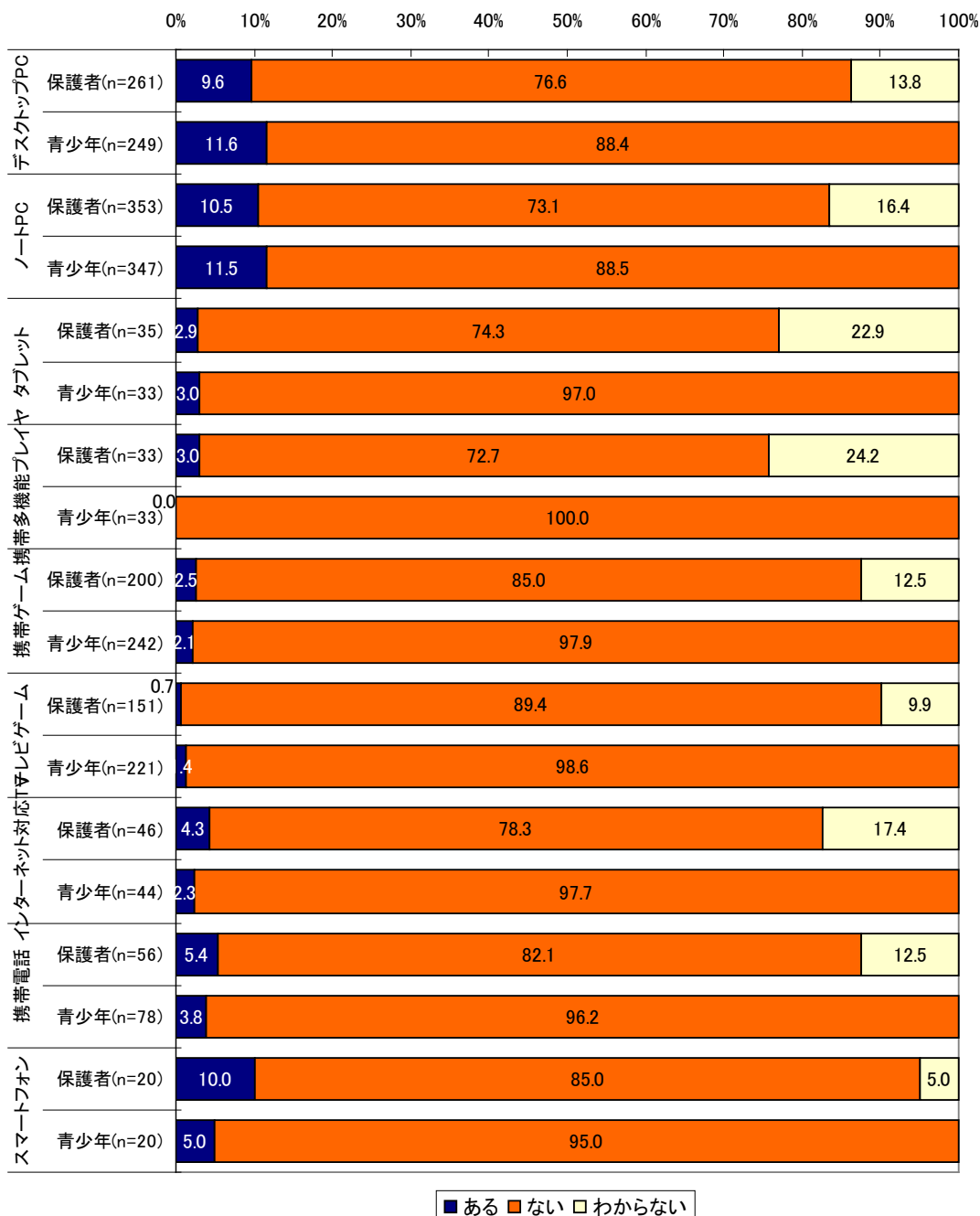


(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

### (1)小学生の違法・有害情報への遭遇状況

小学生の違法・有害情報に対する遭遇状況に関する回答は、概ね保護者と小学生で同じレベルになっている。

図表3-36 小学生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と小学生の回答の比較

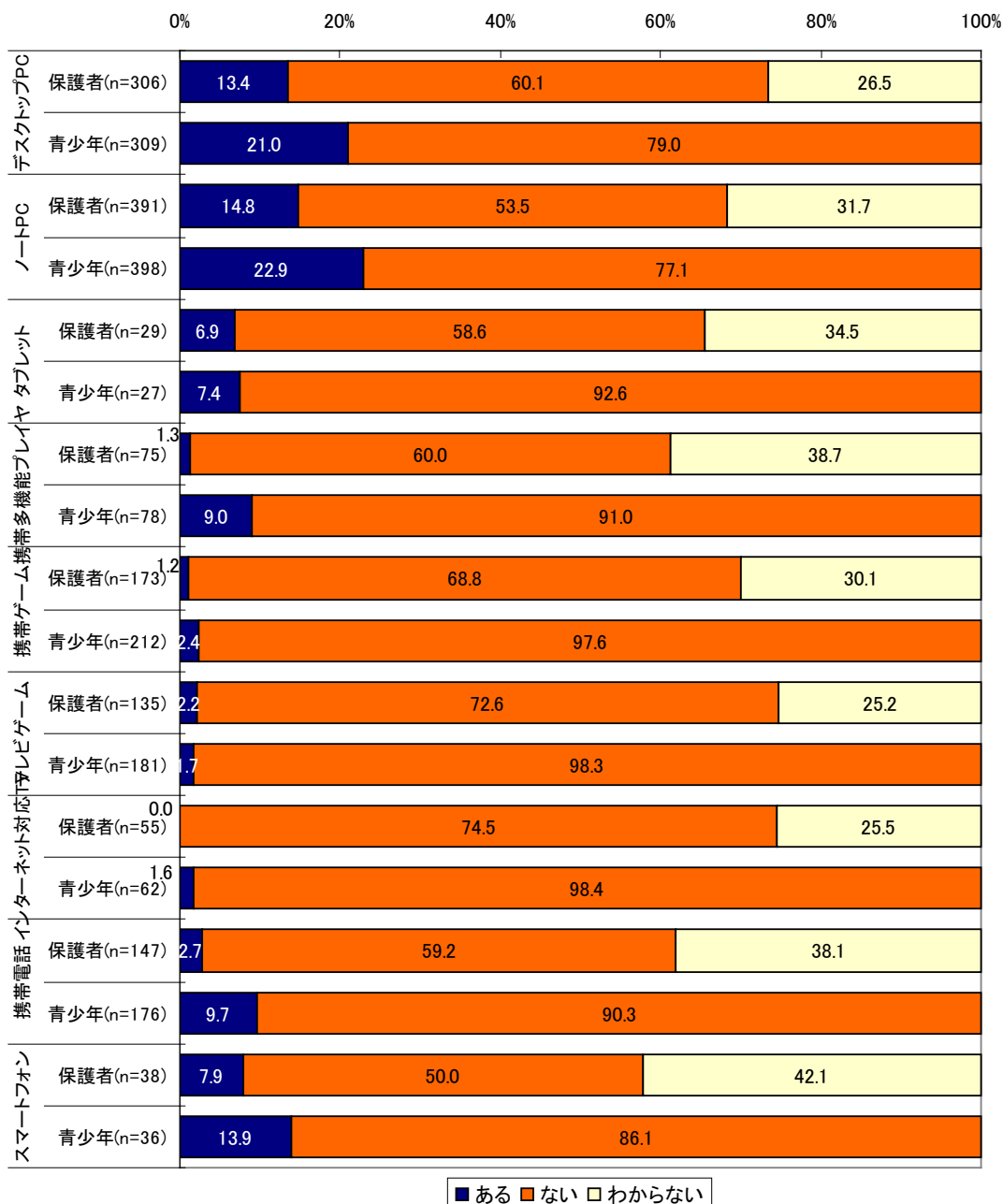


(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

## (2)中学生の違法・有害情報への遭遇状況

中学生の違法・有害情報に対する遭遇状況に関する回答では、ノートパソコン、デスクトップパソコン、携帯多機能プレイヤー、携帯電話で差が大きくなっている。

図表3-37 中学生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と中学生の回答の比較



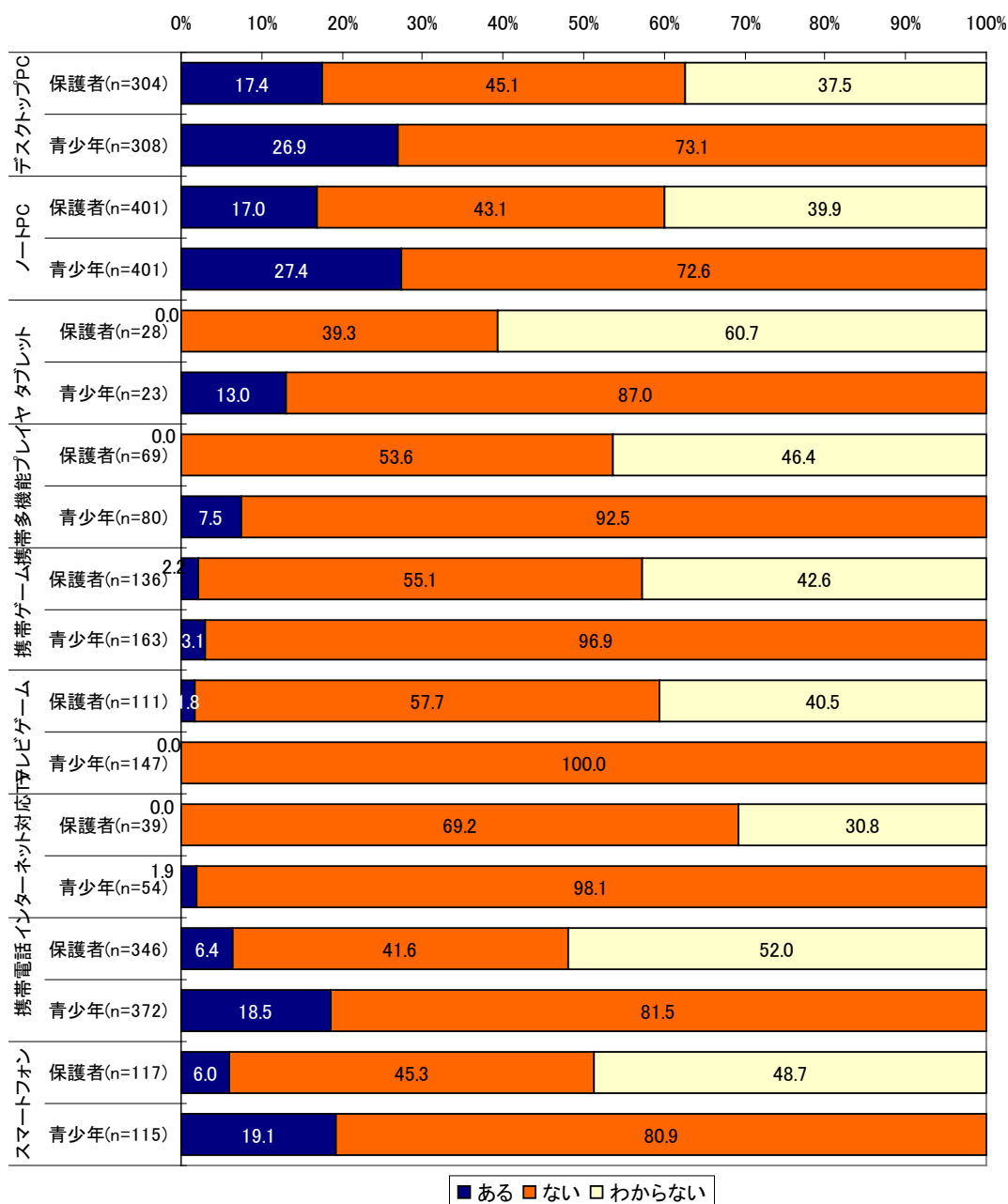
(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

### (3) 高校生の違法・有害情報への遭遇状況

高校生では「わからない」とする比率が高くなっている。携帯電話、スマートフォンでは、約半数の保護者が「わからない」と回答している。

保護者と高校生の回答状況をみると、スマートフォン、タブレット、携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコンで差が大きくなっている。

図表3-38 高校生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と高校生の回答の比較



(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

## 6. インターネットを利用する際のルール

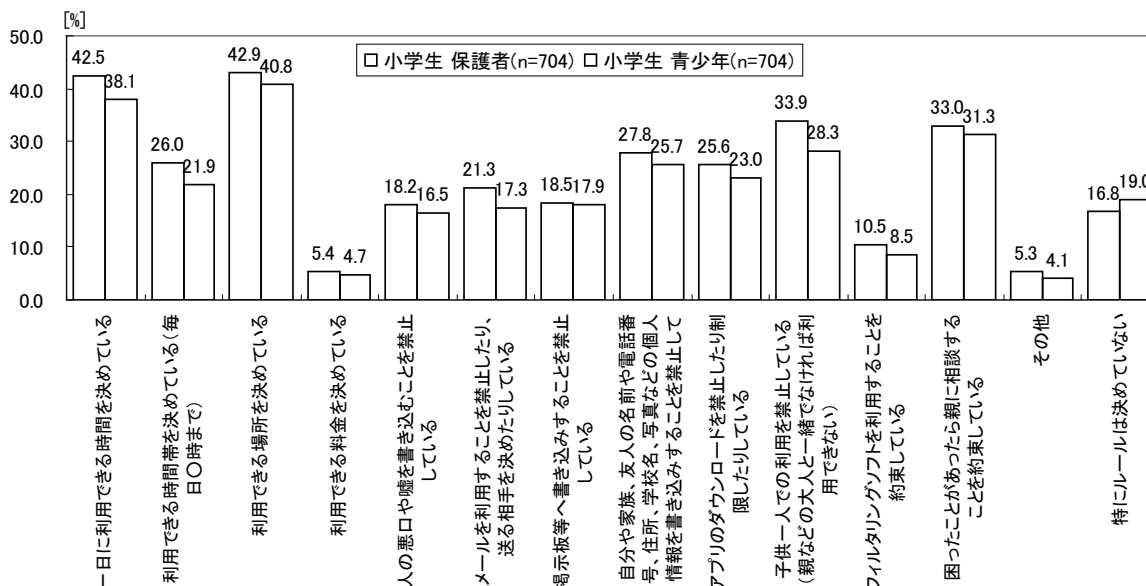
インターネットを利用する際の家庭内のルールに設定状況について調査した。

### (1)小学生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

小学生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、全般的な傾向は似ているが、保護者の数値の方が青少年の数値よりも多くなっており、保護者がルールとして設定していると考えていても、青少年がそれを認識していない場合が若干あることを示唆している。

特に差が大きいのは、「子供一人での利用の禁止」であり、保護者と青少年との間には5.7ポイントの差があった。

図表3-39 小学生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況

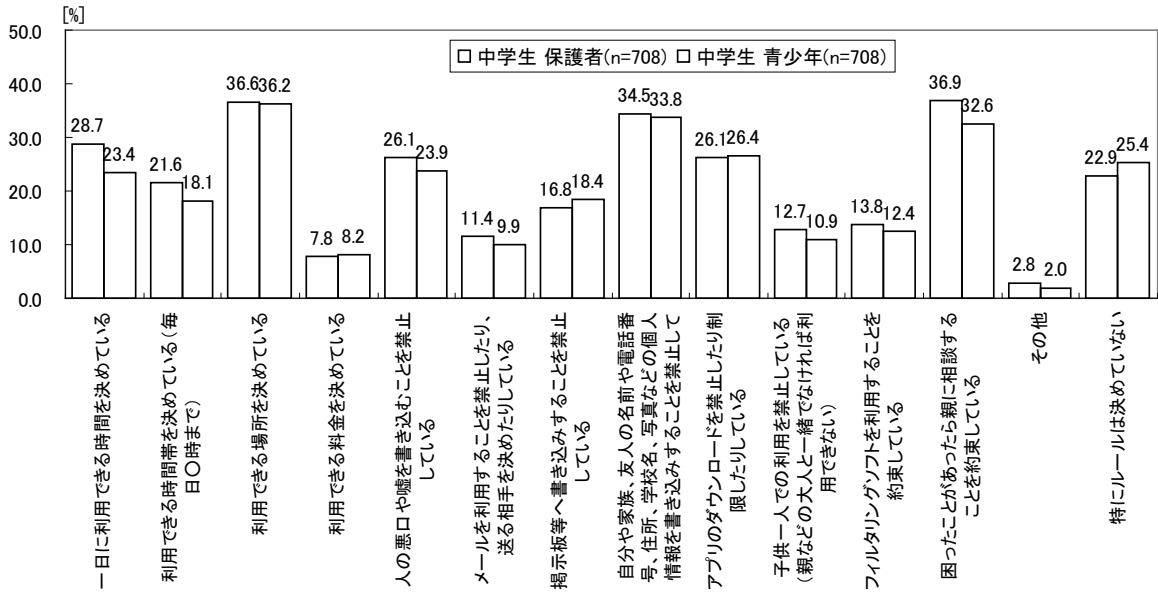


### (2)中学生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

中学生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年とで、全般的な傾向は似ているが、「一日に利用できる時間」「困ったことがあった際の親への相談」で差が比較的大きくなっている。



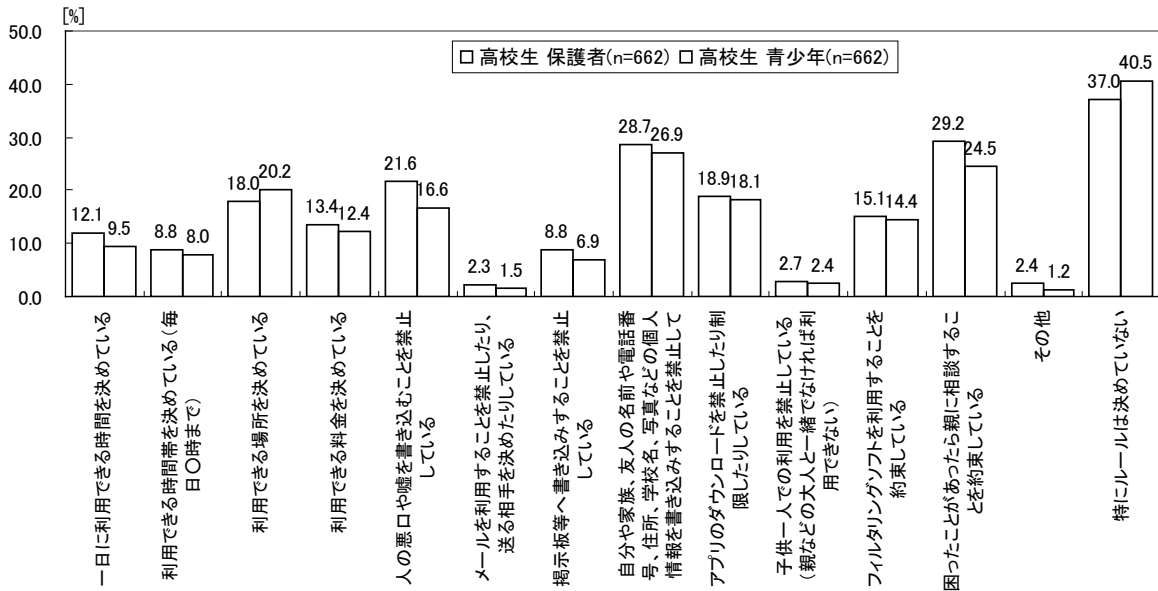
図表3-40 中学生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況



(3)高校生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

高校生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年とで、全般的な傾向は似ているが、「人の悪口や嘘の書込禁止」「困ったことがあった際の親への相談」で差が比較的大きくなっている。

図表3-41 高校生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況

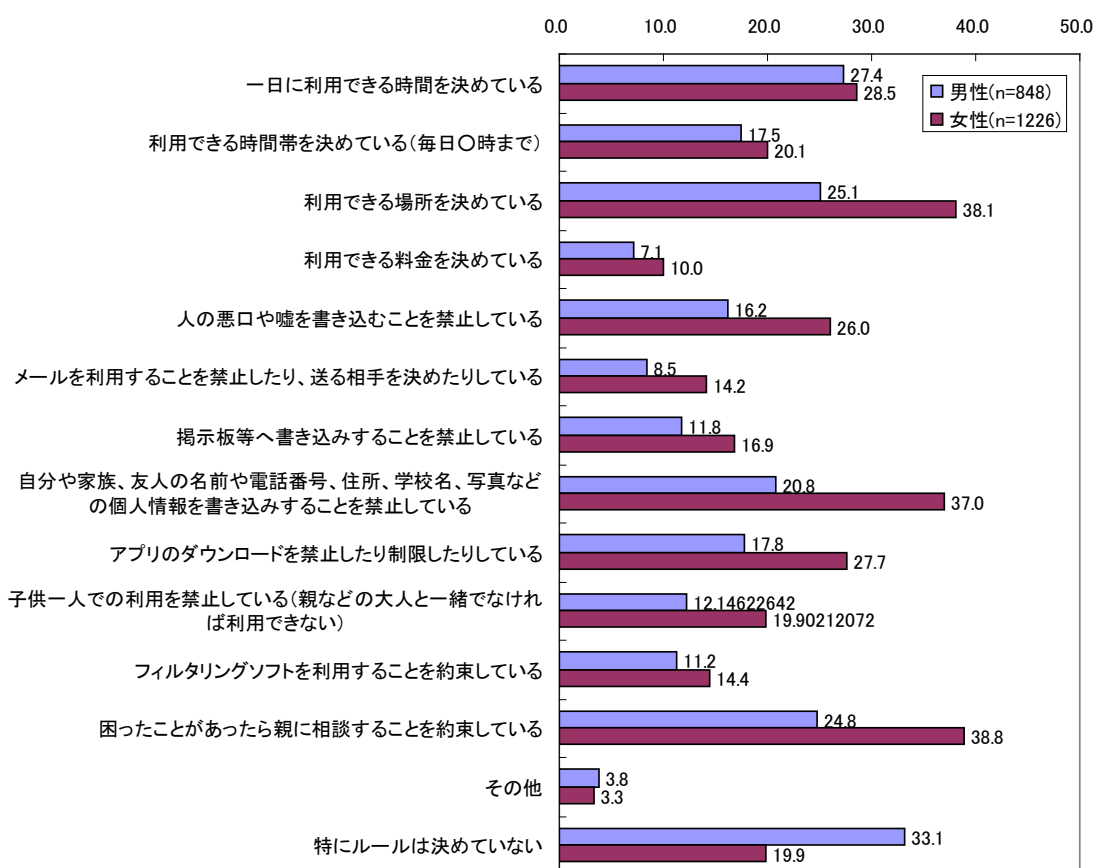


#### (4) 保護者の性別によるインターネット利用に関する家庭内のルールの設定状況

インターネット利用に関する家庭内でのルールの設定状況について、保護者の性別による違いをみると、女性の保護者の方が全ての項目について設定していると回答する比率が高くなっている。一方、男性の保護者は、特にルールは決めていないとする回答が女性の1.7倍となっている。

家庭内のルールは、女性の保護者が主体となって設定しており、男性の保護者はルールの設定状況について十分に把握できていないことがうかがえる。

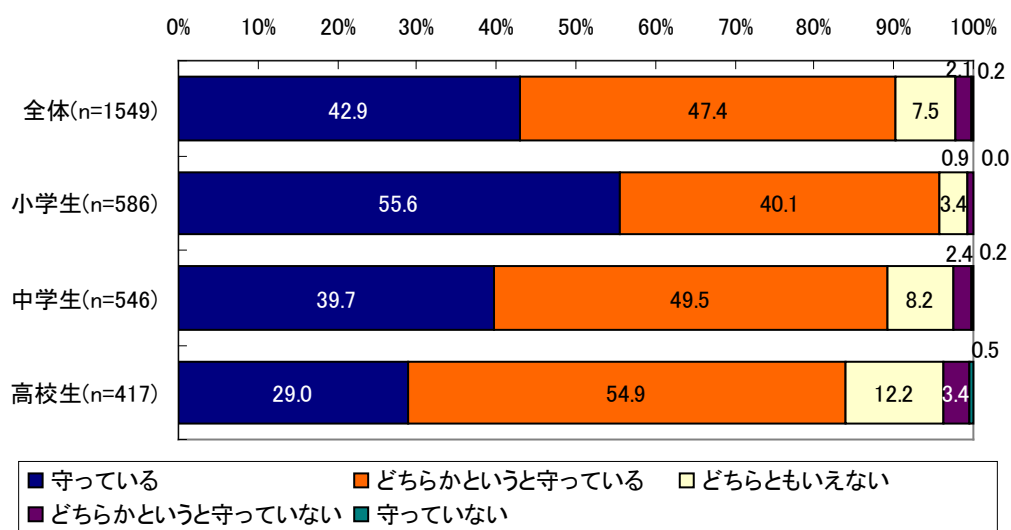
図表3-42 保護者の性別によるインターネット利用に関する家庭内ルールの設定状況



#### (5) インターネット利用に関する家庭内のルールの遵守状況

インターネット利用に関する家庭でのルールの遵守状況について保護者に聞いたところ、小学生ほど高い評価となっているが、「守っている」「どちらかというど守っている」を合わせた数値は、小学生で95.7%、中学生で89.2%、高校生が83.9%と、いずれも高くなっている。

図表3-43 インターネット利用に関する家庭内のルールの遵守状況



(注) 集計対象は家庭内のルールを設定している保護者

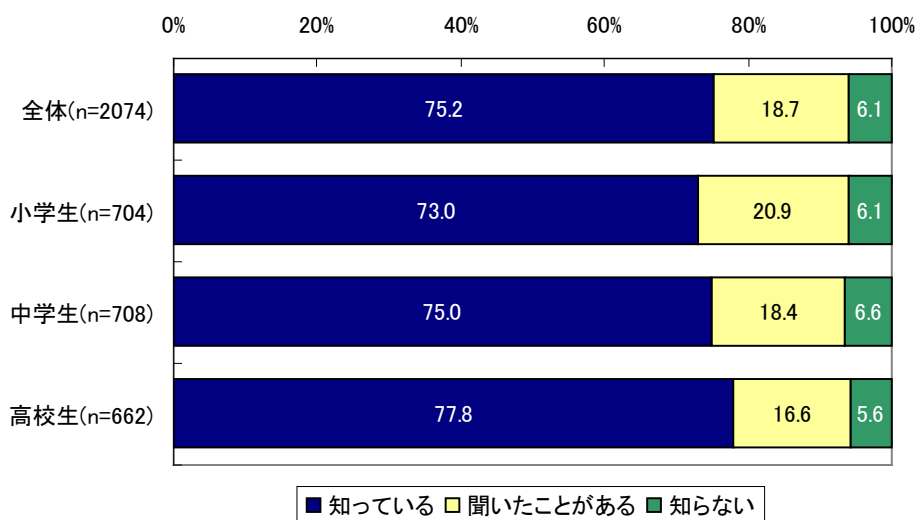
## 7. フィルタリングソフト

### 7.1 フィルタリングソフトの認知状況

保護者のフィルタリングソフトの認知状況は 75.2%である。フィルタリングソフトを知らないという保護者は 6.1%に留まる。

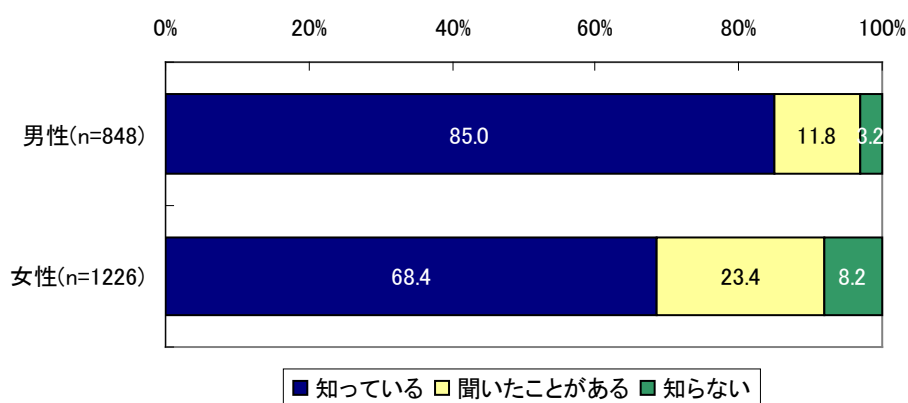
青少年の学校種別にみると、高校生の保護者ほど、認知度は高く 77.8%となっている。

図表3-44 保護者によるフィルタリングソフトの認知状況



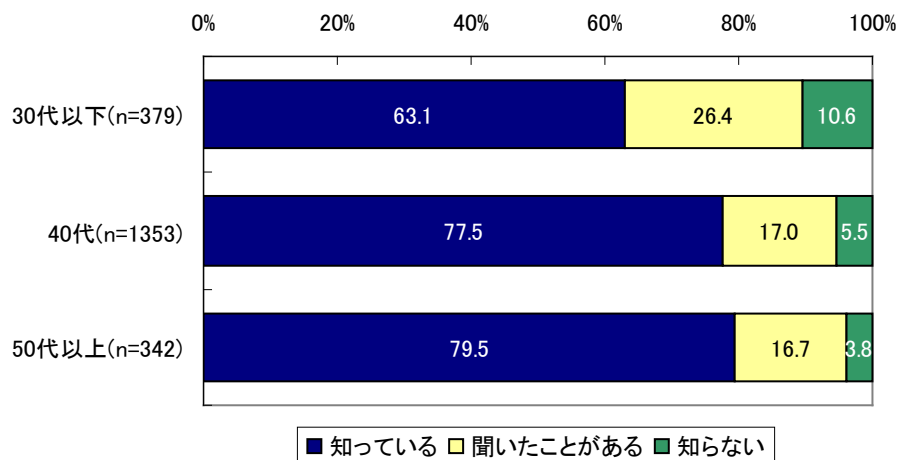
保護者の性別でみると、男性の保護者の認知度が 85.0%であるのに対し、女性の保護者の認知度は 68.4%に留まっている。

図表3-45 保護者の性別によるフィルタリングソフトの認知状況



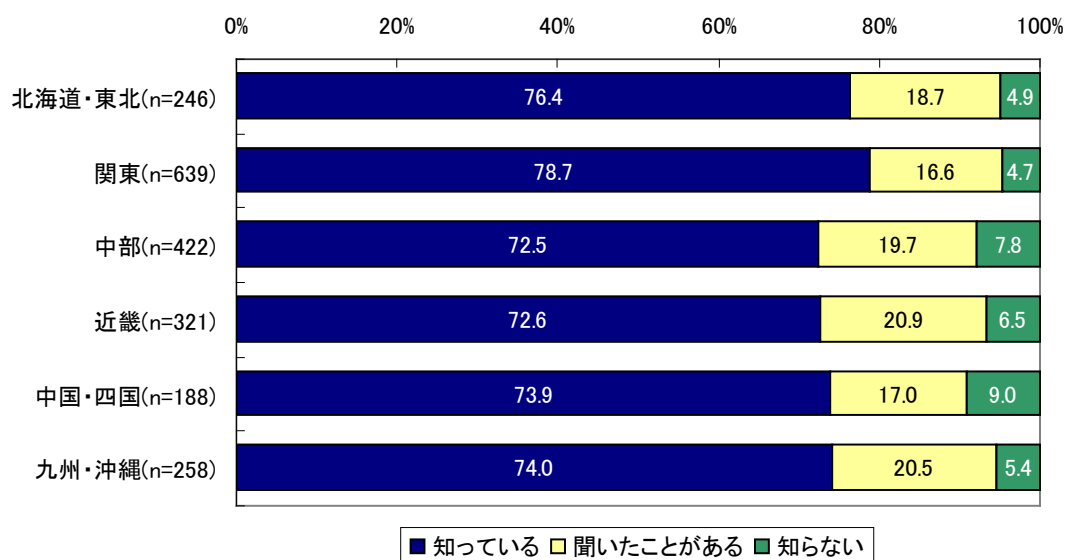
保護者の年代別にみると、年代が高くなるほど認知度は高い。30代以下の保護者の認知度が 63.1%に留まっているのに対し、40代では 77.5%、50代では 79.5%となっている。

図表3-46 保護者の年代別によるフィルタリングソフトの認知状況



保護者の居住地域別にみると、関東での認知度が他の地域よりも若干、高めとなっている。

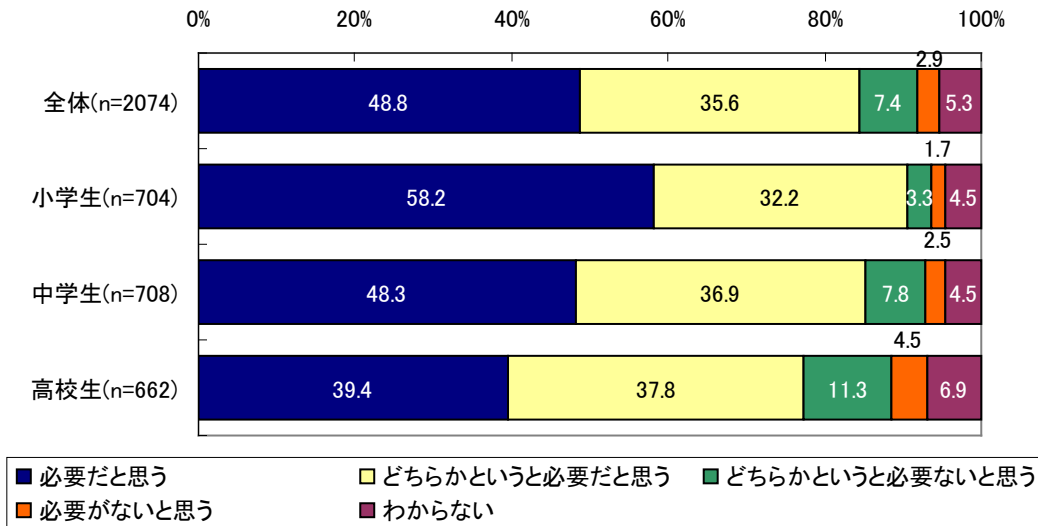
図表3-47 保護者の居住地域別によるフィルタリングソフトの認知状況



## 7.2 フィルタリングソフトの必要性に関する認識

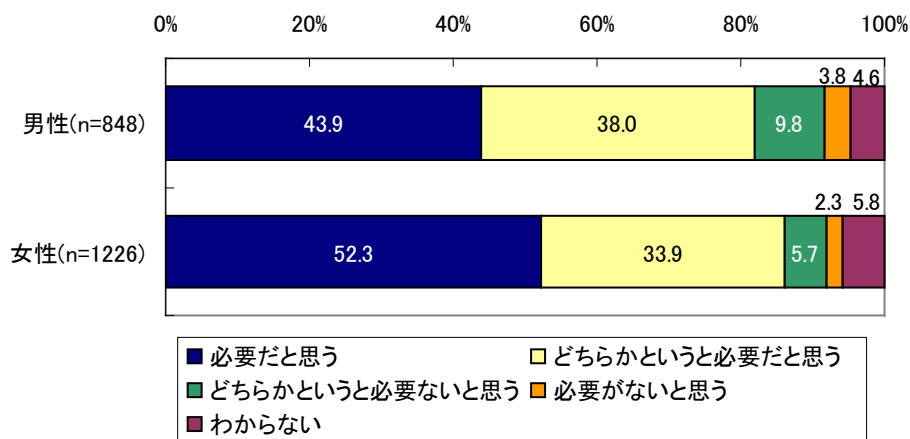
保護者の48.8%が、フィルタリングソフトが「必要」と回答し、「どちらかという必要」を加えると84.4%が必要と考えている。小学生の保護者ほど、フィルタリングソフトを必要であると回答する傾向が高い。

図表3-48 保護者によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



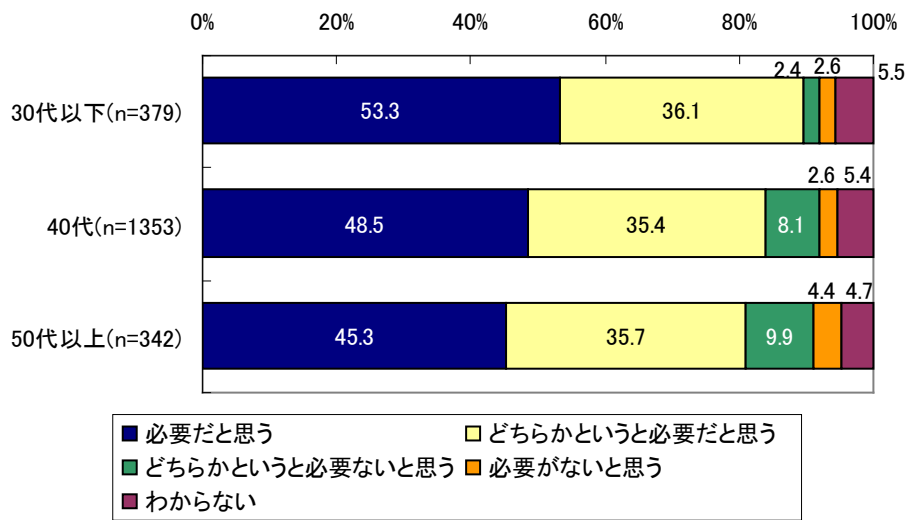
フィルタリングソフトの認知度は、女性の保護者の方が低くなっていたのに対し、フィルタリングソフトの必要性は、女性の保護者の方が男性の保護者よりも高くなっている。

図表3-49 保護者の性別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



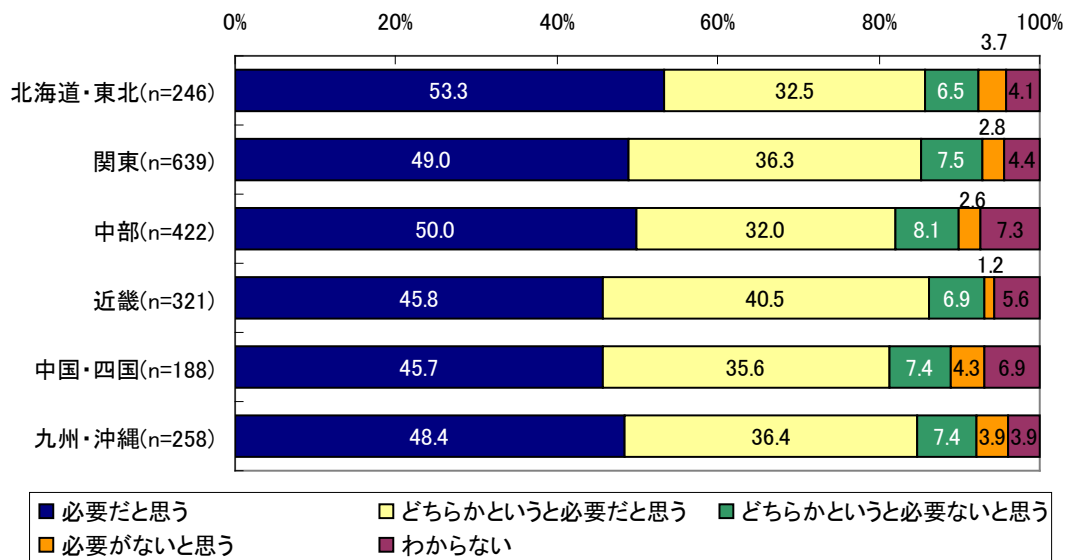
保護者の年代別にみると、年代が低いほど必要とする者が多い。年代の低い保護者の方が子供の年齢も低いことが多いことが影響しているものと考えられる。

図表3-50 保護者の年代別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



保護者の居住地域別による差はあまり大きくないが「必要」「どちらかという必要」と回答した者の比率は、中部、中国・四国が82%前後となり、他の地域の85%前後と比較すると、若干低くなっている。

図表3-51 保護者の居住地域別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識

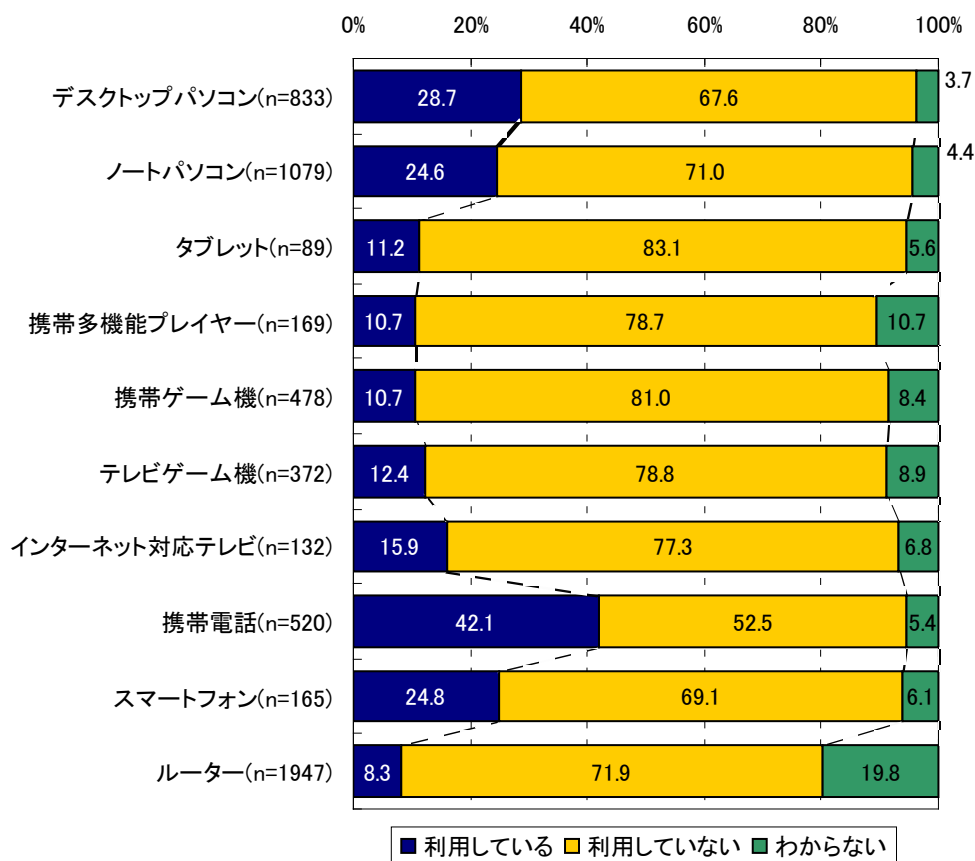


### 7.3 フィルタリングソフトの利用状況

#### (1) フィルタリングソフトの利用率

フィルタリングソフトについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者に、青少年がインターネットの利用している機器にフィルタリングソフトを利用しているかどうかを調査したところ、利用率は携帯電話が 42.1%、デスクトップパソコンが 28.7%、スマートフォンが 24.8%、ノートパソコンが 24.6%となっている。

図表3-52 フィルタリングソフトの利用状況



(注) 集計対象は、青少年が当該機器でインターネットを使用し、かつ、フィルタリングソフトについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者

青少年の学校種別にみると、小中学生でフィルタリングソフトの利用率が高い機器が多いものの、高校生のフィルタリングソフトの利用率は全般的に低くなっている。

小学生と中学生が同程度となっている機器は、デスクトップパソコン、ノートパソコン、携帯多機能プレイヤー、携帯ゲーム機、携帯電話であり、これらの機器では高校生になるとフィルタリングソフトの利用率は低くなっている。



図表3-53 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率

	全体	小学生	中学生	高校生
デスクトップパソコン	28.7	33.3	32.0	21.6
ノートパソコン	24.6	26.5	27.5	20.1
タブレット	11.2	5.9	17.9	11.1
携帯多機能プレイヤー	10.7	10.0	12.9	8.7
携帯ゲーム機	10.7	13.5	11.2	6.1
テレビゲーム機	12.4	10.7	15.9	10.4
インターネット対応テレビ	15.9	11.4	15.7	21.6
携帯電話	42.1	50.0	50.0	35.3
スマートフォン	24.8	22.2	37.1	21.4
ルーター	8.3	8.6	9.8	6.4

## (2)フィルタリングソフトを利用していない理由

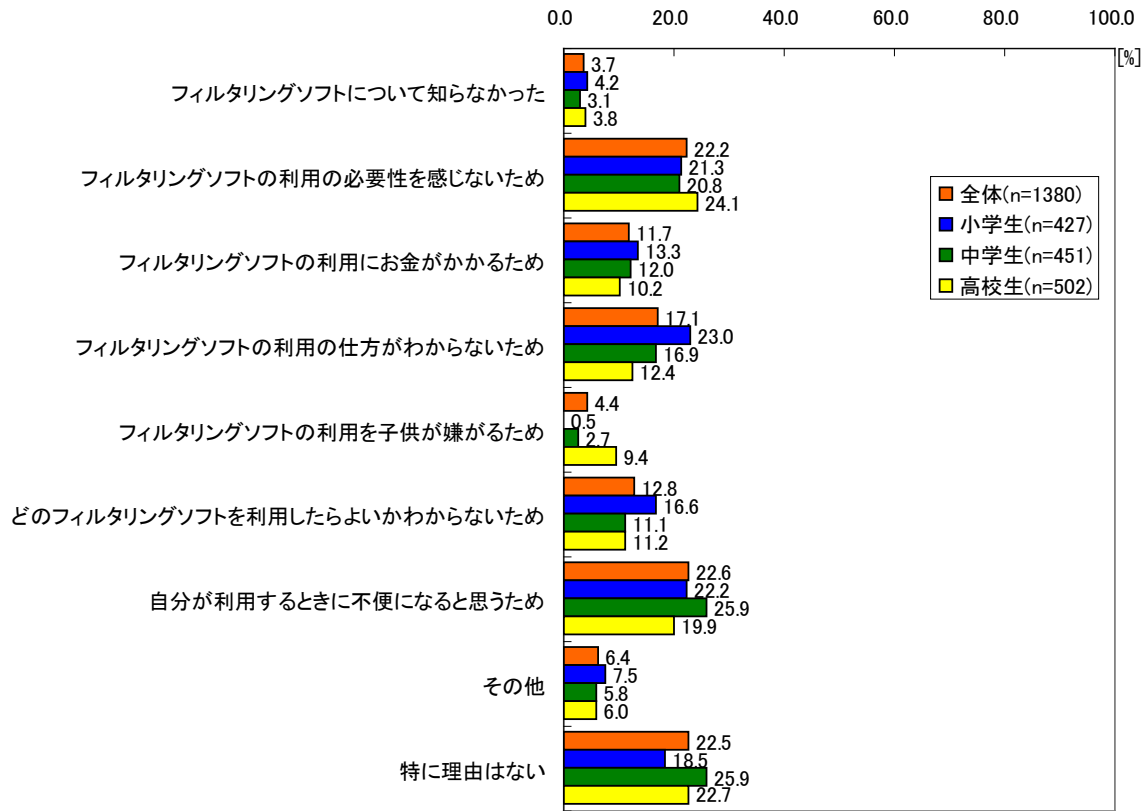
青少年のフィルタリングソフトを利用していない理由では、「自分が利用するときに不便になると思うため」が最も多く 22.6%を占めている。また、「特に理由はない」も 22.5%を占めている。その他、「フィルタリングソフトの利用の必要性を感じないため」(22.2%)、「フィルタリングソフトの利用の仕方がわからないため」(17.1%)が続いている。

青少年の学校種別にみても全体的な傾向にあまり違いはないが、小学生の保護者は「フィルタリングソフトの利用の仕方がわからないため」「どのフィルタリングソフトを利用したらよいかわからないため」を理由として挙げている比率が、他よりも高くなっており、フィルタリングソフトに関する情報提供を進めていくことにより、利用が高まる可能性がある。

高校生の保護者では「フィルタリングソフトの利用の必要性を感じないため」「フィルタリングソフトの利用を子供が嫌がるため」を理由として挙げている比率が、他よりも高くなっている。

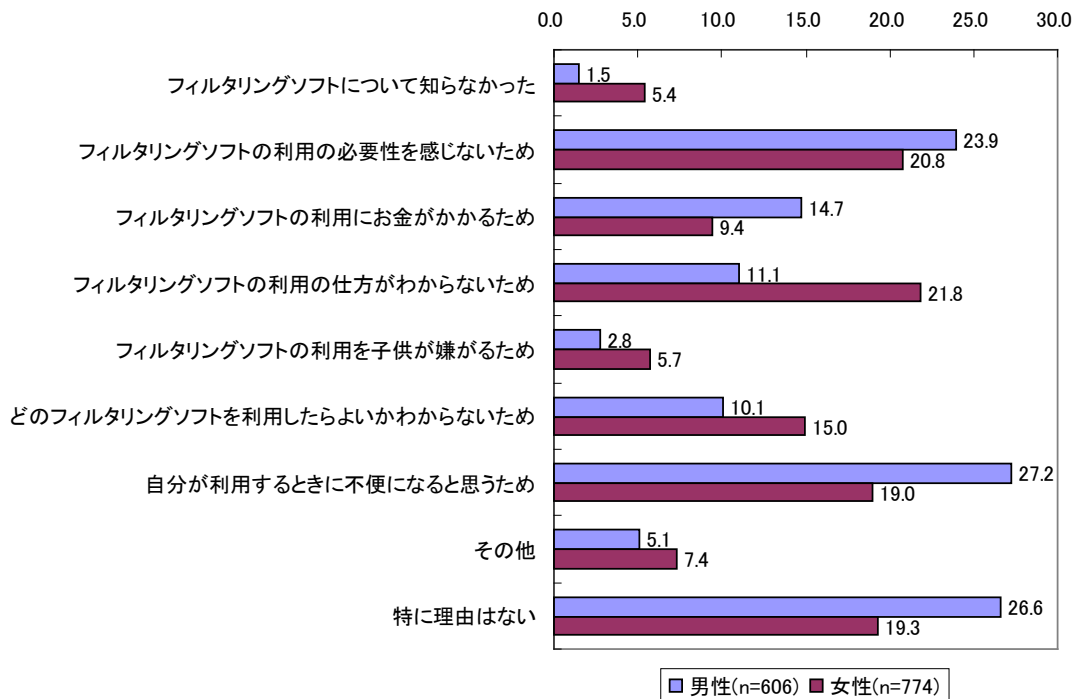
女性の保護者では「フィルタリングソフトの利用の仕方がわからない」「どのフィルタリングソフトを利用したらよいかわからない」「フィルタリングソフトについて知らなかった」といった回答が男性の保護者よりも多くなっており、フィルタリングソフトの利用には前向きなものの情報不足等によって利用できていない状況がうかがえる。一方、男性の保護者では「自分が利用するときに不便になると思うため」「フィルタリングソフトの利用にお金がかかるため」「特に理由はない」が女性よりも多くなっている。

図表3-54 フィルタリングソフトを利用していない理由



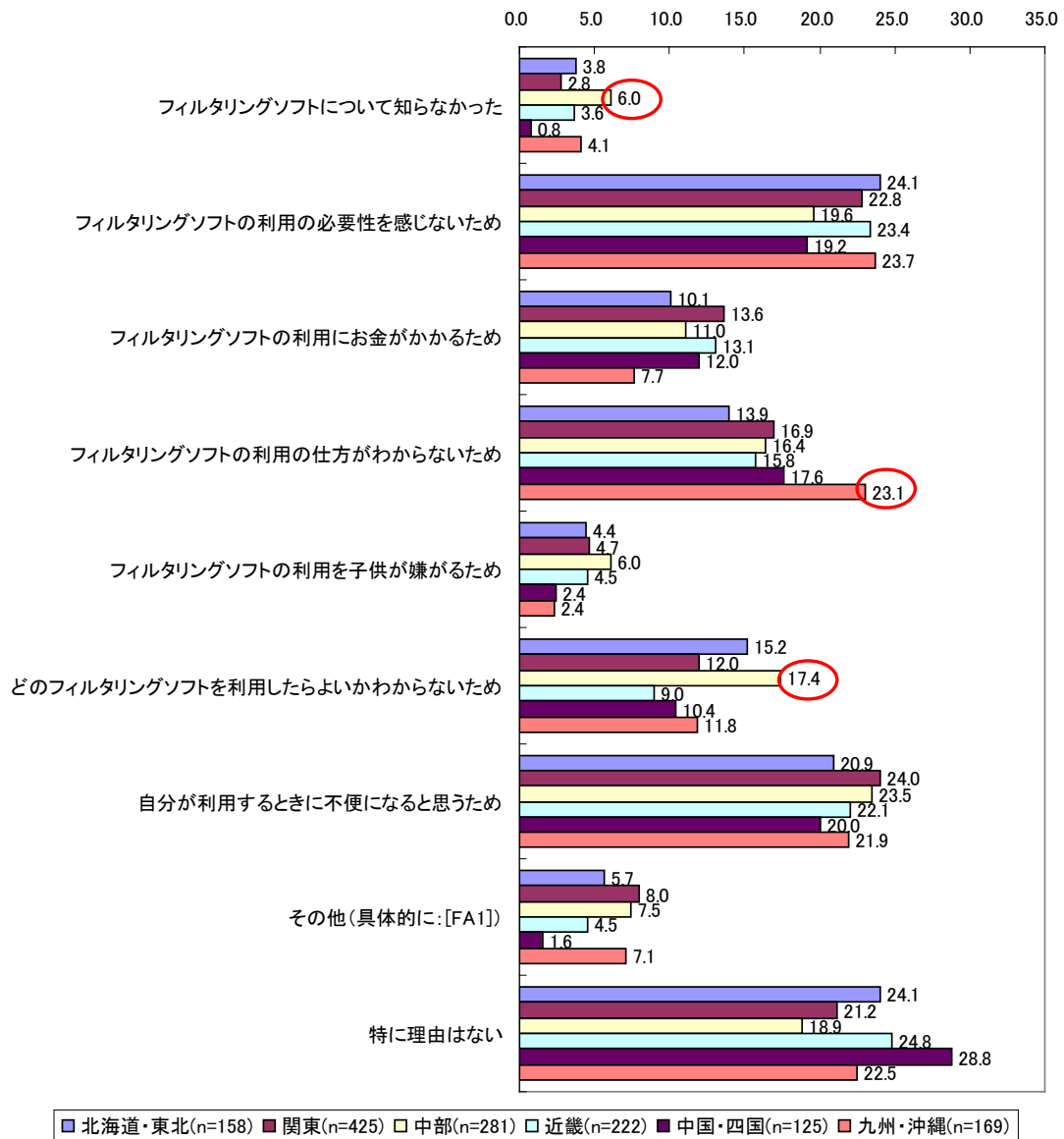
(注) 集計対象は青少年がインターネットを利用している機器のいずれかについて、「フィルタリングを利用していない」と回答した保護者

図表3-55 保護者の性別によるフィルタリングソフトを利用していない理由



保護者の居住地域別にみると、中部ではフィルタリングソフトについて「知らなかった」「どのフィルタリングを利用したらよいかわからない」の回答率が他の地域よりも高い。九州・沖縄は「利用の仕方がわからない」の回答率が 23.1%となり、他の地域よりも高くなっている。

図表3-56 フィルタリングソフトを利用していない理由（居住地域別）



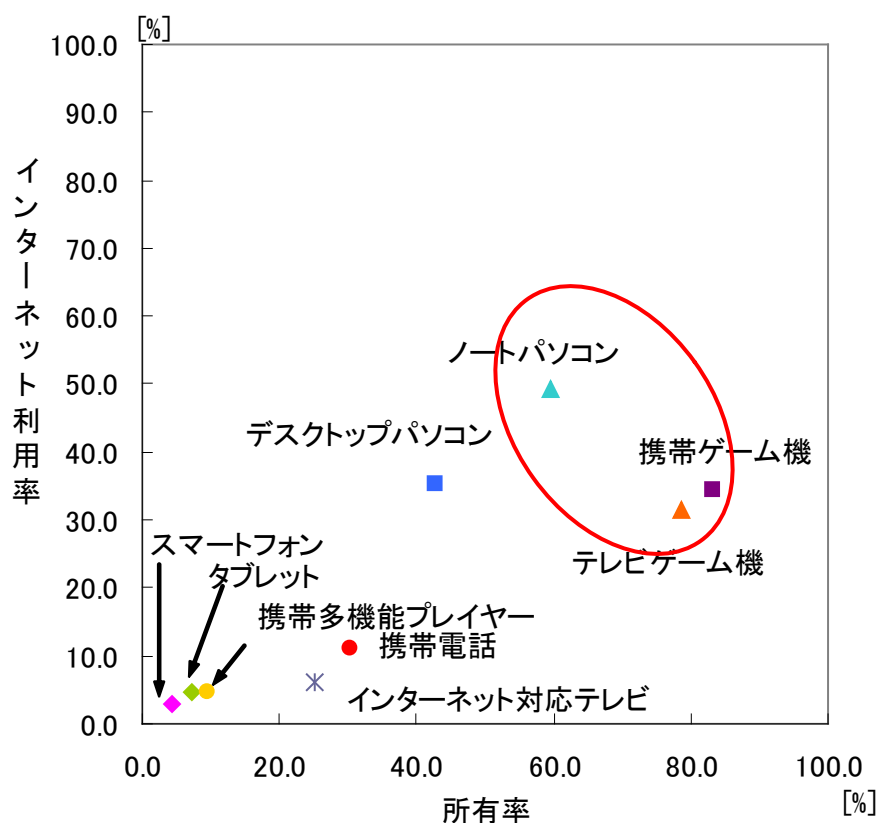
## 第4章 まとめ

### 1. 機器ごとの所有状況、インターネット利用状況

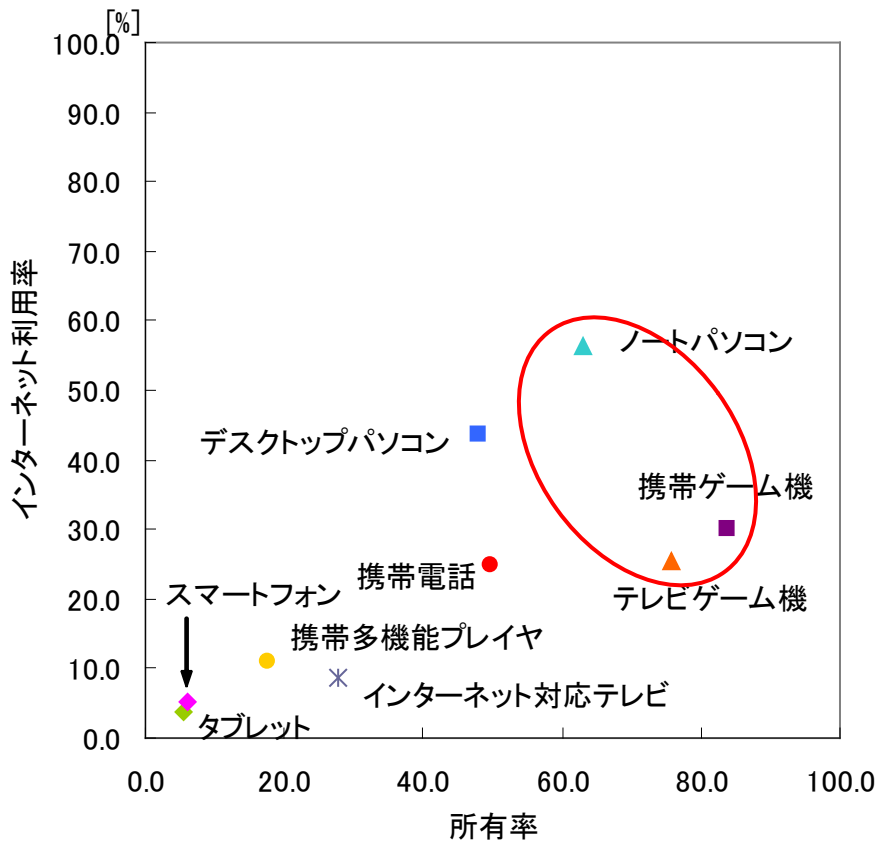
青少年において所有率及びインターネット利用率が高い機器は、小中学生では携帯ゲーム機、テレビゲーム機、ノートパソコンである。

高校生では携帯電話、携帯ゲーム機、テレビゲーム機、ノートパソコン、デスクトップパソコンが高くなっている。

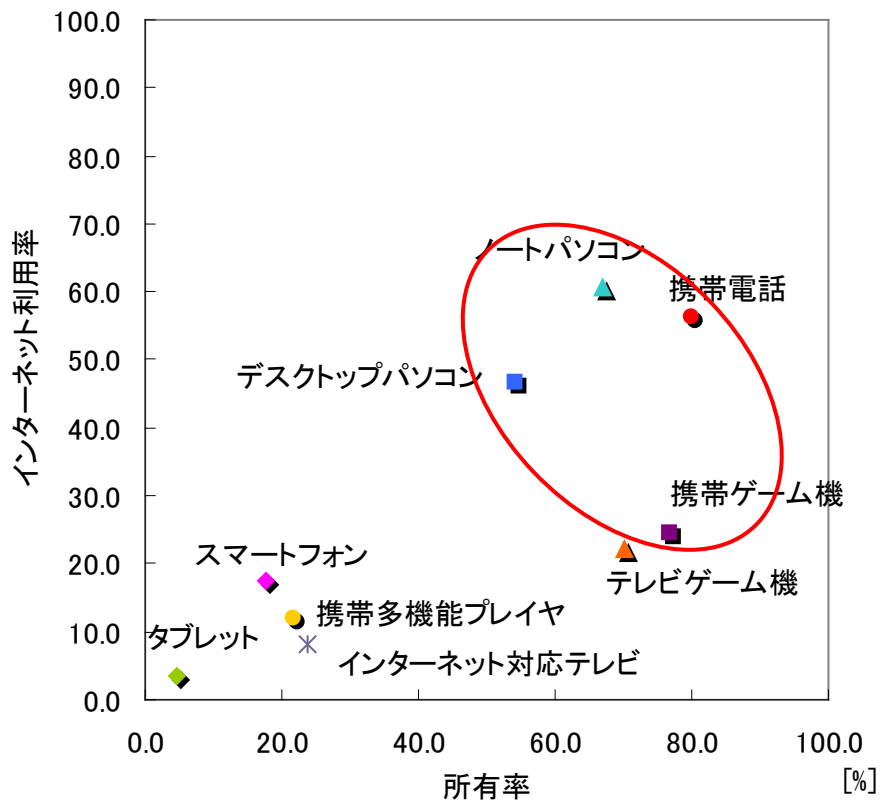
図表4-1 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率 (n=704) (再掲)



図表4-2 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率（n=708）（再掲）



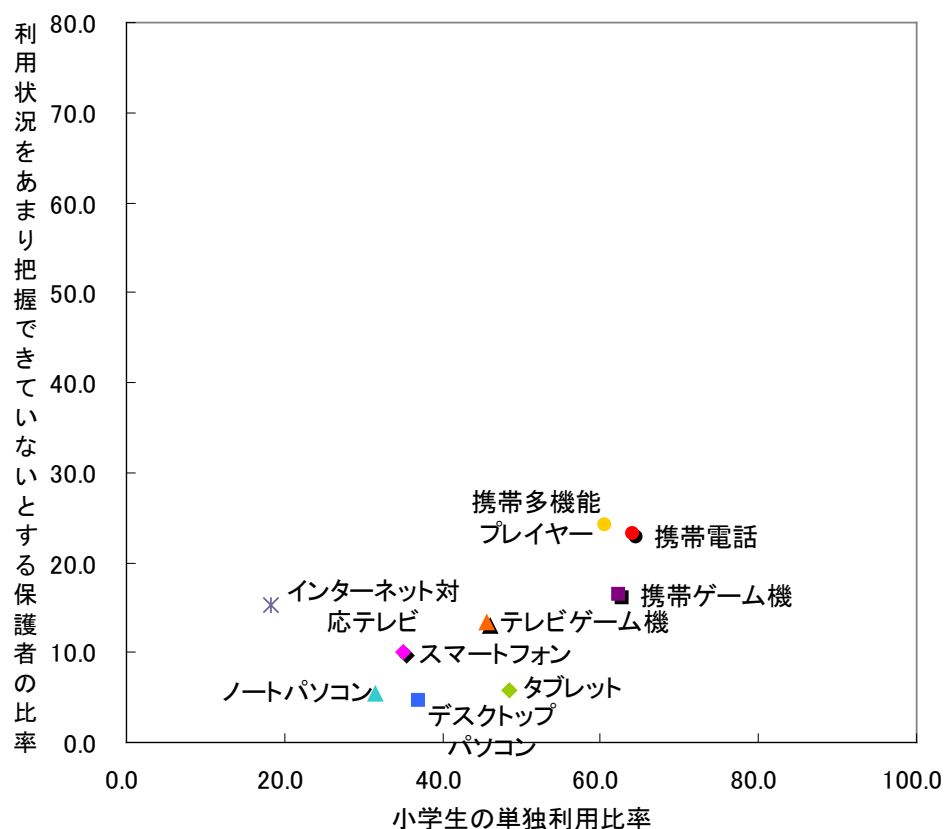
図表4-3 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率（n=662）（再掲）



## 2. 青少年の単独利用の頻度

小学生がインターネットを単独利用することが比較的多い機器は、携帯電話、携帯ゲーム機、携帯多機能プレイヤーであり、61～64%が一人で利用することが多い。そのうち、携帯多機能プレイヤー、携帯電話の利用状況について、保護者の23～24%があまり知らないと回答している。

図表4-4 小学生の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率

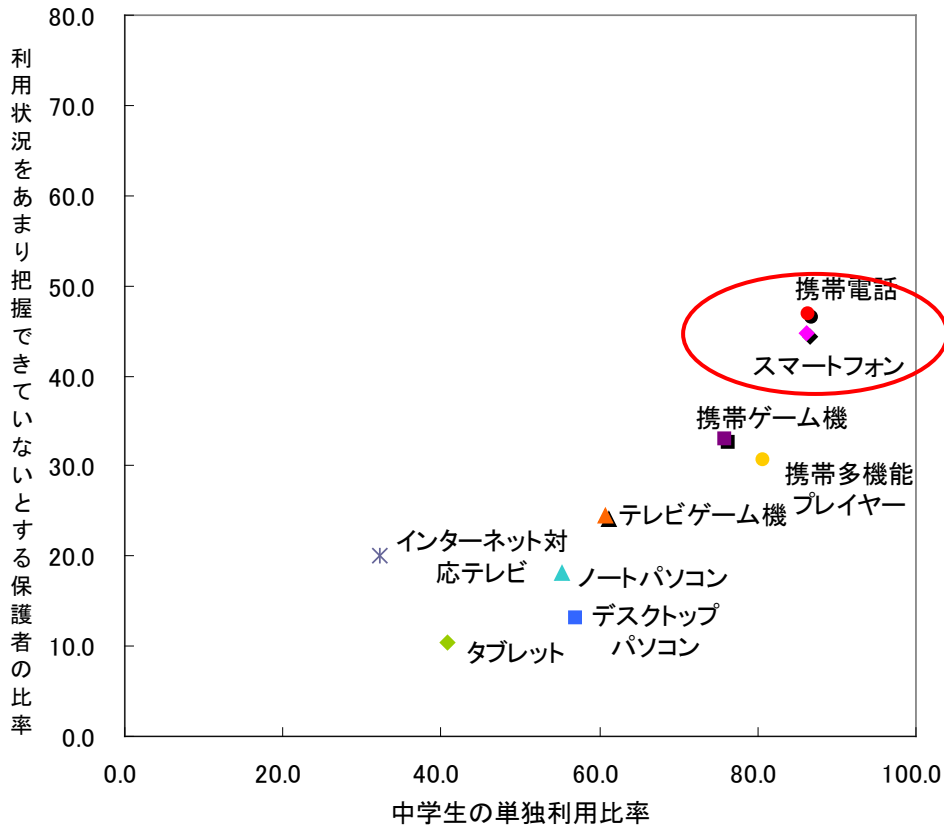


(注) 小学生の単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した小学生の比率

利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した保護者の比率

中学生がインターネットを単独利用することが特に多い機器は、携帯電話、スマートフォンであり、何れも86%を占める。また、携帯多機能プレイヤー、携帯ゲーム機も単独利用することが多く、76～81%が一人で使うことが多い。その他、テレビゲーム機も比較的多く、61%が一人で使うことが多いと回答している。また、単独利用の多い機器ほど、その利用状況について保護者があまり把握できていないとする比率も高くなっている。

図表4-5 中学生の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率



(注) 中学生の単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した中学生の比率

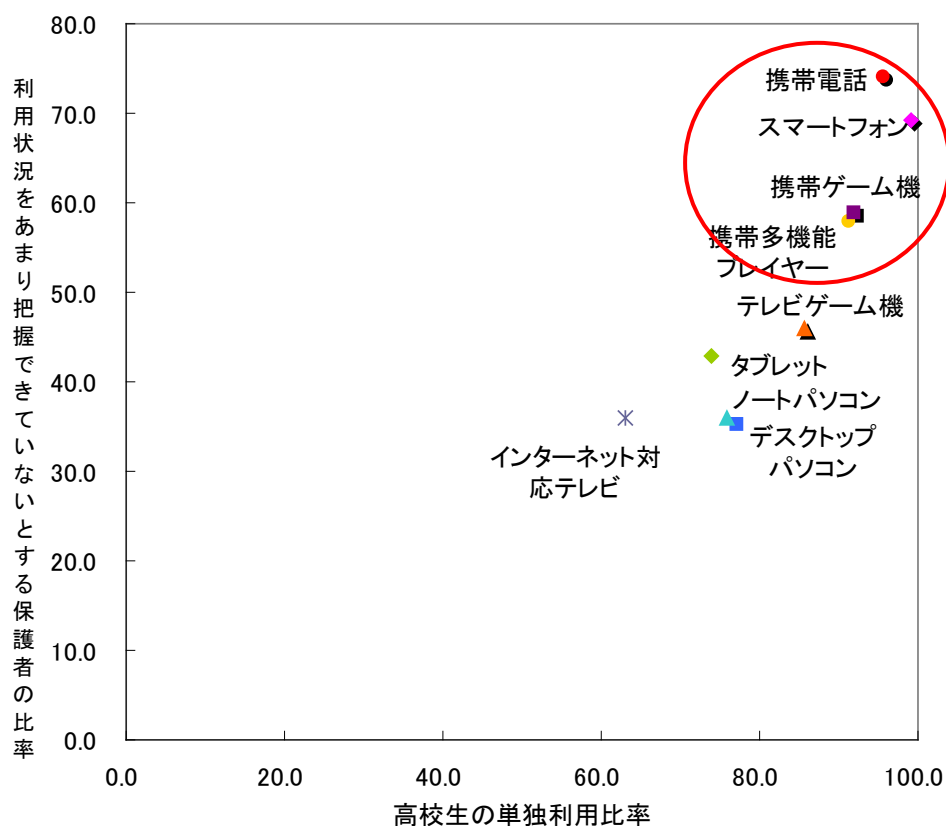
利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した保護者の比率

高校生がインターネットを単独利用することが特に多い機器は、スマートフォン、携帯電話、携帯ゲーム機、携帯多機能プレイヤーであり、何れも9割を超えている。また、テレビゲーム機、デスクトップ、ノートパソコン、タブレットも単独利用することが多く、74～86%となっている。その他、インターネット対応テレビについても単独利用することが比較的多く、63%が一人で使うことが多いと回答している。

単独利用の多い機器ほど、その利用状況について保護者があまり把握できていないとする比率も高くなっている。他の機器と比較し、ノートパソコン、デスクトップパソコンでは、保護者が利用状況を把握している比率が比較的高くなっている。



図表4-6 高校生の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率



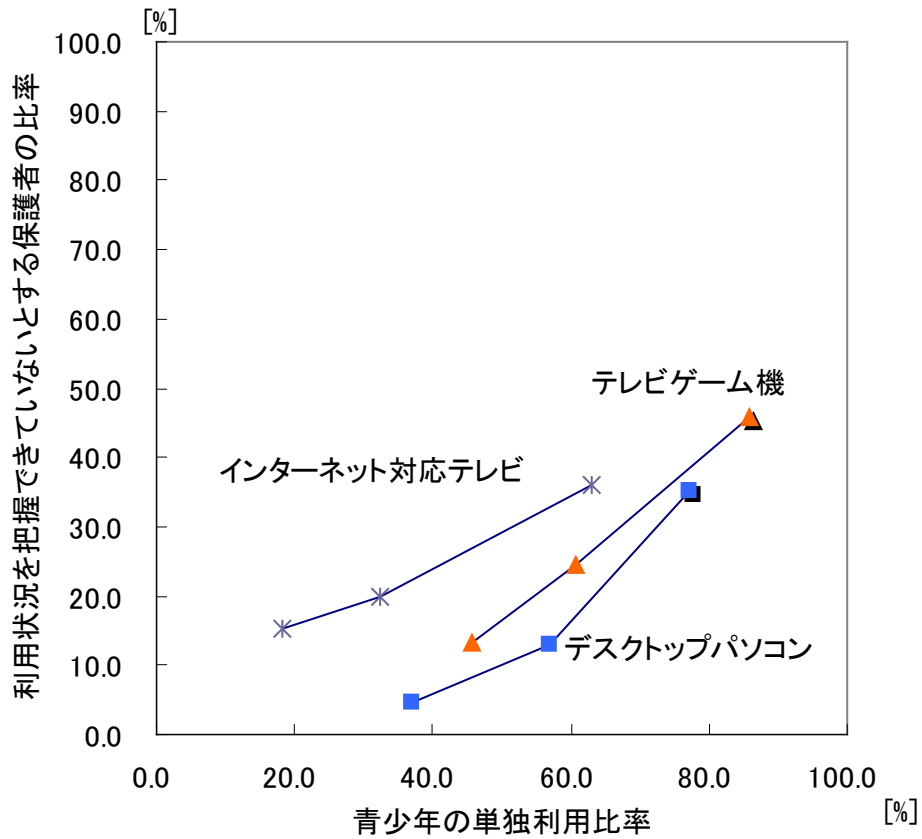
(注) 高校生の単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した高校生の比率

利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した保護者の比率

小学生から高校生となるに従って、「青少年の単独利用率」「利用状況をあまり把握できていない保護者の比率」は、いずれも増加している。

しかし、据置型機器とポータブル機器とでは、若干、増加の仕方に違いがある。据置型機器と比べ、ポータブル機器では青少年の単独利用率が80%を超える機器も多く、また、このような機器では利用強をあまり把握できていない保護者の比率が大きく増加している傾向がみられた。

図表4-7 据置型機器における青少年の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率の推移

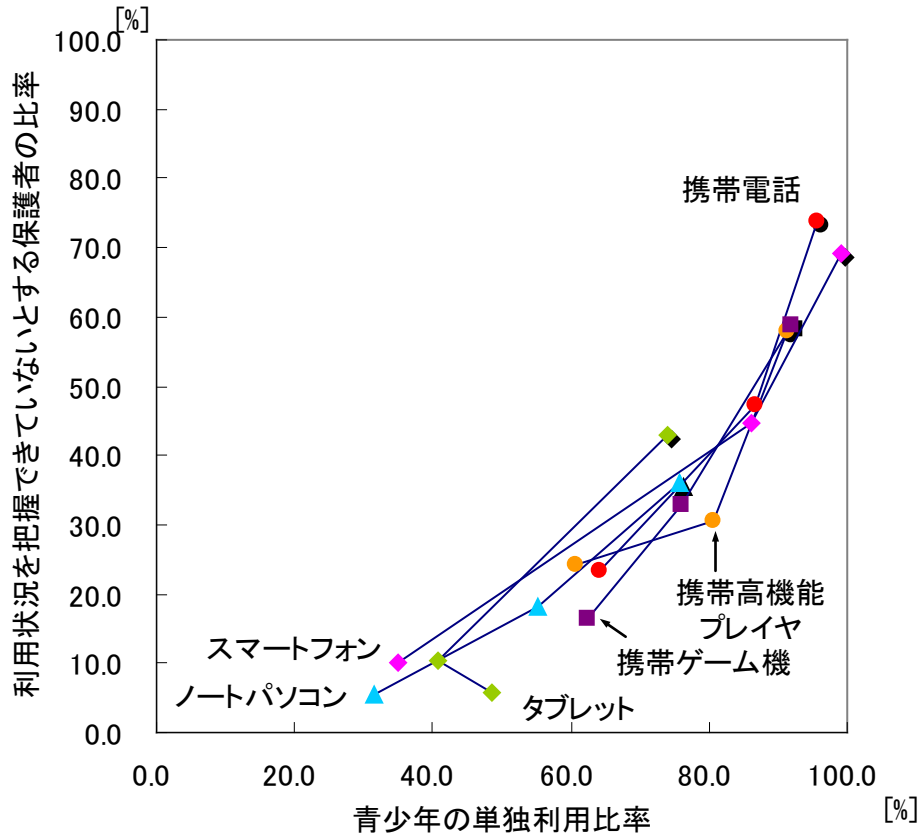


(注) 高校生のプロットのみ影を付している。

単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した青少年の比率

利用状況を把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した比率

図表4-8 ポータブル機器における青少年の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率の推移



(注) 高校生のプロットのみ影を付している。

単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した青少年の比率

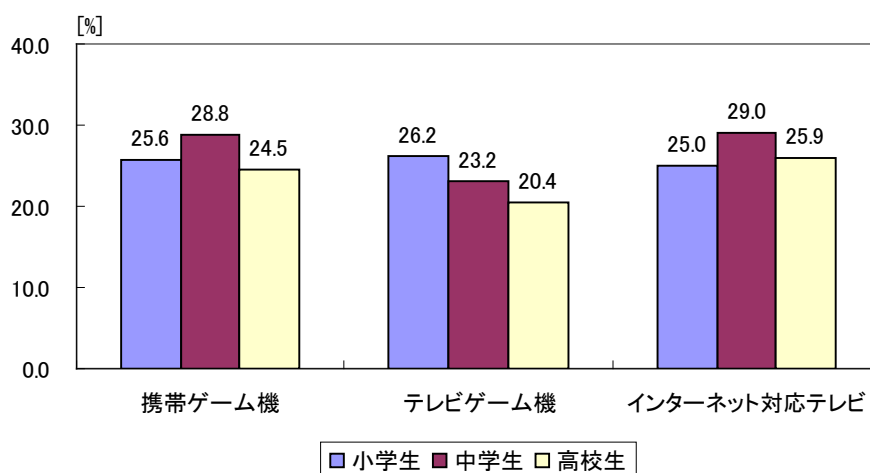
利用状況を把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した比率

### 3. インターネット上のオープンなサイトの利用状況

インターネット上のオープンなサイトとクローズなサイトのみに接続する機器について、オープンなサイト（公式サービス以外の一般サイト）を利用するこの方が多いとする比率は2～3割程度である。テレビゲーム機でオープンサイトの利用の方が多いとする比率が、中高生で若干低くなっているが、機器による差はそれほど大きくない。

また、高校生よりも小中学生の方がオープンなサイトを利用している比率が若干高くなっている。

図表4-9 公式なサービスよりも一般的なサイトを利用する方が多いとする回答者の比率



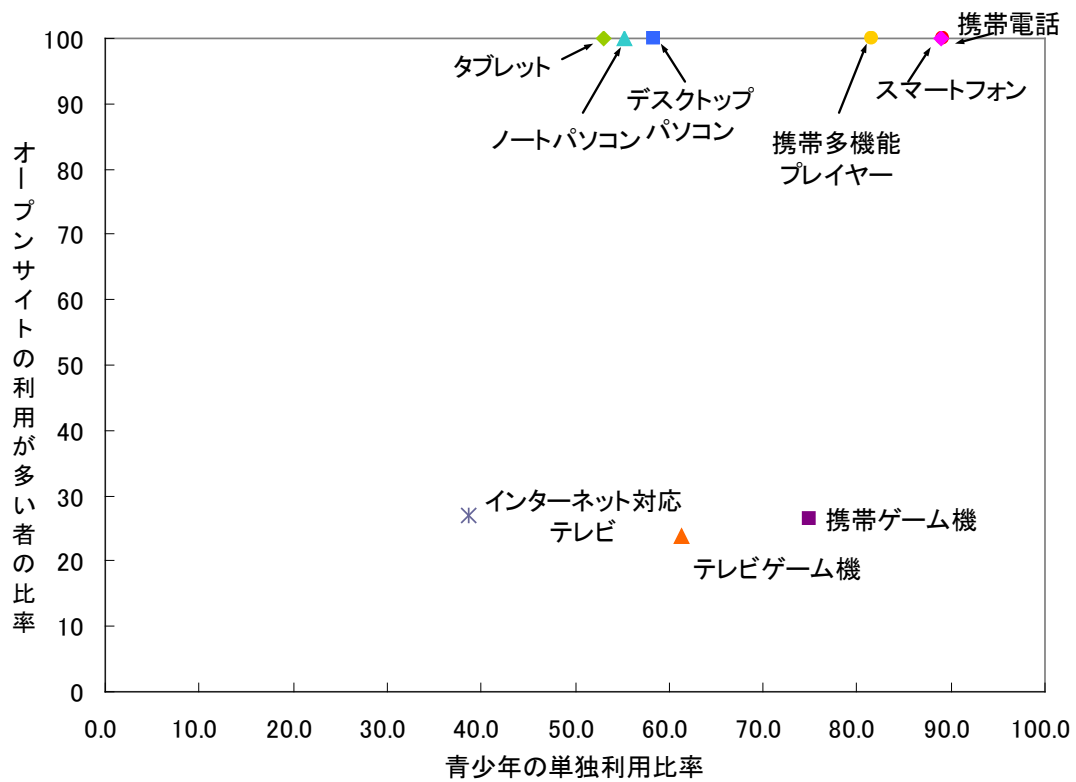
(注) 集計対象は各機器でインターネットを利用している青少年

グラフの値は「一般的なサイトを使うことが多い」「一般的なサイトだけを使っている」と回答した者の和

青少年のインターネット単独利用率と、一般的なサイト（オープンサイト）の利用が多いとする者の比率をプロットしたものが次図である。

青少年の単独利用率が高い携帯電話、スマートフォン、携帯多機能プレイヤー、携帯ゲーム機の内、携帯電話、スマートフォン、携帯多機能プレイヤーではオープンなサイトが利用されている。携帯ゲーム機は単独利用率が高いものの、オープンなサイトの利用の方が多いとする比率は26.4%に留まっている。

図表4-10 青少年の単独利用率と一般的なサイトの利用が多いとする回答者の比率



(注) 単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した青少年の比率

オープンサイトの利用が多い者の比率は公式サービスと比較し「一般的なサイトを使うことが多い」「一般的なサイトだけを使っている」と青少年が回答した比率